消　防　年　報

令和5年版

弘前地区消防事務組合

令和６年８月発行

はじめに

平成25年7月1日に弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部が統合し、新たな弘前地区消防事務組合としてスタートし10年を迎えました。

この年報は、弘前地区消防事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、令和5年中の消防現勢並びに消防業務等の統計資料を今後の消防行政の資料として活用するためのものです。

当組合の消防行政について、地域住民の認識と理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和6年8月

弘前地区消防事務組合消防本部

目　　次

１　総務

弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

弘前地区消防事務組合管内図　　組合関係市町村の
及び消防本部等配置図　　面積・人口・世帯数　・・・・・・　２

弘前地区消防事務組合組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

消防本部及び消防署の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

消防庁舎一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

消防職員階級別配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

消防職員階級別年齢調・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

消防職員階級別勤続年数調・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

職員の免許資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

職員研修等実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

当初予算歳入歳出比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

市町村・組合別負担金状況／消防予算等の推移（５ヶ年間）・・・・・・・・・・・・・　１８

２　予防

市町村別防火対象物の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

防火対象物の階数別状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

予防査察の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

違反処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

防火管理者資格取得状況／防火管理者選任及び消防計画届出状況・・・・・・・・・・・　２３

訓練指導・講話・広報等状況／東消防署防災教育室利用状況・・・・・・・・・・・・・　２４

届出受付状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５

令和５年度 避難行動要支援者防火防災診断実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

市町村別危険物施設の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７

危険物施設の状況／規模別危険物施設の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８

危険物施設の推移（５ヶ年間）／危険物関係各種届出・申請件数・・・・・・・・・・・　２９

危険物製造所等の処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

３　警防

消防車両等の保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

車両配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

主要資機材配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

林野火災対策機材保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

消防水利状況（市町村別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

消防水利状況（所属別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

４　通信指令

通信設備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９

１１９番通報状況（月別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０

１１９番通報状況（時間帯別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１

１１９番通報件数の推移（５ヶ年間）／医療機関紹介状況（科目別・月別）／
医療機関紹介状況（５ヶ年間）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２

５　火災

令和５年における火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

火災の概況／火災の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４

住宅用火災警報器の普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５

市町村別火災件数等の推移（５ヶ年間）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４６

管内火災件数等の推移（５ヶ年間）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８

出火原因の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
月別発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０
市町村別、月別の火災件数／市町村別、曜日別の火災件数・・・・・・・・・・・・ ５１
市町村別、時間帯別の火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５２
覚知別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３
火災種別ごとの初期消火状況／初期消火の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５４
6　救急
救急業務の概況／署別救急出動件数の比較（対前年比）・・・・・・・・・・・・・・ ５５
救急出動件数の推移（５ヶ年間）／市町村別救急出動件数の比較（対前年比）・・・・ ５６
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７
署別、事故種別救急業務実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５８
事故種別救急出動件数／月別救急出動件数及び搬送人員・・・・・・・・・・・・・・ ５９
事故種別、覚知方法別出動件数／現場到着所要時間別出動件数／
収容所要時間別、事故種別搬送人員・・・・ ６０
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６１
傷病程度別搬送人員／年齢区分別搬送人員／発生場所別搬送人員・・・・・・・・・・ ６２
時間帯別救急出動件数／応急手当の普及啓発活動の状況・・・・・・・・・・・・・・ ６３
津軽圏域救急告示医療機関一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４
津軽地域小児救急病院等一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５
医療機関別救急搬送状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６６
7　救助
事故種別救助業務実施状況（対前年比）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６７
8　消防団
管内市町村の消防団長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６９
管内市町村の消防副団長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７０
管内市町村別消防団車両配備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７１
管内市町村階級別消防団員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７２
管内市町村在職年数別消防団員数／管内市町村年齢別消防団員数・・・・・・・・・・ ７３
管内市町村階級別消防団員年報酬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７４
管内市町村消防団員出動手当・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７５
9　地域防災組織
幼・少年消防クラブと婦人（女性）防火クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７７
令和５年度の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７８
幼年消防クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７９
少年消防クラブの状況／婦人（女性）防火クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・ ８１
弘前地区消防防災協会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８２
弘前地区消防防災協会役員事業所名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８３
弘前地区消防防災協会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８４
10　議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８５
11　付録
明治以降の主な火災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８９
明治以降の主な災害（火災を除く）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９１
歴代消防長等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９４
旧弘前地区消防事務組合の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０４
旧黒石地区消防事務組合の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０７
旧平川市消防本部の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０８
旧板柳町消防本部の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０９

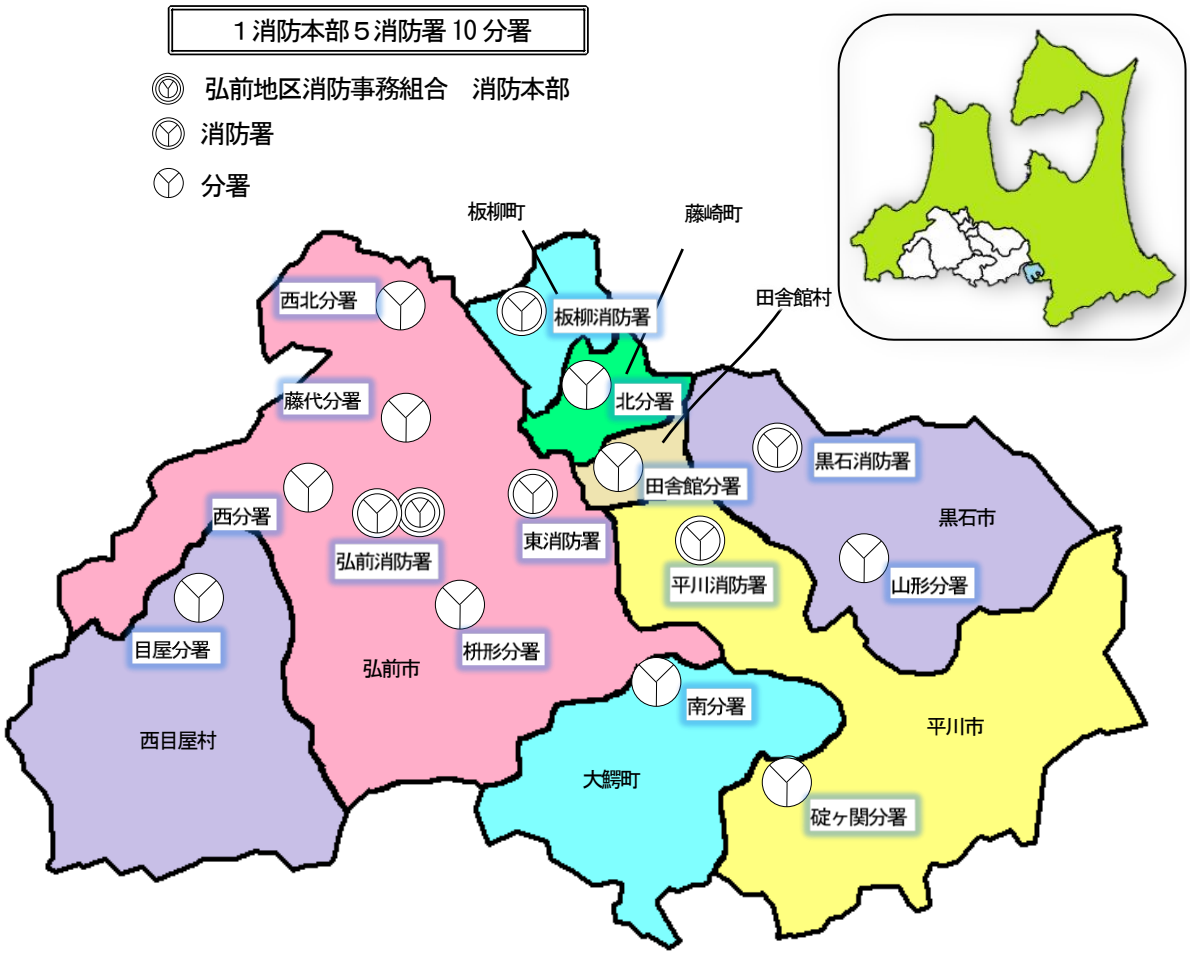
総　　務

弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）

年　　月	状　　況
平成 25 年　７月	弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部の 4 消防本部が統合、関係市町村が３市３町２村、職員定数が 476 名となった。 消防署組織規程改正により、弘前消防署、東消防署、黒石消防署、平川消防署へ「予防調査係」を、板柳消防署へ「総務警防係」と「予防救急係」を設置した。「東消防署碇ヶ関分署」を「平川消防署碇ヶ関分署」へ、分署の「警防係」を「総務警防係」へ改め、目屋分署、西北分署、碇ヶ関分署へ「予防救急係」を置いた。 黒石消防署に指揮隊車を配備
平成 26 年　３月	弘前地区消防事務組合マスコットキャラクターが「消防犬　火けしくん」に決定
４月	消防本部組織規則改正により人材育成課を新設し、「人事係」と「研修厚生係」を設け、消防本部５課制とした。
５月	東消防署新消防庁舎での業務開始
12 月	北分署新消防庁舎での業務開始（平成 26 年 12 月１日全面供用開始） 東消防署、平川消防署に指揮隊車を配備
平成 27 年　３月	東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を枡形分署から移動更新配備
４月	東消防署に防災教育室を開設し、全面供用開始
10 月	高機能消防指令センター運用開始 消防本部組織規則改正により通信指令課の「通信係」を「通信統制係」、「情報管理係」、「システム管理係」に改めた。
平成 28 年　３月	黒石消防署に資機材搬送車を東消防署から移動配備 東消防署に重機及び重機搬送車を配備（国有財産等無償使用）
令和２年　７月	碇ヶ関分署新消防庁舎での業務開始
令和３年　２月	山形分署新消防庁舎での業務開始
３月	藤代分署新消防庁舎での業務開始 板柳消防署消防新庁舎での業務開始
４月	消防本部組織規則改正により、人材育成課の、「人事係」を「人事研修係」へ、「研修厚生係」を「給与厚生係」と改め、警防課の「装備係」を廃止した。 消防署組織規程改正により、藤代分署及び枡形分署の「予防救急係」を「予防係」「救急係」に改めた。 弘前消防署に高度救助隊発足
令和４年　４月	弘前・西北五地域消防通信指令事務協議会設置
令和５年　４月	消防本部組織規則及び職員の任用等に関する規則改正により、消防本部及び消防署に「総括主幹」を配置できるよう改めた。

弘前地区消防事務組合管内図及び消防本部等配置図

（令和６年４月１日現在）



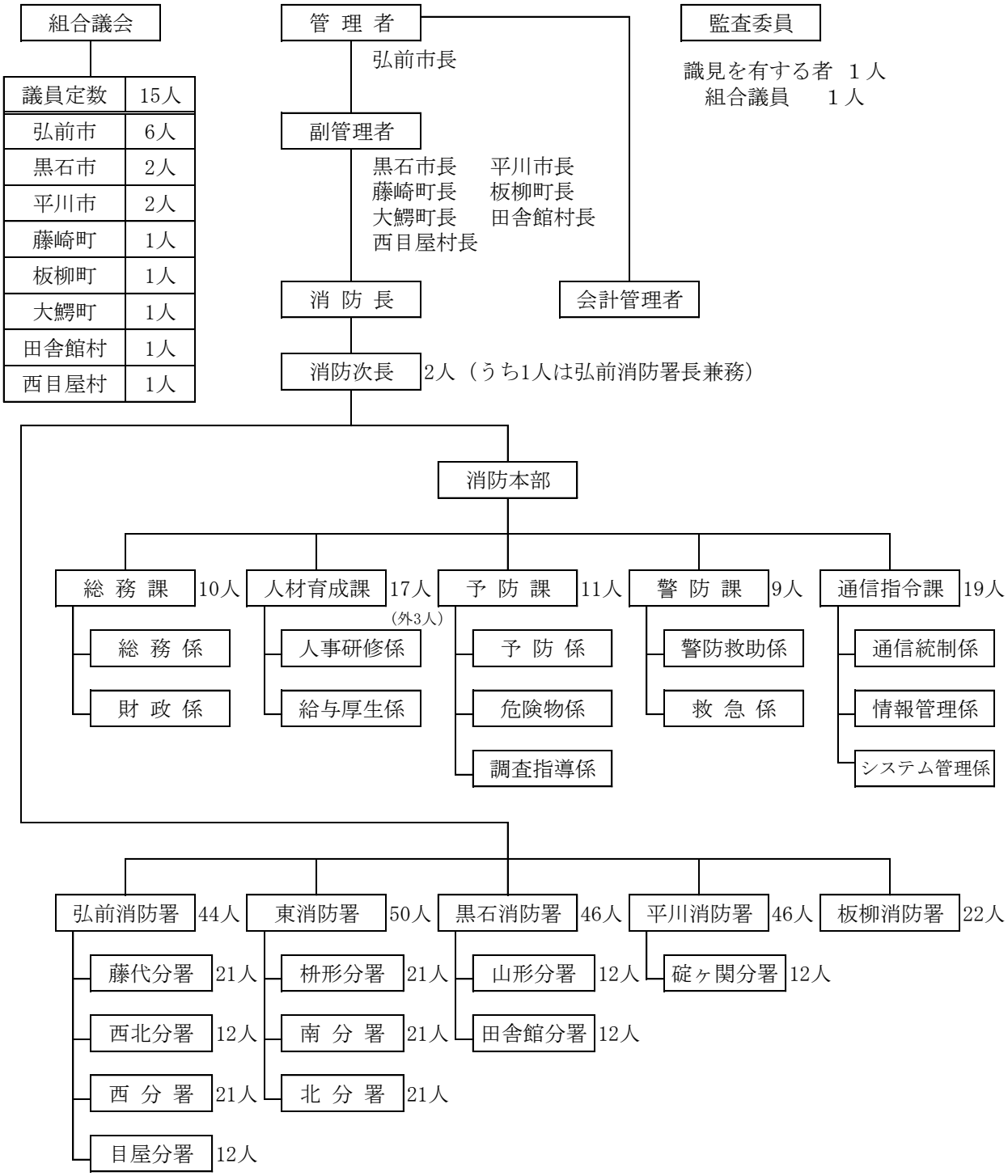
組合関係市町村の面積・人口・世帯数

（令和６年４月１日現在　住民基本台帳調）

区分 / 市町村	面積（㎢）	人口（人）	世帯数
合計	1,598.23	263,614	115,853
弘前市	524.20	159,675	70,424
黒石市	217.05	30,736	13,969
平川市	346.01	29,559	12,358
藤崎町	37.29	14,346	6,176
板柳町	41.88	12,350	5,419
大鰐町	163.43	8,411	4,077
田舎館村	22.35	7,300	2,895
西目屋村	246.02	1,237	535

弘前地区消防事務組合組織図

（令和６年４月１日現在）



※職員数は、令和６年４月１日現在の配置人員。

消防本部及び消防署の事務分掌

消防本部の事務分掌

総務課　総務係

1　消防本部の企画調整、その他重要事項の調査研究に関すること。
2　儀式及び行事に関すること。
3　物品等の調達に関すること。
4　庁舎建設、工事、修繕及び委託契約等に関すること。
5　請負契約並びに物品の購入、修繕、検査及び処分に関すること。
6　契約の総括に関すること。
7　議会に関すること。
8　監査に関すること。
9　所属長の招集及び会議に関すること。
10　消防長会に関すること。
11　行政文書の開示に係る事務に関すること。
12　公印の管理に関すること。
13　文書事務の総括に関すること。
14　情報公開及び個人情報保護の取扱事務の総括に関すること。
15　条例、規則等の制定及び改廃の総括に関すること。
16　消防本部各課に係る事務の連絡調整、消防長の事務の補助に関すること。
17　ホームページに関すること。
18　広聴及び広報の統括に関すること。
19　中長期計画の進行管理に関すること。
20　広域行政に関すること。
21　被服等の貸与、給与に関すること。
22　職員の意見発表に関すること。
23　消防年報に関すること。
24　所管を明らかにできない事務に関すること。
25　消防長の事務の補助に関すること。
26　消防署の所管に属しない事務に関すること。
27　その他総務に関すること。

総務課　財政係

1　財産の管理の総括に関すること。
2　予算、決算及び経理に関すること。
3　決算統計に関すること。
4　起債及び一時借入金の申請、借入及び償還に関すること。
5　消防施設の建設計画及び維持管理に関すること。
6　財政計画に関すること。
7　基金の統括管理に関すること。
8　公有財産の管理及び調整に関すること。

9　月例現金出納検査に関すること。

10　その他財政に関すること。

人材育成課　人事研修係

1　事務の調整に関すること。

2　消防本部の組織、その他重要事項の調査研究に関すること。

3　人事に関すること。

4　職員の採用試験に関すること。

5　消防職員委員会に関すること。

6　表彰、叙勲等に関すること。（他課が所管する事務に関することを除く。）

7　人事記録に関すること。

8　人事評価に関すること。

9　職員の昇任試験並びに任免、分限、懲戒に関すること。

10　職員の交通事故、違反等及び不祥事に関すること並びに懲戒審査委員会に関すること。

11　職員の服務及び規律に関すること。

12　職員の研修企画及び研修派遣に関すること。

13　広聴及び広報に関すること。（他課が所管する事務に関することを除く。）

14　条例、規則等の制定及び改廃に関すること。（他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。）

15　その他人事・職員研修に関すること。

人材育成課　給与厚生係

1　職員の給与に関すること。

2　職員の勤務時間その他勤務条件に関すること。

3　職員の保健、衛生、安全、元気回復及び厚生福利に関すること。

4　共済組合事務に関すること。

5　職員の公務災害補償等に関すること。

6　条例、規則等の制定及び改廃に関すること。（他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。）

7　職員の旅行命令に関すること。

8　職員の退職手当に関すること。

9　職員の健康管理、予防接種に関すること。

10　再任用職員に関すること。

11　女性活躍推進に関すること。

12　団体保険に関すること。

13　その他給与厚生に関すること。

予防課　予防係

1　予防業務の企画調整及び調査研究に関すること。

2　建築確認等の同意事務に関すること。

3　消防用設備等の着工及び設置の届出に関すること。

4　防火管理及び防災管理に関すること。
5　情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管する事務に関することを除く。)
6　防火対象物点検及び防災管理点検の特例認定に関すること。
7　防火対象物工事等計画の指導に関すること。
8　その他予防業務に関すること。

予防課　危険物係

1　危険物施設の検査、査察及び指導に関すること。
2　危険物施設の申請書等の受理、審査及び指導に関すること。
3　危険物施設の検査手数料等に関すること。
4　危険物施設に係る調査、統計及び報告に関すること。
5　危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
6　防災協会に関すること。
7　条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
8　情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管する事務に関することを除く。)
9　その他危険物業務に関すること。

予防課　調査指導係

1　立入検査及び違反処理に関すること。
2　火災の原因及び損害の調査に関すること。
3　広聴及び広報に関すること。(他課が所管する事務に関することを除く。)
4　火災統計、報告に関すること。
5　防火基準適合表示の審査、指導に関すること。
6　指定催しの計画、指導に関すること。
7　証明事務に関すること。
8　防火クラブ等に関すること。
9　条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
10　情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管所掌する事務に関することを除く。)
11　その他調査指導業務に関すること。

警防課　　警防救助係

1　警防救助業務、消防装備の企画調整及び調査研究に関すること。
2　警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
3　自動車及び消防機械器具の整備計画、技術指導及び管理並びに調査研究の総括に関すること。
4　自動車の運行管理及び安全管理等に関すること。
5　消防協力者及び消防職員表彰に関すること。

6　消防警戒区域立入許可証の交付等に関すること。
7　消防相互応援協定及び受援計画に関すること。
8　国民保護計画、地域防災計画、水防計画に関すること。
9　消防団との連絡調整に関すること。
10　救助業務計画に関すること。
11　消防水利に関すること。
12　緊急消防援助隊に関すること。
13　警防救助に係る統計に関すること。
14　災害の指揮及び警防本部に関すること。
15　公用車の事故調査及び処理に関すること。
16　消防車両に係る国庫補助の申請に関すること。
17　開発行為に係る協議に関すること。
18　災害時の記録編纂に関すること。
19　消防力の整備指針に関すること。
20　条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
21　広聴及び広報に関すること。(他課が所管する事務に関することを除く。)
22　その他警防業務に関すること。

警防課　救急係

1　救急業務の企画調整及び調査研究に関すること。
2　救急業務計画に関すること。
3　患者等搬送事業に係る認定及び指導に関すること。
4　救急医療機関との連携調整に関すること。
5　応急手当の普及に関すること。
6　救急に係る統計に関すること。
7　救急車両に係る国庫補助の申請に関すること。
8　メディカルコントロール協議会に関すること。
9　搬送等証明書の指導、助言に関すること。
10　救急活動記録票の検証に関すること。
11　情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所管する事務に関することを除く。)
12　その他救急業務に関すること。

通信指令課　通信統制係

1　通信業務の基本方針及び調査研究に関すること。
2　出動指令業務に関すること。
3　通信施設の調査研究及び整備計画に関すること。
4　各種報告に関すること。
5　条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所管する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)

6　その他通信統制に関すること。

通信指令課　情報管理係

1　防災関係機関との連絡調整に関すること。
2　火災警報の発令及び解除に関すること。
3　気象情報に関すること。
4　情報セキュリティー対策に関すること。
5　情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。（他課が所管する事務に関することを除く。）
6　広聴及び広報に関すること。（他課が所管する事務に関することを除く。）
7　その他情報管理に関すること。
8　消防通信指令事務共同運用に関すること。

通信指令課　システム管理係

1　通信訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
2　通信施設の維持管理に関すること。
3　情報通信ネットワーク及びコンピューター機器等の維持管理に関すること。
4　その他システム管理に関すること。

消防署の事務分掌

総務第１係、総務第２係（板柳消防署を除く。）

1　文書の収受、発送及び整理保管に関する事項
2　公印の保管に関する事項
3　職員の教養及び服務に関する事項
4　庁舎管理及び環境整備に関する事項
5　時間外勤務手当、特殊勤務手当及び管内旅行命令に関する事項
6　消防隊の編成、通信勤務及び非常召集に関する事項
7　他の係に属さない事項

警防救助第１係、警防救助第２係（板柳消防署を除く。）

1　職員の訓練及び安全管理に関する事項
2　消防水利の保全、管理及び地理に関する事項
3　車両及び車両積載器具等の保全整備及び取扱い指導に関する事項
4　各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
5　現場指揮に関する事項
6　救助業務及び救助技術に関する事項
7　その他警防、救助に関する事項

救急第１係、救急第２係（板柳消防署を除く。）

1　救急業務に関する事項
2　救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
3　救急技術の訓練及び指導に関する事項
4　救急記録及び統計に関する事項

5　救急資器材の滅菌及び汚物処理に関する事項
6　搬送証明の交付に関する事項
7　その他救急に関する事項

予防第１係、予防第２係（板柳消防署を除く。）
1　予防査察及び危険物取締りに関する事項
2　火災予防の指導、広報及び宣伝に関する事項
3　消防訓練に関する事項
4　消防用設備等の点検報告に関する事項
5　予防関係の証明に関する事項
6　その他予防に関する事項

調査指導第１係、調査指導第２係（板柳消防署を除く。）
1　火災調査に関する事項
2　火災の証明に関する事項
3　火災予防条例の届出等に関する事項
4　防火対象物の違反処理に関する事項
5　その他調査指導に関する事項

総務警防第１係、総務警防第２係（板柳消防署に限る。）
1　職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
2　車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
3　消防水利の保全に関する事項
4　各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
5　他の係に属さない事項

予防救急第１係、予防救急第２係（板柳消防署に限る。）
1　火災予防に関する事項
2　予防業務に関する事項
3　消防訓練に関する事項
4　救急業務に関する事項
5　証明事務に関する事項
6　その他予防、救急に関する事項

分署の事務分掌

総務警防第１係、総務警防第２係
1　職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
2　車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
3　消防水利の保全に関する事項
4　各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
5　他の係に属さない事項

予防救急第１係、予防救急第２係（藤代分署、枡形分署を除く。）
1　火災予防に関する事項
2　予防業務に関する事項

３　消防訓練に関する事項
４　救急業務に関する事項
５　証明事務に関する事項
６　その他予防、救急に関する事項

予防第１係、予防第２係（枡形分署、藤代分署に限る。）
１　予防査察及び危険物取締りに関する事項
２　予防関係の届出等に関する事項
３　火災調査に関する事項
４　防火対象物の違反処理に関する事項
５　その他予防、調査指導に関する事項

救急第１係、救急第２係（枡形分署、藤代分署に限る。）
１　救急業務に関する事項
２　救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
３　救急技術の訓練及び指導に関する事項
４　救急記録及び統計に関する事項
５　その他救急に関する事項

消防庁舎一覧表

（令和６年４月１日現在）

名　称	所　在　地	電話番号	面積（㎡）		構　　造	竣工年月
			敷地面積	延面積		
消防本部 弘前消防署	弘前市大字本町２番地１	㈹0172(32)5101 0172(32)5199	2,274.69	3,819.44	ＳＲＣ造　地下１階 地上４階 塔屋１階	H13.3
弘前消防署 藤代分署	弘前市大字石渡三丁目 ６番地３	0172(34)1317	2015.52	626.79	鉄骨造　平屋建	R3.2
弘前消防署 西北分署	弘前市大字小友字神原 371 番地２	0172(93)3310	989.52	495.00	鉄骨造一部２階建	S56.12
弘前消防署 西分署	弘前市大字鳥井野字宮本 301 番地２	0172(82)3311	(5,012.07)	626.73	鉄骨造　平屋建	H24.3
弘前消防署 目屋分署	中津軽郡西目屋村大字 田代字神田 56 番地	0172(85)3119	(1,854.58)	354.24 (136.54)	鉄骨一部木造　一部２階建	H11.3
東消防署	弘前市大字城東中央五丁目 ６番地 11	0172(27)1151	3,081.15	2,018.19	鉄骨造　４階建	H26.12
東消防署 枡形分署	弘前市大字豊原一丁目 ３番地９	0172(33)4311	415.09	380.54	鉄骨造　一部２階建	H3.2
東消防署 南分署	南津軽郡大鰐町大字蔵館 字金坂 57 番地１	0172(48)2108	1,668.24	408.50	木造一部鉄骨造　平屋建	S61.3
東消防署 北分署	南津軽郡藤崎町大字藤崎 字中豊田７番地３	0172(75)3333	(2,686.16)	(626.68)	鉄骨造　平屋建	H26.12
黒石消防署	黒石市追子野木一丁目 576 番地	0172(53)1000	(6,904.93)	(2,958.83)	ＳＲＣ造　２階建	H7.6
黒石消防署 山形分署	黒石市大字上山形字村岸 ９番地２	0172(54)8330	(1,670.16)	(427.60)	鉄骨造　平屋建	R3.1
黒石消防署 田舎館分署	南津軽郡田舎館村大字 八反田字古舘 206 番地１	0172(58)2962	(1,156.50)	(417.81)	鉄骨造　平屋建	H7.11
平川消防署	平川市平田森前田 331 番地	0172(44)3122	(5,554.00)	(1,807.00)	鉄骨造　２階建	H2.2
平川消防署 碇ヶ関分署	平川市碇ヶ関湯向川添 31 番地９	0172(45)2240	(1,864.24)	(563.36)	鉄骨造　平屋建	R2.6
板柳消防署	北津軽郡板柳町大字 福野田字増田 60 番地６	0172(73)2339	(3,226.32)	(784.88)	鉄骨造　平屋建	R3.3

※延面積は庁舎のみ。（　）は、所在市町村所有である。

消防職員階級別配置状況

（令和６年４月１日現在）

階級／所属		現員	消防吏員							
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計		441(15)	1	6	12	77(1)	109(2)	138(5)	14(1)	84(6)
消防本部		68(3)	1	1	8	20(1)	21	16(2)	0	1
	総務課	12(1)	1	1	2	3	3	2(1)		
	人材育成課	17			1	6	5	4		1
	予防課	11(1)			2	2	4	3(1)		
	警防課	9(1)			2	3(1)	3	1		
	通信指令課	19			1	6	6	6		
弘前消防署管轄		110(4)		1	1	16	28	36(1)	4	24(3)
	弘前消防署	44(2)		1	1	8	10	16	1	7(2)
	藤代分署	21(1)				2	6	6(1)	1	6
	西北分署	12				2	4	4		2
	西分署	21(1)				2	4	6	1	8(1)
	目屋分署	12				2	4	4	1	1
東消防署管轄		113(3)		1	1	15	24(1)	36(1)	2	34(1)
	東消防署	50(2)		1	1	9	10	18(1)		11(1)
	枡形分署	21				2	6	6		7
	南分署	21				2	4	6	1	8
	北分署	21(1)				2	4(1)	6	1	8
黒石消防署管轄		70(2)		1	1	13	18(1)	24	4(1)	9
	黒石消防署	46(2)		1	1	9	10(1)	16	3(1)	6
	山形分署	12				2	4	4		2
	田舎館分署	12				2	4	4	1	1
平川消防署管轄		58(2)		1	1	11	14	20	3	8(2)
	平川消防署	46(2)		1	1	9	10	16	3	6(2)
	碇ヶ関分署	12				2	4	4		2
板柳消防署		22(1)		1		2	4	6(1)	1	8

※短時間再任用職員は含まず。（　）は、女性消防職員。

消防職員階級別年齢調

（令和６年４月１日現在）

区分 ＼ 年齢	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	441	1	6	12	77	109	138	14	84
18 歳	2								2
19 〃	4								4
20 〃	4								4
21 〃	9								9
22 〃	11								11
23 〃	12								12
24 〃	7								7
25 〃	5								5
26 〃	6								6
27 〃	13						1		12
28 〃	14						5	4	5
29 〃	2						2		
30 〃	8						1	3	4
31 〃	15						15		
32 〃	13						10	2	1
33 〃	5						3	2	
34 〃	20						17	2	1
35 〃	11						10		1
36 〃	14					1	13		
37 〃	10						9	1	
38 〃	21					6	15		
39 〃	8					1	7		
40 〃	6					3	3		
41 〃	3					2	1		
42 〃	11					7	4		
43 〃	8				1		7		
44 〃	11					7	4		
45 〃	11					9	2		
46 〃	12				2	8	2		
47 〃	16				2	13	1		
48 〃	21					18	3		
49 〃	16				3	10	3		
50 〃	23				15	8			
51 〃	14			1	8	5			
52 〃	15			3	8	4			
53 〃	18			2	13	3			
54 〃	3			1	1	1			
55 〃	6		1		2	3			
56 〃	13		2	3	8				
57 〃	6		1	1	4				
58 〃	2		1		1				
59 〃	5	1	1	1	2				
60 〃	7				7				
平均年齢	40.2	59	56.8	54.3	52.9	46.7	36.5	31.2	24.2

※短時間再任用職員は含まず。

消防職員階級別勤続年数調

（令和６年４月１日現在）

区分 / 年齢	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	441	1	6	12	77	109	138	14	84
1年未満	14								14
1年以上 2年未満	12								12
2年 〃 3年 〃	11								11
3年 〃 4年 〃	11							1	10
4年 〃 5年 〃	7								7
5年 〃 6年 〃	5								5
6年 〃 7年 〃	5								5
7年 〃 8年 〃	9						2		7
8年 〃 9年 〃	10						2		8
9年 〃 10年 〃	9						4		5
10年 〃 11年 〃	26						15	11	
11年 〃 12年 〃	0								
12年 〃 13年 〃	13						12	1	
13年 〃 14年 〃	24						23	1	
14年 〃 15年 〃	22					1	21		
15年 〃 16年 〃	5					1	4		
16年 〃 17年 〃	24					6	18		
17年 〃 18年 〃	4					1	3		
18年 〃 19年 〃	14					4	10		
19年 〃 20年 〃	0								
20年 〃 21年 〃	8				1	3	4		
21年 〃 22年 〃	4						4		
22年 〃 23年 〃	10					7	3		
23年 〃 24年 〃	2					2			
24年 〃 25年 〃	13				1	10	2		
25年 〃 26年 〃	5					3	2		
26年 〃 27年 〃	4					3	1		
27年 〃 28年 〃	16			1	1	12	2		
28年 〃 29年 〃	20			1	8	10	1		
29年 〃 30年 〃	31				10	20	1		
30年 〃 31年 〃	15		1	1	2	8	3		
31年 〃 32年 〃	17			1	9	6	1		
32年 〃 33年 〃	17			1	13	3			
33年 〃 34年 〃	15			2	9	4			
34年 〃 35年 〃	10			3	4	3			
35年 〃 36年 〃	3				2	1			
36年 〃 37年 〃	4		1	1	1	1			
37年 〃 38年 〃	4	1	1		2				
38年 〃 39年 〃	8		1	1	6				
39年 〃 40年 〃	6		1		5				
40年 〃 41年 〃	2		1		1				
41年 〃 42年 〃	2				2				
平均年数	19.3	37.0	36.7	32.5	31.4	26.4	15.3	9.9	3.6

※短時間再任用職員は含まず。

職員の免許資格取得状況

（令和６年４月１日現在）

免許別＼階級別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
機械運転・操作・整備関係	大型自動車	298		4	9	70	90	109	7	9
	中型自動車	141			1	2	19	85	14	20
	中型自動車8ｔ限定	260	1	7	12	75	100	64	1	
	準中型自動車	5						1		4
	準中型自動車5ｔ限定	124			1	1	7	72	12	31
	大型特殊自動車	74		2	2	15	30	21	1	3
	けん引	4			1	1	1	1		
	自動二輪　（大　型）	40		1	3	10	13	9		4
	自動二輪　（中　型）	135	1	5	6	27	40	42		14
	三級整備士　（シャシ）	1				1				
	玉掛技能	165		2	3	41	50	66	2	1
	移動式クレーン運転業務	172		2	3	43	51	71	2	
	クレーン運転業務	20				2	5	13		
	小型船舶操縦士　（２　級）	47		1	1	19	16	10		
	車両系建設機械　（整地等）	45		2	1	10	18	13		1
	車両系建設機械　（解　体）	30		1		6	13	9		1
	小型車両系　（整　地）	30				2	8	13	3	4
	整備管理者選任前研修修了者（整備士含む）	10			1	4	5			
通信関係	第一級陸上特殊無線技士	1					1			
	第二級陸上特殊無線技士	251	1	6	11	69	103	58	1	2
	第三級陸上特殊無線技士	176			1	9	6	80	13	67
	第三級アマチュア無線技士	1					1			
	第四級アマチュア無線技士	8		1		2	5			
予防関係	予防技術資格者(防火査察専門員)	105		2	3	11	29	45	3	12
	予防技術資格者(消防用設備等専門員)	36			1	5	11	16		3
	予防技術資格者(危険物専門員)	35		1	1	2	11	15	1	4
	危険物取扱者　（甲）	4				2		2		
	危険物取扱者　（乙　三）	16					3	10		3
	危険物取扱者　（乙　四）	86		1	2	8	19	28	3	25
	危険物取扱者　（丙）	23		1	1	8	5	6	1	1
	消防設備士　（甲　四）	2				1		1		
	消防設備士　（乙　六）	17			1	4	3	7		2
	消防設備士　（乙　七）	3					1	2		
救急関係	指導救命士	11				6	5			
	救急救命士	127		1	3	30	30	43	1	19
	気管挿管認定救命士	105		1	3	30	30	36		5
	薬剤投与認定救命士	114		1	3	28	30	43	1	8
	処置拡大２行為	114			3	26	30	43	1	11
	救急標準課程又は救急科	337		2	7	45	97	124	14	48
	救急Ⅰ課程	59	1	5	6	36	11			
	救急Ⅱ課程	55	1	5	6	32	11			
	応急手当指導員	409		5	10	75	109	138	14	58
その他	潜水士	43		1	1	8	10	18		5
	第二種酸素欠乏危険作業主任者	137		2	3	36	50	43		3
	特定化学物質等作業主任者	59		4	2	27	22	4		
	衛生管理者	6				3	1	2		
	ガス溶接技能	75		2	3	24	30	15		1
	電気工事士　（二　種）	7				1	2	3		1
	ボイラー技士　（二　級）	9		1		3	4	1		
	火薬取締保安責任者	2					1	1		

職員研修等実施状況

（令和６年４月１日現在）

学校教育

課　題		対　象	回数	期　間			人員
消防大学校	救助科	消防司令補	1	R5.4.19	～	R5.6.9	1
	幹部科	消防司令	1	R5.10.16	～	R5.12.1	1
	新任教官科	消防司令	1	R6.3.1	～	R6.3.13	1
	指揮隊長コース	消防司令長	1	R5.4.20	～	R5.5.2	1
	高度救助・特別高度救助コース	消防司令補	1	R6.2.29	～	R6.3.15	1
	特別講習会（札幌市）	消防司令補	1	R5.10.12			1
	女性活躍推進コース	消防士長	1	R5.12.14	～	R5.12.22	1
県消防学校	初任総合教育	新任採用者	1	R5.4.6	～	R5.9.29	11
	山岳遭難救助訓練	全階級	2	R5.8.9	～	R5.8.10	12
	特別教育(救助) 車両破壊訓練	全階級	1	R5.7.14			3
	緊急走行研修	全階級	2	R5.9.16	.	R5.9.23	5
	実火災体験型訓練	全階級	2	R5.8.7	～	R5.8.8	4
	女性活躍推進コース（意見交換）	女性職員	1	R5.8.10			2
	特別教育（通信指令研修）	県内消防	1	R5.10.29			16
	火災防ぎょ（PPV戦術・水力換気）	全階級	1	R5.10.26			2
	特別講義聴講（救助科）	全階級	1	R5.10.30			9
	学校長査閲参観（救助科）	全階級		R5.10.25			1
	特別講義聴講（中級幹部科）	司令補以上	4	R6.1.31	～	R6.2.6	4
	特別講義聴講（予防査察科）	全階級	1	R6.1.24			3
	特別講義聴講（火災調査科）	全階級	1	R6.3.6			3
	コンプライアンス研修（むつ市）	全階級	1	R5.6.16			4
	総務研修（八戸市）	全階級	1	R6.2.13			3
	災害時における広聴広報（青森市）	全階級	1	R6.2.28			3
	救助科	全階級	1	R5.10.3	～	R5.10.31	5
	警防科	消防士長以上	1	R5.10.16	～	R5.10.27	4
	初任総合教育(救急科)	新救急隊員	1	R5.11.6		R5.12.27	7
	予防査察科	全階級(5年以上)	1	R6.1.15	～	R6.1.26	5
	中級幹部科	消防司令補以上	1	R6.1.30	～	R6.2.7	3
	火災調査科	全階級(5年以上)	1	R6.2.26	～	R6.3.8	5
	危険物科	全階級(5年以上)	1	R6.3.11	～	R6.3.15	5

研　修

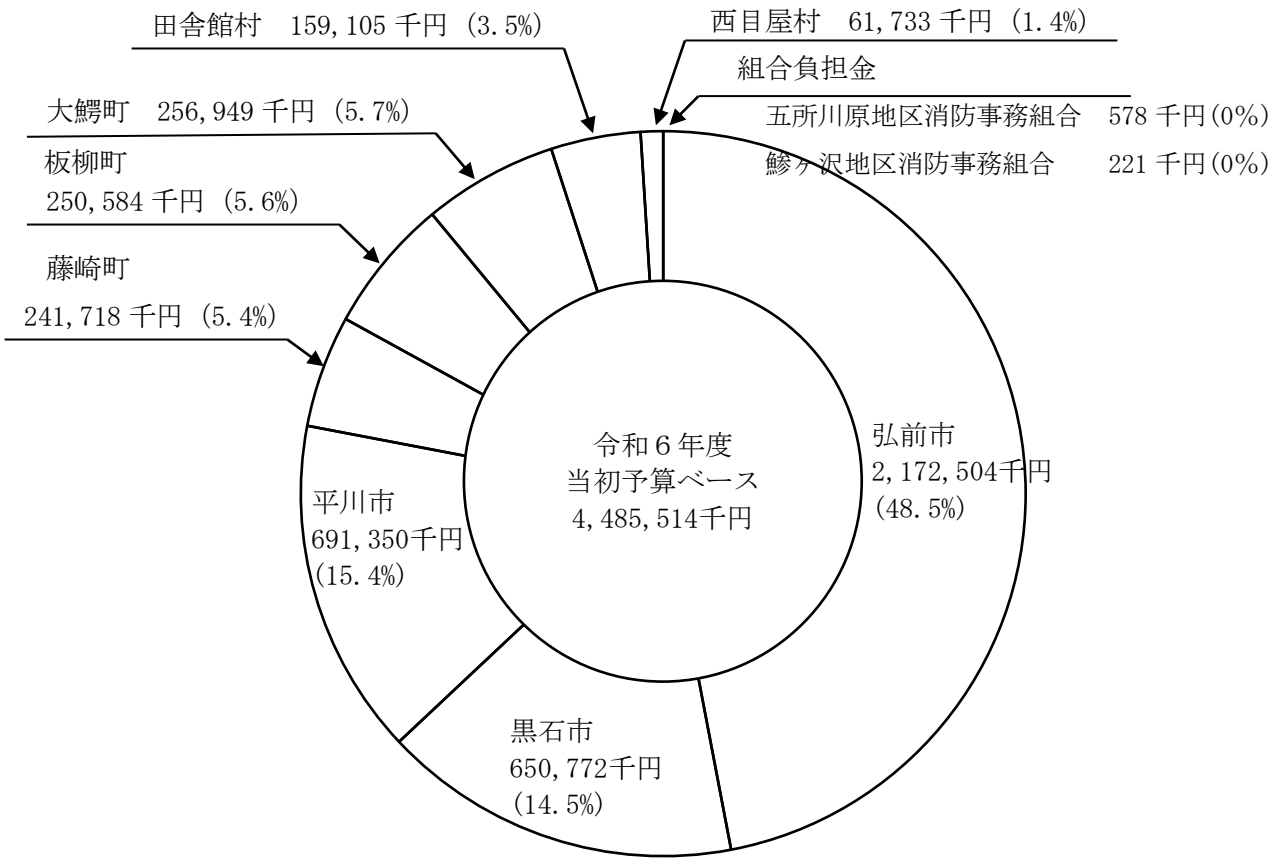
課　題		対　象	回数	期　間			人員
弘前市研修	人事評価制度・目標設定研修	新任消防司令長	1	R5.4.18			3
	ストレスケア研修	全階級	1	R5.5.29			1
	ハラスメント防止研修	司令補以上	1	R5.11.29			2
	男女共同参画推進研修	全階級	1	R5.6.29			3
	ワンペーパーの資料作成研修	全階級	1	R5.11.30			5
	法制執務研修Ⅱ	全階級	1	R6.1.12			3
県自治研修所	法政執務研修	全階級	1	R5.6.5	～	R5.6.6	3
	タイムマネジメント研修	全階級	1	R5.6.30			1
	ダイバーシティマネジメント研修	消防司令補以上	1	R5.7.18			1
	ICT人材育成研修	全階級	1	R5.7.19	～	R5.7.20	2
	カウンセリングマインド研修	消防司令補以上	1	R5.8.9	～	R5.8.10	2
	交渉力向上研修①～WIN・WINの交渉術～	全階級	1	R5.9.14	～	R5.9.15	2
	ロジカルシンキング研修	全階級	1	R5.12.4	～	R5.12.5	3
	独創力の鍛え方・コンセプトの作り方研修	全階級	1	R5.12.6	～	R5.12.7	2
	クレーム対応研修	全階級	1	R5.12.14	～	R5.12.15	5
	交渉力向上研修②～行政事例に学ぶ実践的交渉術～	消防司令補以上	1	R5.12.18	～	R5.12.19	2
東北自治研修所	研修企画養成研修	消防司令補以上	1	R5.6.7	～	R5.6.8	1
	ＪＫＥＴ研修	消防司令補以上	1	R5.6.21	～	R5.6.23	1
	ハラスメント防止指導者研修	消防司令補以上	1	R5.7.6	～	R5.7.7	1
	管理・監督職（危機管理コース）研修	消防司令補以上	1	R5.11.9	～	R5.11.10	1
	管理・監督職（女性職員のためのマネジメントコース）研修	消防司令補以上	1	R5.10.5	～	R5.10.6	1
	ＯＪＴ指導者研修	消防司令補以上	1	R5.5.18	～	R5.5.20	1
市町村アカデミー	広報の効果的実践	消防司令	1	R5.5.25	～	R5.6.2	1
	情報公開と個人情報保護	消防司令	1	R5.5.25	～	R5.6.2	1
	契約事務	消防司令補	1	R5.6.12	～	R5.6.16	1
	地方公会計制度	消防士長	1	R5.7.31	～	R5.8.4	1
	職員研修企画と実践	消防司令	1	R5.8.17	～	R5.8.25	1
消防・救急緊急自動車運転技能者課程		消防士長以上	1	R5.9.28	～	R5.10.1	1
ビデオ喉頭鏡実習		救急救命士	1	R5.7.3	～	R5.9.15	6
ビデオ喉頭鏡実習		救急救命士	1	R5.11.6	～	R5.12.15	4
東北救急医学会総会(web開催)		全階級	1	R5.6.24			7
指導救命士養成研修（九州研修所）		消防司令補	1	R5.7.13	～	R5.8.25	1
全国消防長会予防業務研修会（弘前市）		全階級	1	R5.12.8			2
予防調査技術会議（仙台市）		消防士長以上	1	R5.9.15			2
全国消防長会東北支部研修会（秋田市）		全階級	1	R5.8.1			6
危険物等事故防止講習会（山形市）		全階級	1	R5.10.12			1
全国消防協会東北支部救急実務講習会(盛岡市)		全階級	1	R5.10.2	～	R5.10.3	1
全国消防協会東北支部警防実務講習会(三沢市)		全階級	1	R5.10.27			7
違反是正に係る実務研修（さいたま消防局）		予防課	1	R5.11.6	～	R5.11.10	1
青森県原子力防災訓練		全階級	1	R5.11.6	～	R5.11.7	2
消防大学校特別聴講（リモート形式）		消防士長以上	1	R5.12.20			8
全国消防長会予防・広報講習会(福島市)		全階級	1	R5.11.16	～	R5.11.17	2
令和５年度ＭＣ協議会連絡会（東京都）		警防課	1	R5.7.27	～	R5.7.28	1
令和５年度ＭＣ協議会連絡会（名古屋市）		警防課	1	R6.2.1	～	R6.2.3	1
札幌市消防局指揮体制の視察研修		消防司令以上	1	R5.11.28	～	R5.12.1	3
救急救命士生涯教育		救急救命士	1	R5.10.23	～	R6.3.31	95

当初予算歳入歳出比較表

（単位：千円）

区分		令和６年度		令和５年度		増減額
		予算額	構成比％	予算額	構成比％	
歳入	１　分担金及び負担金	4,485,514	64.9	4,367,961	92.9	117,553
	２　使用料及び手数料	1,506	0.0	1,506	0.0	0
	３　財産収入	113	0.0	126	0.0	△13
	４　繰入金	55,313	0.8	135,483	2.9	△80,170
	５　繰越金	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	６　諸収入	14,607	0.2	12,512	0.3	2,095
	７　組合債	2,358,100	34.1	183,700	3.9	2,174,400
	合　計	6,916,153	100.0	4,702,288	100.0	2,213,865
歳出	１　議会費	4,167	0.1	1,297	0.0	2,870
	２　総務費	599	0.0	599	0.0	0
	３　消防費	6,459,001	93.4	4,150,743	88.3	2,308,258
	４　公債費	368,157	5.3	467,755	10.0	△99,598
	５　基金積立金	83,229	1.2	80,894	1.7	2,335
	６　予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合　計	6,916,153	100.0	4,702,288	100.0	2,213,865
性質別歳出	人件費	3,468,684	50.2	3,430,422	73.0	38,262
	物件費	447,652	6.5	410,514	8.7	37,138
	維持補修費	3,378	0.0	1,794	0.0	1,584
	扶助費	50,310	0.7	50,310	1.1	0
	補助費等	21,136	0.3	17,928	0.4	3,208
	普通建設事業費	2,472,607	35.8	241,671	5.2	2,230,936
	公債費	368,157	5.3	467,755	9.9	△99,598
	積立金	83,229	1.2	80,894	1.7	2,335
	予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合　計	6,916,153	100.0	4,702,288	100.0	2,213,865

市町村・組合別負担金状況



消防予算等の推移（５ヶ年間）

年　度	消防予算（千円）	一世帯当り（円）	住民一人当り（円）
令和２年度	4,937,109	39,550	17,685
令和３年度	4,561,124	36,406	16,530
令和４年度	4,369,315	34,879	16,056
令和５年度	4,702,288	37,445	17,518
令和６年度	6,916,153	59,698	26,236

予　　防

市町村別防火対象物の状況

（令和６年４月１日現在）

用途別＼市町村別			合計	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計			10,471	6,913	1,191	881	467	440	291	224	64
1	イ	劇場・映画館等	18	8	3	2	3		1	1	
	ロ	公会堂・集会場	382	173	46	66	26	29	19	18	5
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	21	15	4		1	1			
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等	4	4							
3	イ	待合・料理店等	2		2						
	ロ	飲食店	416	300	51	25	16	11	5	7	1
4		百貨店・マーケット等	437	286	57	32	21	25	9	7	
5	イ	旅館・ホテル	229	102	58	8		9	29	12	11
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	2,518	2,166	157	87	46	34	14	12	2
6	イ	病院・診療所等	225	163	23	15	10	8	4	2	
	ロ	老人福祉施設等	267	160	31	20	13	16	13	12	2
	ハ	デイサービス等	409	255	45	37	22	13	24	12	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	23	18	4		1				
7		小･中･高･大･各種学校等	324	240	21	35	13	8	3	2	2
8		図書館・博物館等	20	8	4	3	1	1		3	
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	32	11	4	10	1	1	1	1	3
10		車両の停車場	2		1			1			
11		神社・寺院・教会等	191	122	18	14	12	12	10	3	
12	イ	工場・作業場	1,070	555	174	127	51	61	37	59	6
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場	202	108	30	30	9	13	6	4	2
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	1,423	775	173	169	137	96	37	28	8
15		前各項に該当しない事業所	1,025	612	134	120	44	37	35	28	15
16	イ	特定を含む複合用途	770	525	84	60	27	30	32	7	5
	ロ	非特定の複合用途	385	251	56	20	13	26	12	6	1
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	76	56	11	1		8			
18		アーケード									

※　１　防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。

　　２　単位：棟

防火対象物の階数別状況

（令和６年４月１日現在）

用途別＼階数別		対象物数	階数別対象物数																
			地階のみ	1～2階	3階	中高層建築物 計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階
合計		10,471	1	9,314	767	389(28)	216	72	34	16	10(3)	6(2)	10(3)	9(4)	3(3)	2(2)	4(4)	7(7)
1	イ	劇場・映画館等	18		14	4													
	ロ	公会堂・集会場	382		374	5	3	3											
2	イ	キャバレー等																	
	ロ	遊技場・ダンスホール	21		19	1	1	1											
	ハ	性風俗関連店舗																	
	ニ	カラオケボックス等	4		4														
3	イ	待合・料理店等	2		1	1													
	ロ	飲食店	416		393	13	10	3	6	1									
4		百貨店・マーケット等	437		420	16	1	1											
5	イ	旅館・ホテル等	229		191	15	23(3)	6	5	2	3	2	1	2(1)		1(1)		1(1)	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	2,518		2,142	208	168(15)	101	26	7	3	3	3(1)	6	8(3)	1(1)	1(1)	2(2)	7(7)
6	イ	病院・診療所等	225		179	21	25(1)	9	8	6	1			1(1)					
	ロ	老人福祉施設等	267		242	15	10	7	1	1	1								
	ハ	デイサービス等	409		387	15	7	1	5	1									
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	23		19	3	1	1											
7		小･中･高･大･各種学校等	324		199	92	33(2)	20	5	5		2(1)			1(1)				
8		図書館・博物館等	20		19		1		1										
9	イ	蒸気浴場等																	
	ロ	公衆浴場等	32		32														
10		車両の停車場	2		2														
11		神社・寺院・教会等	191		177	13	1	1											
12	イ	工場・作業場	1,070		1,048	16	6	4	1	1									
	ロ	スタジオ等																	
13	イ	自動車車庫・駐車場	202	1	191	5	5	1	2	1	1								
	ロ	特殊格納庫																	
14		倉庫	1,423		1,400	22	1		1										
15		前各項に該当しない事業所	1,025		881	102	42(1)	28	6	5	2		1(1)						
16	イ	特定を含む複合用途	770		600	135	35(5)	21	2	1	4	3(2)	1			1(1)	1(1)	1(1)	
	ロ	非特定の複合用途	385		310	59	16(1)	8	3	3	1			1(1)					
16の2		地下街																	
16の3		準地下街																	
17		文化財	76		70	6													
18		アーケード																	

※ 1 （ ）内は、内書きで高さ３１ｍを超える高層建築物を計上。
2 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。
3 単位：棟

予防査察の実施状況

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

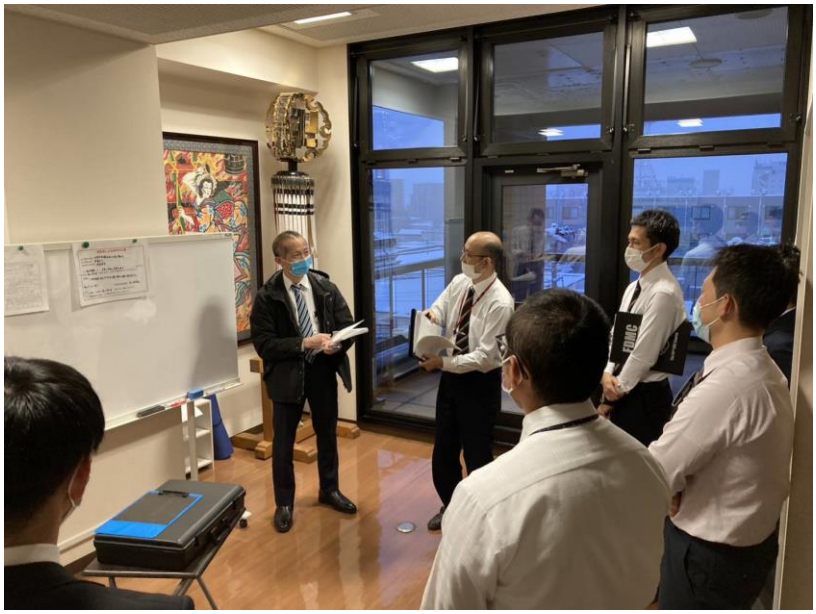
用途別＼市町村別			合計	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計			2,333	1,431	294	217	107	113	90	57	24
1	イ	劇場・映画館等	7	3	1	1	1		1		
	ロ	公会堂・集会場	90	39	10	28	3	1	4	2	3
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	2	2						
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等	1	1							
3	イ	待合・料理店等	1		1						
	ロ	飲食店	108	77	8	6	6	3	2	5	1
4		百貨店・マーケット等	109	80	7	9	5	4	1	3	
5	イ	旅館・ホテル等	96	46	11	4		1	24		10
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	521	434	45	23	8	1	6	3	1
6	イ	病院・診療所等	41	30	2		4	3	2		
	ロ	老人福祉施設等	88	60		7	8	8	2	3	
	ハ	デイサービス等	69	38	9	4	9	5	4		
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	5	1	4						
7		小・中・高・大・各種学校等	77	56	15	5		1			
8		図書館・博物館等	7	1	1	2				3	
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	13	5	1	3	1			1	2
10		車両の停車場									
11		神社・寺院・教会等	36	15	4	5	2	3	4	3	
12	イ	工場・作業場	192	67	45	36	8	21	2	13	
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場	44	24	7	7	1	3	2		
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	282	133	46	25	33	25	10	8	2
15		前各項に該当しない事業所	177	77	34	29	8	9	10	7	3
16	イ	特定を含む複合用途	214	149	13	16	6	9	15	4	2
	ロ	非特定の複合用途	75	37	17	6	4	8	1	2	
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	76	56	11	1		8			
18		アーケード									

※ 単位：棟

違反処理状況

年度	警告	命令	告発	特例認定の取消
令和元年度	２１	2	―	―
令和２年度	5	6	―	―
令和３年度	2	2	―	1
令和４年度	2	2	―	―
令和５年度	4	0	―	―

※　単位：件



防火管理者資格取得状況

年別	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
人数	294	206	233	380	365

防火管理者選任及び消防計画届出状況

（令和６年４月１日現在）

区分 / 用途別			義務対象物件数	防火管理者選任届出対象物件数	選任率%	消防計画作成届出対象物件数	作成率%
合計			2,396	2,342	98	2,333	97
1	イ	劇場・映画館等	11	11	100	11	100
	ロ	公会堂・集会場	205	204	100	201	98
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	20	19	95	19	95
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	4	4	100	4	100
3	イ	待合・料理店等	2	2	100	2	100
	ロ	飲食店	237	215	91	214	90
4		百貨店・マーケット等	294	288	98	288	98
5	イ	旅館・ホテル等	68	68	100	68	100
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	92	90	98	89	97
6	イ	病院・診療所等	78	78	100	77	99
	ロ	老人福祉施設等	192	190	99	190	99
	ハ	デイサービス等	216	216	100	216	100
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	19	19	100	19	100
7		小･中･高･大･各種学校等	116	116	100	116	100
8		図書館・博物館等	8	8	100	8	100
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等	24	22	92	22	92
10		車両の停車場					
11		神社・寺院・教会等	117	116	99	116	99
12	イ	工場・作業場	75	74	99	74	99
	ロ	スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	特殊格納庫					
14		倉庫	12	12	100	12	100
15		前各項に該当しない事業所	215	209	97	209	97
16	イ	特定を含む複合用途	339	330	97	327	96
	ロ	非特定の複合用途	33	33	100	33	100
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		文化財	19	18	95	18	95

※　単位：件　　選任率（%）は四捨五入

訓練指導・講話・広報等状況

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

		消防訓練	防火講話	消防施設見学	火災予防広報	合計
消防本部	回数	0	5	0	0	5
	人員	0	185	0	0	185
弘前消防署管轄	回数	31	4	33	257	325
	人員	3,077	323	845	757	5,002
東消防署管轄	回数	29	3	96 (93)	255	383 (93)
	人員	2,449	48	2,576 (2,813)	878	5,951 (2,813)
黒石消防署管轄	回数	25	2	12	301	340
	人員	2,689	36	474	921	4,120
平川消防署管轄	回数	32	4	11	153	200
	人員	2,766	43	240	444	3,493
板柳消防署	回数	14	1	3	58	76
	人員	788	14	53	206	1,061
合計	回数	131	19	155 (93)	1,024	1,329 (93)
	人員	11,769	649	4,188 (2,813)	3,206	19,812 (2,813)

※　（　）内は東消防署防災教育室利用状況を計上。

東消防署防災教育室利用状況

年度	件数	利用者数	体験内容						延べ時間
			消火	煙	地震	応急手当	その他	庁舎見学	
元年度	101件	2,811人	82件	89件	88件	17件	17件	95件	137時間10分
２年度	33件	854人	28件	30件	30件	1件	1件	33件	41時間20分
３年度	34件	842人	32件	32件	32件	1件	0件	34件	52時間40分
４年度	81件	2,014人	74件	78件	77件	5件	3件	73件	99時間40分
５年度	93件	2,813人	84件	90件	90件	10件	5件	87件	112時間25分

届出受付状況

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

	防火管理者選解任	消防計画作成変更	改修報告	防火対象物使用開始届	消防用設備等点検報告	変電設備等	その他	消防同意	合計
４月	70	158	15	4	260	2	16	24	549
５月	37	48	9	8	207	7	11	24	351
６月	16	30	7	9	271	2	5	27	367
７月	53	52	104	13	281	1	30	25	559
８月	38	42	196	8	310	5	9	22	630
９月	31	37	126	21	408	8	8	19	658
10月	41	51	207	20	341	1	18	33	712
11月	33	34	71	19	287	2	6	26	478
12月	18	24	32	16	382	4	9	11	496
１月	22	23	17	9	149	6	3	8	237
２月	18	28	17	12	177	4	6	13	275
３月	40	42	7	14	197	2	4	27	333
合計	417	569	808	153	3,270	44	125	259	5,645

※　１　「その他」は、炉、厨房設備、ボイラー等の設置及び変更や露店等開設の届出

　　２　単位：件

令和５年度　避難行動要支援者防火防災診断実施状況

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

	対象世帯	実施世帯	未実施世帯							
				内訳						
				死亡	入院	入園	拒否	転居	対象外	不在
合　計	1,286	578	708	26	43	135	69	9	115	311
弘前市	618	327	291	13	12	60	10	3	43	150
黒石市	133	47	86	0	8	18	19	0	11	30
平川市	232	86	146	10	7	41	24	2	25	37
藤崎町	52	22	30	0	2	3	0	0	4	21
板柳町	68	16	52	1	3	3	4	3	27	11
大鰐町	163	70	93	2	11	10	11	1	1	57
田舎館村	7	4	3	0	0	0	0	0	2	1
西目屋村	13	6	7	0	0	0	1	0	2	4

備　考

指導状況　・住宅用火災警報器未設置に対する指導　194　件

・喫煙の状況等に関する指導　29　件

・火気使用器具（暖房器具等）の管理に関する指導　21　件

・建物内外の整理整頓不適（火災予防目的）に関する指導　5　件

※　単位：世帯

市町村別危険物施設の状況

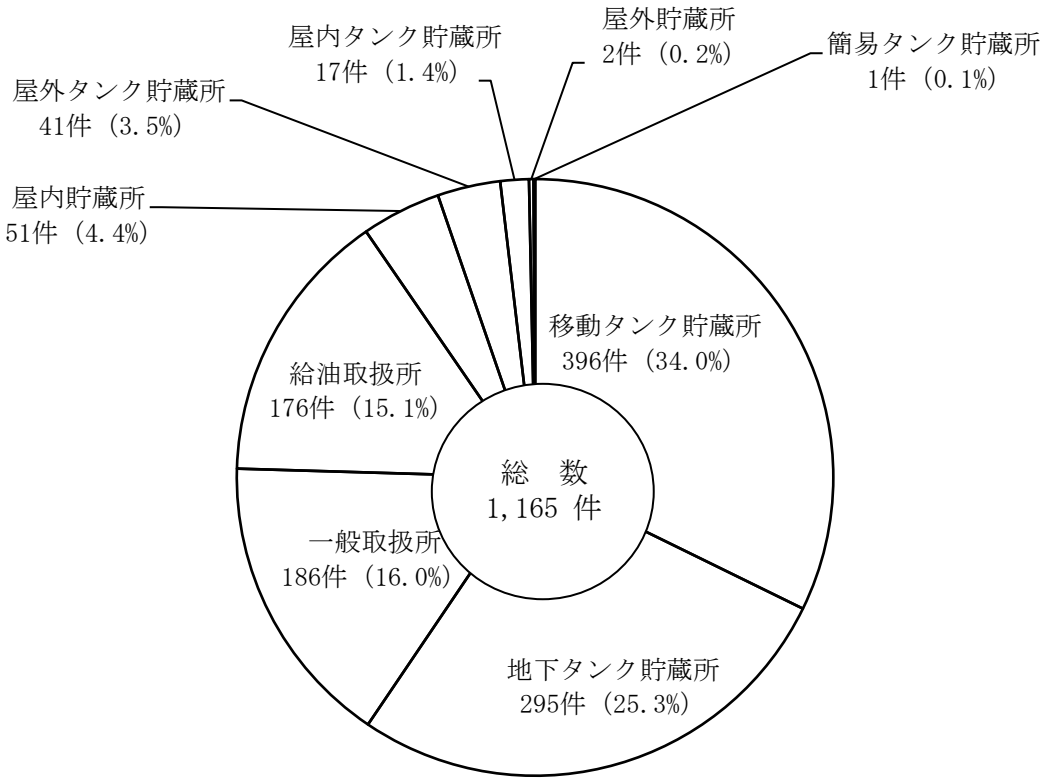
（令和６年４月１日現在）

施設別＼市町村別		合計	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計		1,165	677	141	141	71	57	41	24	13
貯蔵所	屋内貯蔵所	51	31	3	8	4	2	1	2	
	屋外タンク貯蔵所	41	18	3	6	4	2	1	7	
	屋内タンク貯蔵所	17	11	2	1		1	1	1	
	地下タンク貯蔵所	295	171	35	37	19	10	13	2	8
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	396	234	58	48	23	19	6	7	1
	屋外貯蔵所	2	2							
小計		803	468	101	100	50	34	22	19	9
取扱所	給油取扱所	176	92	24	21	13	15	7	2	2
	販売取扱所									
	一般取扱所	186	117	16	20	8	8	12	3	2
小計		362	209	40	41	21	23	19	5	4

※　単位：施設

危険物施設の状況

（令和６年４月１日現在）



規模別危険物施設の状況

（令和６年４月１日現在）

区分＼施設別		合計	貯蔵所							取扱所		
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
合計		1,165	51	41	17	295	1	396	2	176		186
数量	倍数が5以下	659	21	15	13	143	1	369		10		87
	倍数が5を超え10以下	191	16	3	4	98		8	2	12		48
	倍数が10を超え50以下	145	8	13		30		5		48		41
	倍数が50を超え100以下	60	4	4		13		7		24		8
	倍数が100を超え150以下	29	2	3		2		7		14		1
	倍数が150を超え200以下	23		1		1				20		1
	倍数が200を超えるもの	58		2		8				48		

※　倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表で定める指定数量で除して得た数値である。

※　単位：施設

危険物施設の推移（５ヶ年間）

（令和６年４月１日現在）

施設別 / 年度別	合計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	一般取扱所
元 年	1,221	51	44	18	329	1	401	3	180		194
２ 年	1,214	51	44	18	318	1	407	3	181		191
３ 年	1,212	52	44	18	314	1	407	3	180		193
４ 年	1,186	51	43	18	304	1	398	3	180		188
５ 年	1,165	51	41	17	295	1	396	2	176		186

※　単位：施設

危険物関係各種届出・申請件数

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

区分	総数	危険物関係届出・申請						少量危険物等届出			
		廃止届出書	予防規程に係る所長等の変更届出書	名称等変更届出書	保安監督者選任・解任届出書	軽微な変更届出書	その他の届出・申請	少量危険物貯蔵・取扱い届出書	指定可燃物貯蔵・取扱い届出書	液化石油ガス設備工事届出書	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始届出書
件 数	353	40	42	41	51	77	40	50	3	2	21

※　危険物関係届出・申請：その他の届出・申請内訳

品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書	10 件
危険物製造所等使用休止再開届出書	5 件
譲渡・引渡届出書	9 件
危険物製造所等災害発生届出書	1 件
休止中の地下貯蔵タンクの点検期間延長申請書	2 件
予防規程認可申請書	9 件
許可証等再交付申請書	2 件
基準の特例認定申請書	2 件

危険物製造所等の処理状況

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

区分 ＼ 製造所等の別			合計	設置		変更		タンク検査		仮貯蔵・仮取扱	仮使用
				許可	完成	許可	完成	水張	水圧		
令和５年度（合計）			185	24	19	55	54			4	29
仮貯蔵・仮取扱			3							3	
貯蔵所	屋内貯蔵所		6	1		2	1				2
	屋外タンク貯蔵所		4			3	1				
	屋内タンク貯蔵所		2	1	1						
	地下タンク貯蔵所		14	2		7	3				2
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所		66	18	17	13	18				
	屋外貯蔵所										
小計			95	22	18	25	23			3	4
取扱所	給油取扱所		63			22	22			1	18
	販売取扱所	第１種									
		第２種									
	移送取扱所										
	一般取扱所		27	2	1	8	9				7
小計			90	2	1	30	31			1	25

※　単位：施設

警　　防

消防車両等の保有状況

（令和６年４月１日現在）

種別／署別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	梯子車	救助工作車	化学車	救急車	司令車	指揮車	広報連絡車	資機材搬送車	重機搬送車	付水槽小型動力ポンプ車	燃料補給車	その他
合　計	台 79(6)	台 6	台 17(3)	台 2	台 4	台 1	台 18(3)	台 1	台 4	台 12	台 5	台 1	台 1	台 1	台 6
消防本部	6							1		4					1
弘前消防署	7(1)		1	1	1		2(1)		1						1
藤代分署	4		1				1			1					1
西北分署	3		1				1			1					
西分署	4(1)	1	2(1)				1								
目屋分署	3		1				1			1					
東消防署	11(1)			1	1	1	2(1)		1		2	1	1		1
枡形分署	4(1)		2(1)				1			1					
北分署	4	1	1				1								1
南分署	3	1	1				1								
黒石消防署	9(1)	1	1		1		2(1)		1		2			1	
山形分署	3		1				1			1					
田舎館分署	3		1				1			1					
平川消防署	7(1)	1	2(1)		1		1		1		1				
碇ヶ関分署	3		1				1			1					
板柳消防署	5	1	1				1			1					1

※１　その他は、防火指導１号車、防火指導２号車、人員搬送車、5t 重機、ミニホイールローダ(2 台)。

２　（　）は予備車、内書き。

車 両 配 置 状 況

（令和６年４月１日現在）

署別	種別	名称	車名	年式	摘要
消防本部	司令車	司令車	トヨタ	R3	
	広報車	広報１号車	三菱	H19	
	広報車	広報２号車	三菱	H22	
	防火査察指導車	査察１号車	日産	H24	
	機動査察車	機動査察車	トヨタ	R5	９人乗り
	査察車	防火指導２号車	ダイハツ	H20	弘前地区消防防災協会寄贈
弘前消防署	救助工作車	救助１号車	日野	R2	Ⅲ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	H22	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	はしご付消防自動車	梯子１号車	日野	H29	40m級
	救急自動車	救急１号車	トヨタ	R6	高規格救急車
	指揮隊車	指揮１号車	トヨタ	H22	
	救急自動車	弘前予備救急1号車	トヨタ	H20	高規格救急車
	防火指導車	防火指導１号車	トヨタ	H23	15人乗り
藤代分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	H24	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	救急自動車	救急１号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H16	
	弘前人員搬送車	弘前人員搬送１号車	日野	R3	２４人乗り
西北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	R2	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	救急自動車	救急１号車	トヨタ	R6	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H27	
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	R3	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	消防ポンプ自動車	ポンプ１号車	日野	H19	ＣＤ－Ⅰ型　A-２級
	救急自動車	救急１号車	日産	H26	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防３号車	日野	H17	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
目屋分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	R3	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	救急自動車	救急１号車	日産	H20	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H13	
東消防署	救助工作車	救助１号車	日野	H31	Ⅱ型
	化学消防ポンプ自動車	化学１号車	日野	H29	化学Ⅱ型　積載水1,500L　薬液500L　A-２級
	はしご付消防自動車	梯子１号車	日野	H17	30m級　先端屈折式
	水槽車	水槽１号車	日野	H27	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型　積載水5,000L
	救急自動車	救急１号車	トヨタ	R5	高規格救急車
	指揮隊車	指揮１号車	トヨタ	H26	
	救急自動車	弘前予備救急1号車	トヨタ	H20	高規格救急車
	重機搬送車	弘前重機搬送1号車	三菱	H28	最大積載量9.2ｔ　緊急消防援助隊無償使用車両
	５ｔ重機	弘前重機１号車	コベルコ	H28	アタッチメント（掘削・破砕・切断・解体用つかみ） 緊急消防援助隊無償使用車両
	資機材搬送車	東支援１号車	トヨタ	R3	最大積載量0.5ｔ
	資機材搬送車	弘前資機材搬送1号車	三菱	H28	最大積載量３ｔ
枡形分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	R3	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	救急自動車	救急１号車	トヨタ	H27	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防１号車	日野	H15	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	広報連絡車	広報連絡車	三菱	H17	
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク１号車	日野	R3	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-２級
	消防ポンプ自動車	ポンプ１号車	日野	H19	ＣＤ－Ⅰ型　A-２級
	救急自動車	救急１号車	トヨタ	H28	高規格救急車
	小型特殊自動車	作業１号車	キャタピラー	H26	ミニホイールローダ

署　別	種　別	名　称	車　名	年式	摘　要
南分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H30	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日　野	H19	CD－Ⅰ型　A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R元	高規格救急車
黒石消防署	救助工作車	救助1号車	日　野	H24	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H24	水Ⅰ－B型　積載水1,500L　圧縮空気泡消火装置付　A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日　野	R2	CD－Ⅰ型　A-2級
	救急自動車	救急1号車	日　産	H30	高規格救急車
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H25	
	資機材搬送車	支援1号車	トヨタ	H24	最大積載量1ｔ
	資機材搬送車	弘前資機材搬送2号車	三　菱	H25	最大積載量3ｔ　緊急消防援助隊無償使用車両
	燃料補給車	弘前燃料補給1号車	三　菱	H24	990L(軽油) 緊急消防援助隊無償使用車両
	救急自動車	弘前予備救急2号車	日　産	H16	高規格救急車
山形分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H30	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
	救急自動車	救急1号車	日　産	H27	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	トヨタ	R3	
田舎館分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H31	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	スバル	H16	
平川消防署	救助工作車	救助1号車	日　野	H27	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H31	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日　野	H19	CD－Ⅰ型　A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R3	高規格救急車
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H26	
	資機材搬送車	支援1号車	トヨタ	H27	最大積載量1ｔ
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防2号車	日　野	H14	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
碇ヶ関分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H27	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	三　菱	H22	
板柳消防署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日　野	H27	水Ⅱ型　積載水2,000L　A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日　野	H21	CD－Ⅰ型　圧縮空気泡消火装置付　A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R4	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	スバル	H30	
	小型特殊自動車	作業1号車	コマツ	R3	ミニホイールローダ

主要資機材配置状況

（令和６年４月１日現在）

所属／品名	合計	弘前消防署	藤代分署	西北分署	西分署	目屋分署	東消防署	枡形分署	北分署	南分署	黒石消防署	山形分署	田舎館分署	平川消防署	碇ヶ関分署	板柳消防署
空気呼吸器	175	17	4	4	10	4	18	8	8	7	17	4	4	34	4	11
同上ボンベ	422	75	9	8	22	10	46	18	18	21	50	15	15	53	8	22
エンジンカッター	25	3	1	1	2	1	3	2	1	1	3	1	1	4	1	1
潜水器具	14	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救命ボート	6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0
救命索発射銃	5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
マンホール救助器具	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
信号器付投光器	18	2	1	1	1	1	1	1	2	0	2	0	1	3	1	1
救命胴衣	183	24	7	4	18	9	34	12	8	7	20	5	4	20	6	9
酸素呼吸器	20	5	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	5	0	0
空気式救助マット	6	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
防毒マスク	41	15	0	0	5	0	5	0	0	0	14	0	2	10	0	0
耐熱服	15	6	0	0	0	0	7	0	0	0	2	0	0	2	0	0
エアージャッキ	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0
エアーラインマスク	5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可燃性ガス測定器	23	3	1	1	2	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
画像探索機	5	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0
可搬ウインチ	16	2	1	1	2	0	1	1	1	0	2	0	1	3	0	1
登山器具	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
酸素・ガス溶断機	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
送排風機	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	3	0	0
油圧スプレッダー	4	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1
削岩機	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
ガス採取器（北川式）	19	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
放射線測定器	12	4	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	2	0	0
放射線防護服	8	4	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0
熱画像直視装置	9	2	0	1	1	0	3	0	1	0	1	1	1	2	0	0
エアーテント	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0
バスケット型担架	24	3	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2	1	2	1	1
化学防護服（陽圧式）	14	7	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	5	0	0

林野火災対策機材保有状況

（令和５年４月１日現在）

	軽可搬消防ポンプ	可搬式散水装置	簡易水槽	チェーンソー
合　　計	6台	112台	12台	31台
弘前消防署	1	10	1	3
藤代分署		6	1	1
西北分署	1	9	1	1
西分署		6	1	2
目屋分署		8	1	2
東消防署	1	11	1	4
枡形分署	1	2	1	2
北分署		5	1	1
南分署		0		1
黒石消防署		15	2	3
山形分署		9		1
田舎館分署		5		2
平川消防署	2	16	2	4
碇ヶ関分署		5		2
板柳消防署		5		2

消　防　水　利　状　況

【市町村別】　　（令和６年４月１日現在）

水利種別／市町村別	合　計	消火栓										防火水槽					
		公設							私設	計	小計	㎥ 20～39	㎥ 40～59	㎥ 60～99	100㎥以上	私設	小計
		口径mm／設置別	75～99	100～124	125～149	150～199	200～299	300～499	500以上								
弘前市	3,242	地上式	310	198	26	71	19	3	0	6	633	2,498	30	666	30	10	8	744
		地下式	741	493	25	368	158	72	8	0	1,865							
黒石市	716	地上式	136	172	12	118	29	17	1	3	488	488	30	173	17	0	8	228
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
平川市	839	地上式	120	200	1	178	79	15	0	1	594	594	39	191	7	1	7	245
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
藤崎町	426	地上式	110	61	1	91	13	0	0	0	276	287	27	106	3	1	2	139
		地下式	6	1	0	3	1	0	0	0	11							
板柳町	416	地上式	92	134	2	94	34	10	0	0	366	368	6	39	2	0	1	48
		地下式	0	2	0	0	0	0	0	0	2							
大鰐町	292	地上式	151	18	0	30	5	0	0	0	204	221	9	57	3	0	2	71
		地下式	10	1	0	6	0	0	0	0	17							
田舎館村	242	地上式	27	34	0	47	23	0	0	3	134	134	2	102	2	0	2	108
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
西目屋村	97	地上式	29	0	0	0	0	0	0	1	30	33	4	60	0	0	0	64
		地下式	2	1	0	0	0	0	0	0	3							
合　計	6,270	地上式	975	817	42	629	202	45	1	14	2,725	4,623	147	1,394	64	12	30	1,647
		地下式	759	498	25	377	159	72	8	0	1,898							
		計	1,734	1,315	67	1,006	361	117	9	14	4,623							

消　防　水　利　状　況

【所属別】　　（令和６年４月１日現在）

水利種別 / 所属別	合　計	消火栓											防火水槽					
		公設																
		口径 mm / 設置別	75～99	100～124	125～149	150～199	200～299	300～499	500以上	私設	計	小計	20～39 ㎥	40～59 ㎥	60～99 ㎥	100㎥以上	私設	小計
弘前消防署	735	地上式	31	12		3	1	2		1	50	661		57	14	2	1	74
		地下式	299	126		79	54	50	3		611							
藤代分署	533	地上式	65	17		3	5				90	379	2	147	2	1	2	154
		地下式	92	79	6	78	24	6	4		289							
西北分署	205	地上式	25	8		1					34	125	10	69	1			80
		地下式	23	20	1	38	9				91							
西分署	549	地上式	109	107	26	47	10			1	300	409	13	124	2		1	140
		地下式	42	28	10	23	6				109							
目屋分署	164	地上式	31	4						1	36	65	9	90				99
		地下式	8	10	8	3					29							
うち東目屋	(67)	地上式	(2)	(4)							(6)	(32)	(5)	(30)				(35)
		地下式	(6)	(9)	(8)	(3)					(26)							
東消防署	712	地上式	30	17		8	3			4	62	557		138	8	6	3	155
		地下式	187	162		101	42	2	1		495							
枡形分署	441	地上式	48	33		9		1			91	335		101	3	1	1	106
		地下式	92	69		46	23	14			244							
北分署	426	地上式	110	61	1	91	13				276	287	27	106	3	1	2	139
		地下式	6	1		3	1				11							
南分署	292	地上式	151	18		30	5				204	221	9	57	3		2	71
		地下式	10	1		6					17							
黒石消防署	629	地上式	116	157	12	108	29	17	1	1	441	441	19	148	15		6	188
		地下式									0							
山形分署	87	地上式	20	15		10				2	47	47	11	25	2		2	40
		地下式									0							
田舎館分署	242	地上式	27	34		47	23			3	134	134	2	102	2		2	108
		地下式									0							
平川消防署	747	地上式	87	189		163	79	15		1	534	534	39	160	6	1	7	213
		地下式									0							
碇ヶ関分署	92	地上式	33	11	1	15					60	60		31	1			32
		地下式									0							
板柳消防署	416	地上式	92	134	2	94	34	10			366	368	6	39	2		1	48
		地下式		2							2							
合　計	6,270	地上式	975	817	42	629	202	45	1	14	2,725	4,623	147	1,394	64	12	30	1,647
		地下式	759	498	25	377	159	72	8	0	1,898							
		計	1,734	1,315	67	1,006	361	117	9	14	4,623							

通 信 指 令

通信設備状況

（令和６年４月１日現在）

設置区分 / 常置場所		有線								無線										県防災情報ネットワーク				携帯電話			
										デジタル								アナログ									
		一一九回線	FAX一一九回線	一般FAX回線	医療紹介電話	災害情報テレフォン	NEXCO東日本回線	指令回線	指令書回線	基地局	固定局	車載（AVM）	車載（高機能操作部）	車載無線機のみ積載	卓上型半固定	可搬移動局	携帯移動局	署活系携帯	アナログ防災相互波	電話機	衛星電話	防災情報端末	映像受信装置	衛星携帯電話	救急車用	指揮隊用	消防本部用
消防本部	通信指令課	12	1	1	1	1	1			1	1		3			2	14	28	5	1	1	1	1	2			
	本部			1									5				3	3							4	1	2
弘前消防署管轄	弘前消防署			1				1	1			5	1	1	1	1	6	16							1	1	
	藤代分署			1				1	1			2	1	1	1		3	8							1		
	西北分署			1				1	1	1		2	1		1		3	5							1		
	西分署			1				1	1			3	1		1		3	8							1		
	目屋分署			1				1	1	1		2	1		1		3	5							1		
東消防署管轄	東消防署			1				1	1			6	3	1	1	1	9	21	2						1	1	
	枡形分署			1				1	1			2	2		1		3	8							1		
	北分署			1				1	1			3			1		3	8							1		
	南分署			1				1	1			3			1		4	8							1		
黒石消防署管轄	黒石消防署			1				1	1			5	5		1	1	8	16						1	1	1	
	田舎館分署			1				1	1			2	1		1		3	5							1		
	山形分署			1				1	1			2	1		1		3	5							1		
平川消防署管轄	平川消防署			1				1	1			5	4		1	1	6	16							1	1	
	碇ヶ関分署			1				1	1			2	1		1		3	5							1		
板柳消防署				1				1	1			3	1		1		4	8							1		
高速道路坂梨トンネル										2																	
平川市小国山										1	1																
計		12	1	17	1	1	1	15	15	6	2	47	31	3	15	6	81	173	7	1	1	1	1	3	19	5	2
合計		13		50						371										4				29			

※　ＡＶＭ・高機能操作部とは、自車位置や支援情報を送信する車両運用端末装置です。

１１９番通報状況（月別）

（令和５年１月１日～令和５年 12 月 31 日）

種別／月	合計	火災	救急	救助	警戒	通報訓練	いたずら	間違い	その他
合　計	18,657 (8,994)	247 (160)	11,619 (5,693)	115 (92)	163 (90)	2,899 (300)	250 (222)	706 (513)	2,658 (1,924)
１月	1,489 (719)	21 (14)	1,008 (479)	4 (4)	34 (16)	126 (5)	12 (11)	69 (55)	215 (135)
２月	1,258 (589)	8 (4)	836 (374)	4 (4)	20 (11)	134 (13)	10 (9)	68 (50)	178 (124)
３月	1,474 (644)	22 (15)	910 (407)	4 (0)	12 (6)	247 (20)	12 (11)	69 (47)	198 (138)
４月	1,406 (705)	40 (33)	869 (438)	13 (11)	10 (5)	183 (16)	14 (9)	57 (47)	220 (146)
５月	1,494 (718)	13 (8)	919 (449)	18 (14)	5 (2)	236 (16)	22 (21)	74 (56)	207 (152)
６月	1,504 (677)	10 (8)	821 (386)	8 (7)	14 (6)	335 (32)	23 (19)	86 (52)	207 (167)
７月	1,620 (887)	57 (30)	991 (530)	12 (10)	8 (5)	182 (27)	11 (10)	82 (53)	277 (222)
８月	1,947 (1,102)	18 (11)	1,329 (678)	12 (8)	19 (13)	141 (27)	72 (71)	54 (51)	302 (243)
９月	1,712 (852)	10 (7)	1,008 (518)	6 (6)	9 (7)	319 (32)	51 (47)	46 (37)	263 (198)
１０月	1,589 (686)	4 (4)	912 (442)	13 (11)	8 (5)	412 (42)	12 (12)	33 (26)	195 (144)
１１月	1,574 (664)	19 (12)	944 (466)	11 (9)	9 (5)	363 (37)	5 (1)	32 (14)	191 (120)
１２月	1,590 (751)	25 (14)	1,072 (526)	10 (8)	15 (9)	221 (33)	6 (1)	36 (25)	205 (135)

（　）については、携帯電話による通報で内書きです。

「その他」とは、問合せ、無応答、回線試験などによる件数です。

１１９番通報状況（時間帯別）

（令和５年１月１日～令和５年 12 月 31 日）

種別／時間	合計	火災	救急	救助	警戒	通報訓練	いたずら	間違い	その他
合計	18,657	247	11,619	115	163	2,899	250	706	2,658
0～ 1	366	4	222	3	3	3	43	13	75
1～ 2	317	1	229	1	3	0	17	10	56
2～ 3	271	0	190	0	0	0	19	6	56
3～ 4	276	7	177	1	1	0	17	12	61
4～ 5	328	13	238	0	6	0	14	11	46
5～ 6	395	6	289	2	18	0	4	11	65
6～ 7	547	6	415	0	7	3	5	26	85
7～ 8	704	3	536	4	14	25	5	26	91
8～ 9	1,155	2	758	9	10	211	7	39	119
9～10	1,610	13	834	10	14	532	4	39	164
10～11	1,528	16	771	5	10	559	2	38	127
11～12	1,097	31	710	14	10	161	3	36	132
12～13	903	8	651	9	9	87	2	34	103
13～14	1,135	32	572	7	10	323	3	35	153
14～15	1,288	10	619	8	4	467	3	40	137
15～16	1,039	26	559	5	4	221	2	53	169
16～17	929	23	594	8	7	113	3	35	146
17～18	946	8	652	4	5	94	4	36	143
18～19	915	16	630	7	3	44	18	39	158
19～20	805	7	571	4	3	28	8	61	123
20～21	681	9	464	10	6	10	12	28	142
21～22	544	2	375	3	5	0	18	34	107
22～23	455	1	321	1	6	2	14	21	89
23～24	423	3	242	0	5	16	23	23	111

「その他」とは、問合せ、無応答、回線試験などによる件数です。

１１９番通報件数の推移（５ヶ年間）

種類／年	通報件数	内訳		
		固定電話	携帯電話	IP電話
令和元年	14,907	5,351	5,579	3,977
令和２年	13,611	4,507	5,459	3,645
令和３年	14,420	4,582	5,891	3,947
令和４年	17,149	4,956	7,587	4,606
令和５年	18,657	4,760	8,994	4,903

医療機関紹介状況（科目別・月別）

（令和５年１月１日～令和５年12月31日）

種別／月	合計	内科	外科	小児科	眼科	歯科	耳鼻科	皮膚科	婦人科	精神科	泌尿器科
合計	10,405	4,873	2,512	2,735	114	83	48	28	0	5	7
１月	802	381	187	219	7	7	0	0	0	1	0
２月	596	259	163	159	5	7	2	0	0	1	0
３月	556	234	150	157	9	3	1	2	0	0	0
４月	629	267	188	158	4	5	6	1	0	0	0
５月	838	372	233	206	11	6	5	4	0	0	1
６月	602	244	190	155	8	3	1	0	0	0	1
７月	859	351	276	208	9	6	5	3	0	0	1
８月	1,612	965	278	318	15	14	10	9	0	1	2
９月	928	417	249	230	15	9	4	4	0	0	0
１０月	754	325	223	183	11	4	3	4	0	1	0
１１月	901	411	187	282	7	8	3	1	0	1	1
１２月	1,328	647	188	460	13	11	8	0	0	0	1

医療機関紹介状況（５ヶ年間）

年別	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
件数	10,287	8,330	8,239	8,775	10,405

火　　災

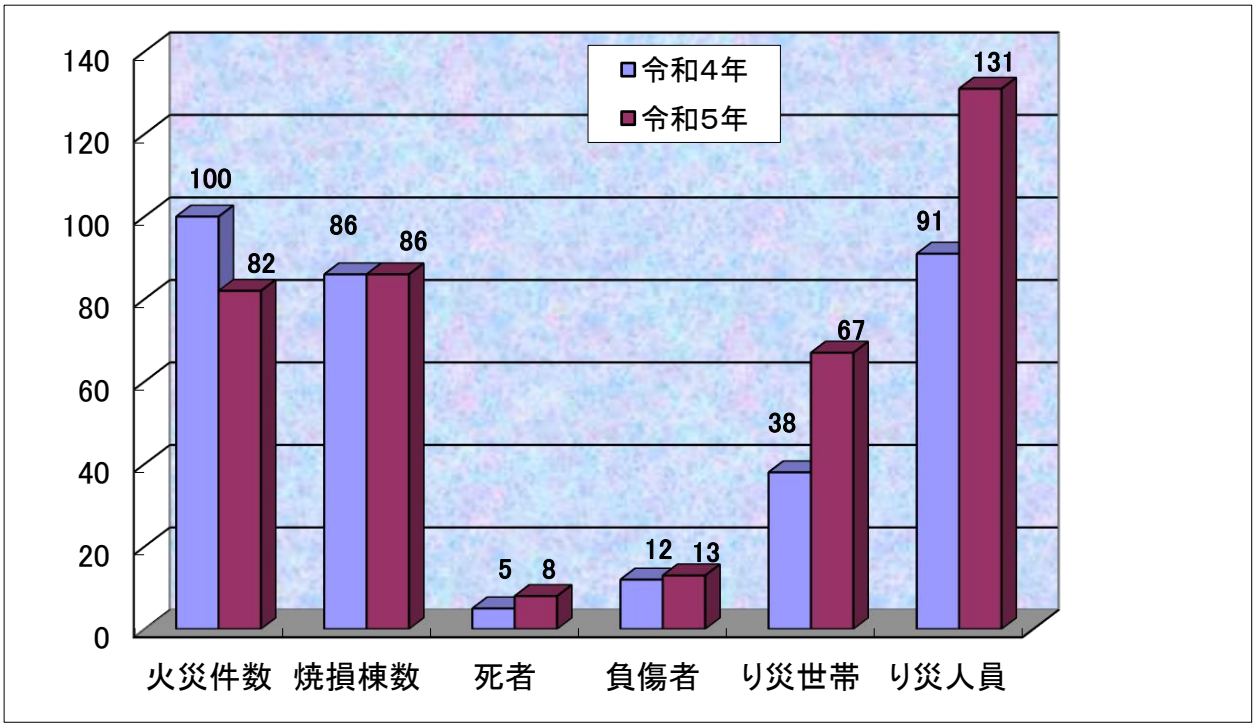
令和５年における火災概要

令和５年（１月～１２月）における当事務組合管内の火災件数は８２件で、前年に比べ１８件減少した。火災種別ごとでは、建物火災５４件（前年５６件)、林野火災０件（前年２件)、車両火災３件（前年４件)、その他の火災２５件（前年３８件）となっている。死者は８人（前年５人)、負傷者１３人（前年１２人）となっている。

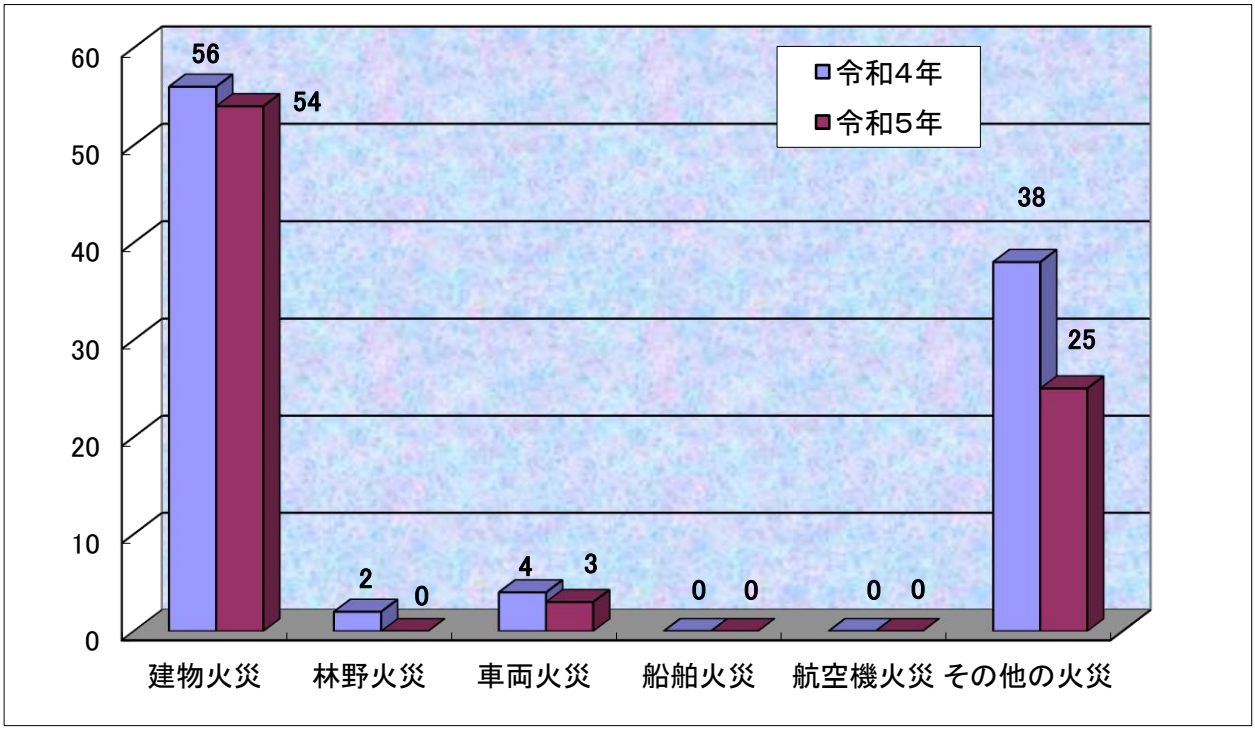
火災による死者の火災種別では、建物火災が７人、その他の火災が１人となっている。

区　　分		令和５年（A）	令和４年（B）	増減（C）「（A）－（B）」
火災件数（件）		82	100	△18
	建物	54	56	△2
	林野	0	2	△2
	車両	3	4	△1
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	25	38	△13
焼損棟数（棟）		86	86	0
	全焼	28	32	△4
	半焼	3	5	△2
	部分焼	29	16	13
	ぼや	26	33	△7
建物焼損面積（㎡）		4,777	3,306	1,471
林野焼損面積（ａ）		0	106	△106
死者（人）		8	5	3
負傷者（人）		13	12	1
り災世帯数（世帯）		67	38	29
	全損	24	14	10
	半損	3	1	2
	小損	40	23	17
り災人員（人）		131	91	40
損害額（千円）		238,677	132,148	106,529
	建物	235,896	121,410	114,486
	林野	0	1,598	△1,598
	車両	153	4,642	△4,489
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	2,628	4,498	△1,870

火災の概況


140
120
100
80
60
40
20
0
令和4年
令和5年
100
82
86
86
5
8
12
13
38
67
91
131
火災件数
焼損棟数
死者
負傷者
り災世帯
り災人員

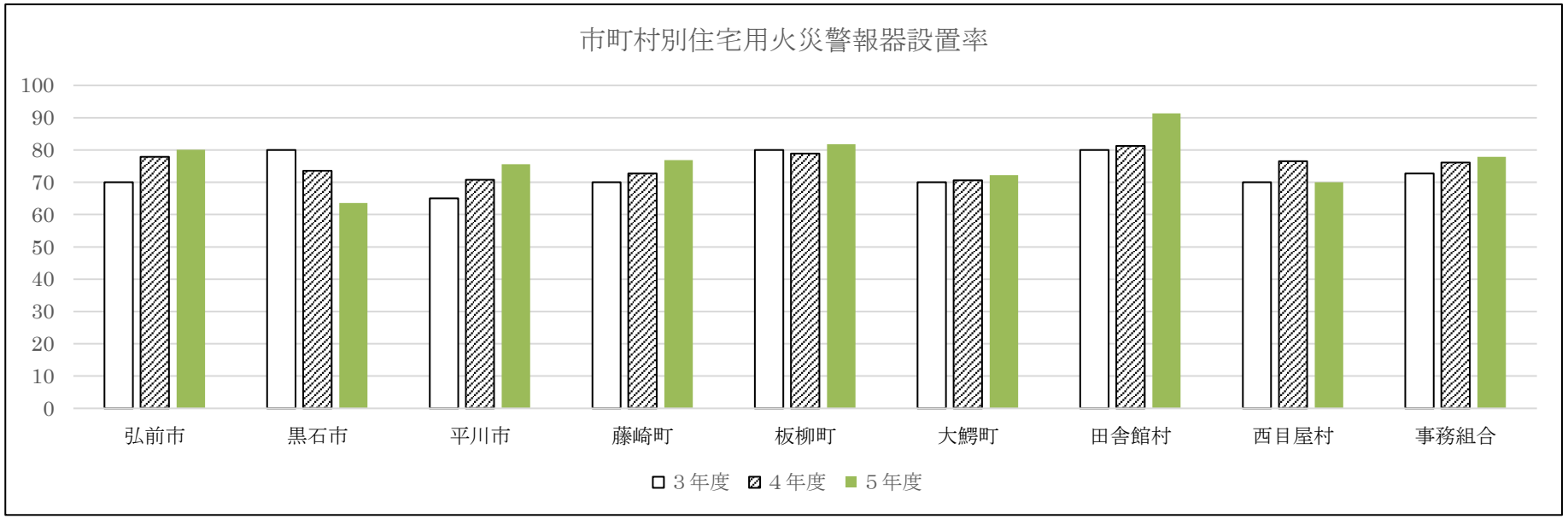
火災の種別


60
50
40
30
20
10
0
令和4年
令和5年
56
54
2
0
4
3
0
0
0
0
38
25
建物火災
林野火災
車両火災
船舶火災
航空機火災
その他の火災

住宅用火災警報器の普及

構成市町村における、住宅用火災警報器の設置調査の結果、設置率は７７．９％となっています。

年度	構成市町村	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	計
5	調査世帯数	251	44	41	13	11	18	23	10	411
	設置世帯数	201	28	31	10	9	13	21	7	320
	設置率	80.1%	63.6%	75.6%	76.9%	81.8%	72.2%	91.3%	70.0%	77.9%
4	調査世帯数	208	53	48	11	19	17	16	17	389
	設置世帯数	162	39	34	8	15	12	13	13	296
	設置率	77.9%	73.6%	70.8%	72.7%	78.9%	70.6%	81.3%	76.5%	76.1%
3	調査世帯数	20	20	20	10	10	10	10	10	110
	設置世帯数	14	16	13	7	8	7	8	7	80
	設置率	70.0%	80.0%	65.0%	70.0%	80.0%	70.0%	80.0%	70.0%	72.7%



市町村別火災件数等の推移（５ヶ年間）

区分 / 市町村別	年別	火災件数					焼損棟数					り災状況					死傷者		焼損面積		損害額（千円）				
		計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	世帯数			人員	死者	負傷者	建物（㎡）	林野（a）	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
													全損	半損	小損										
弘前市	元年	92	45	3	5	39	71	24	5	13	29	49	16	5	28	145	12(5)	15	3,506	27	175,406	173,860	22	868	656
	2年	50	26	1	3	20	43	9	4	10	20	28	8	1	19	82	6(1)	6(1)	1,813	12	95,645	92,908	335	173	2,229
	3年	51	32		3	16	62	19	3	13	27	44	14	1	29	91	2	12	2,737		135,820	133,680		1,564	576
	4年	55	39	1	1	14	56	18	4	11	23	26	11	1	14	51	4(1)	5	2,571	7	75,683	72,726	270	1,154	1,533
	5年	37	30		1	6	47	15	2	16	14	34	13	2	19	70	4	9	1,876		63,372	63,228		1	143
黒石市	元年	14	7		1	6	7	1	1	3	2	6	2		4	17	2(1)	3	478		9,706	9,209		80	417
	2年	13	10			3	14	7	1	2	4	6	1	1	4	11		3	270		4,406	4,366		40	
	3年	11	5			6	14	6	1	4	3	10	7	1	2	15			627		15,466	15,152			314
	4年	9	2	1	1	5	2	2										1	63	99	4,265	253	1,328	2,680	4
	5年	14	8		1	5	15	5	1	4	5	13	3	1	9	21	2	1	1,140		85,612	83,128		69	2,415
平川市	元年	19	6	1	1	11	7	1	1	2	3	4		1	3	9	1(1)	1	75	39	10,660	6,316	3,404	925	15
	2年	21	9	3	2	7	11	4	1	4	2	6	3	1	2	15	1(1)	2	557	63	39,374	36,301	1,976	1,097	
	3年	15	9		1	5	26	10	2	7	7	16	6		10	32	1		1,222		57,874	32,968		20,834	4,072
	4年	10	2		1	7	8	2	1	4	1	4	1		3	15		2	252		39,668	18,746		744	20,178
	5年	8	5			3	9	1		6	2	9	2		7	13	1	1	407		10,985	10,984			1
藤崎町	元年	3	1			2	1	1											130		2,768	2,768			
	2年	3	1			2	1				1														
	3年	9	3		1	5	3			1	2	2			2	11			285		5,479	4,850			629
	4年	4	2			2	2				2	1			1	4		1			448	448			
	5年	7	4			3	4	1		1	2	3	1		2	10			197		26,604	26,541			63

※　死傷者欄中の（　）内は放火自殺者数

区分 市町村別	年別	火災件数					焼損棟数					り災状況					死傷者		焼損面積		損害額（千円）				
		計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	世帯数			人員	死者	負傷者	建物（㎡）	林野（a）	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
													全損	半損	小損										
板柳町	元年	8	3			5	8	3	1	3	1	4	2		2	13		1	740		7,438	7,438			
	2年	7	4			3	4			1	3	2			2	11			3		5,223	3,071			2,152
	3年	6	4		1	1	4	1		1	2	3	1		2	9			134		3,659	3,633		26	
	4年	10	3		1	6	3	2			1	2	1		1	6		1	9		592	72		64	456
	5年	6	2		1	3	2	1		1									15		942	853		83	6
大鰐町	元年	5	1			4	2	1		1		2	1		1	4		1	184		5,057	5,057			
	2年	10	5	1		4	7	1	2	3	1	7	3	1	3	18	2		477	54	21,726	21,065	569		92
	3年	4	1			3	1				1	1			1	3		2			136	136			
	4年	2	1			1	2	1			1	1			1	5			9		58	58			
	5年	3	2			1	5	3		1	1	4	3		1	10	1	1	734		37,899	37,899			
田舎館村	元年	5	1			4	1				1	1			1	3	1				201	1			200
	2年	3	2			1	4	1	2	1		1			1	4	1(1)	1	153		5,310	5,310			
	3年	3				3															21				21
	4年	9	7			2	13	7		1	5	4	1		3	10	1	2	402		10,678	10,602			76
	5年	5	1			4	2	1			1	2	1		1	3		1	106		3,194	3,194			
西目屋村	元年																								
	2年	2				2																			
	3年																								
	4年	1				1																			
	5年	2	2				2	1			1	2	1		1	4			302		10,069	10,069			

※　死傷者欄中の（　）内は放火自殺者数

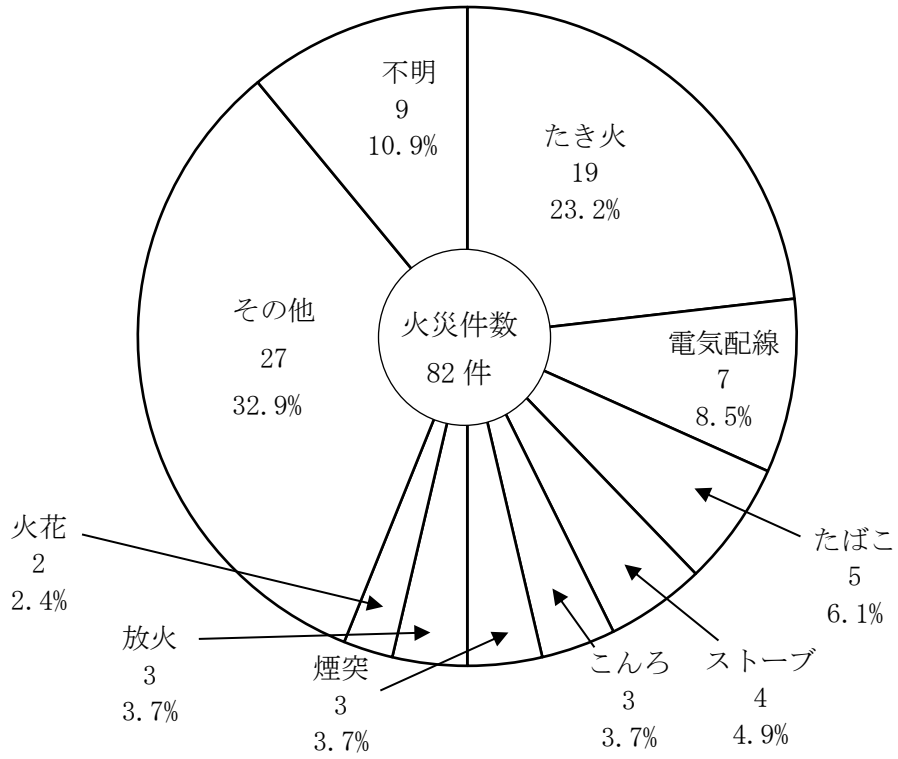
管内火災件数等の推移（５ヶ年間）

区分／年別	火災件数					焼損棟数					り災状況					死傷者		焼損面積		損害額（千円）				
	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	世帯数			人員	死者	負傷者	建物（㎡）	林野（ａ）	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
												全損	半損	小損										
元年	146	64	4	7	71	97	31	8	22	36	66	21	6	39	191	16 (7)	21	5,113	66	211,236	204,649	3,426	1,873	1,288
２年	109	57	5	5	42	84	22	10	21	31	50	15	4	31	141	10 (3)	12 (1)	3,273	129	171,684	163,021	2,880	1,310	4,473
３年	99	54	0	6	39	110	36	6	26	42	76	28	2	46	161	3	14	5,005	0	218,455	190,419	0	22,424	5,612
４年	100	56	2	4	38	86	32	5	16	33	38	14	1	23	91	5 (1)	12	3,306	106	132,148	103,257	1,598	4,642	22,651
５年	82	54	0	3	25	86	28	3	29	26	67	24	3	40	131	8	13	4,777	0	238,677	235,896	0	153	2,628

※　死傷者欄中の（　）内は放火自殺者数

出火原因の状況

火災件数８２件の出火原因は、たき火によるものが件と最も多く、次いで電気配線、たばこ、ストーブの順となっている。



令和５年	
原因別＼火災件数	82
たき火	19
電気配線	7
たばこ	5
ストーブ	4
こんろ	3
煙突	3
放火	3
火花	2
その他	27
不明	9

令和４年	
原因別＼火災件数	100
たき火	29
ストーブ	10
煙突	5
電気配線	5
たばこ	4
こんろ	4
放火の疑い	4
ライター	3
ろうそく	2
放火	2
その他	25
不明	7

令和３年	
原因別＼火災件数	99
たき火	26
放火の疑い	9
たばこ	6
ストーブ	5
放火	5
こんろ	4
電気配線	4
スパーク	2
灯明	2
電池	2
その他	19
不明	15

令和２年	
原因別＼火災件数	109
たき火	33
ストーブ	10
たばこ	9
放火	7
こんろ	6
放火の疑い	4
ハンドトーチ	3
電気機器	2
ローソク	2
マッチ･ライター	2
その他	14
不明	17

月別発生状況

火災件数は８２件で、月ごとにみると４月が２０件と最も多く、６、９、１０月が３件と最も少なくなっている。

区分／月別	火災件数	火災の種別				焼損棟数	建物焼損面積	林野焼損面積	り災世帯数	り災人員	死者数	負傷者数	損害額
		建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災								
合計	82件	54件	0件	3件	25件	86棟	4,777㎡	0a	67世帯	131人	8人	13人	238,677千円
１月	8	7			1	12	885		11	31	2	2	54,903
２月	6	4		1	1	5	620		5	6	1	1	18,580
３月	8	6			2	8	483		12	17	2	1	22,126
４月	20	5			15	9	43		4	8			3,670
５月	5	3		1	1	3	3						558
６月	3	2			1	3	96		3	6		2	247
７月	8	6			2	16	1,269		10	21	1	2	68,634
８月	5	5				5	110		2	5		2	2,768
９月	3	1			2	1			1	2		1	2
10月	3	2		1		2	3		1	1			142
11月	5	5				10	810		8	21	2	2	35,189
12月	8	8				12	455		10	13			31,858

市町村別、月別の火災件数

火災件数８２件中、弘前市が３７件で４５％を占め、次いで、黒石市が１４件で１７％となっている。

市町村別 / 月別	火災件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計(件)	82	37	14	8	7	6	3	5	2
１月	8	5			2		1		
２月	6	3	1			1			1
３月	8	2	1	3		1		1	
４月	20	6	3	2	2	3	1	2	1
５月	5	4	1						
６月	3	2			1				
７月	8	2	5					1	
８月	5	3		1	1				
９月	3	2						1	
10月	3	1		1		1			
11月	5	3			1		1		
12月	8	4	3	1					

市町村別、曜日別の火災件数

火災件数８２件中、木曜日の発生が１８件と最も多く、土曜日の発生が８件と最も少なくなっている。

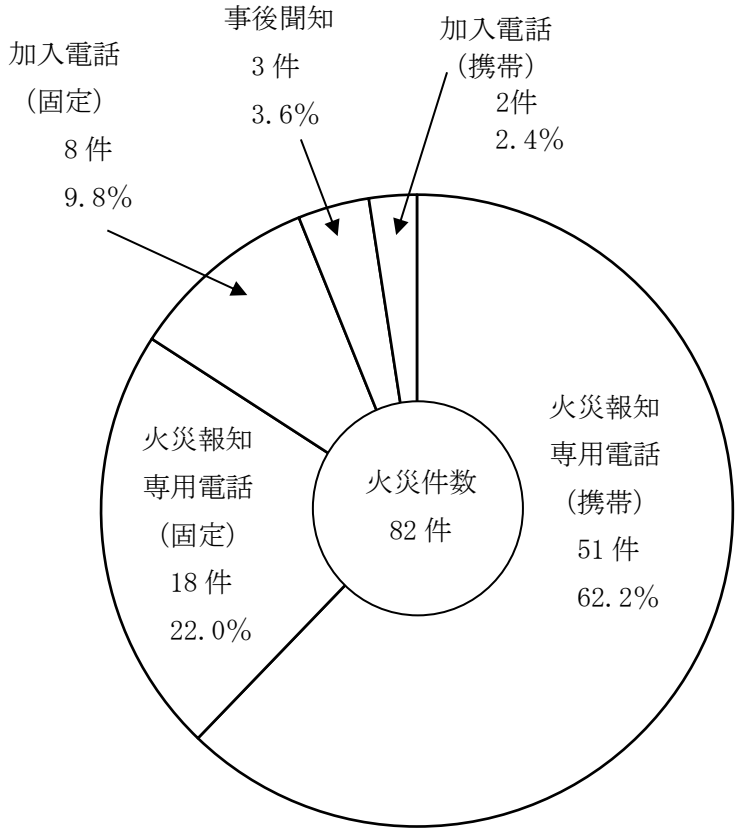
市町村別 / 月別	火災件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計(件)	82	37	14	8	7	6	3	5	2
日	12	5	4	2	1				
月	9	6				2		1	
火	11	5	1		3	1			1
水	13	5	3	4			1		
木	18	10	3			1		4	
金	11	3	2	1	1	1	2		1
土	8	3	1	1	2	1			
不明									

市町村別、時間帯別の火災件数

時間別の火災発生状況は、１２時から１４時の間が２１件と最も多く、０時から２時の間は０件となっている。

市町村別／時間帯	火災件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合　計（件）	82	37	14	8	7	6	3	5	2
０～２	0								
２～４	3	2	1						
４～６	2	2							
６～８	3	2							1
８～１０	12	7		1		2		1	1
１０～１２	10	4	4		1		1		
１２～１４	21	11	3	2	2	2		1	
１４～１６	13	3	4	1	1		2	2	
１６～１８	8	2	2	1	1	1		1	
１８～２０	4	1		2	1				
２０～２２	2				1	1			
２２～２４	4	3		1					
不　明									

覚知別火災件数



覚知別 / 市町村別	火災件数	火災報知専用電話		加入電話		駆付け	事後聞知	その他
		固 定	携 帯	固 定	携 帯			
合 計（件）	件 (IP) 82 (0)	件 (IP) 18 (0)	件 51	件 8	件 2	件 0	件 3	件 0
弘 前 市	37	7	25	2	1		2	
黒 石 市	14	5	8	1				
平 川 市	8	1	5	1			1	
藤 崎 町	7	4	2	1				
板 柳 町	6		3	2	1			
大 鰐 町	3	1	2					
田 舎 館 村	5		5					
西 目 屋 村	2		1	1				

※ (IP)とはＩＰ電話のことで、インターネット回線を利用した電話のこと。

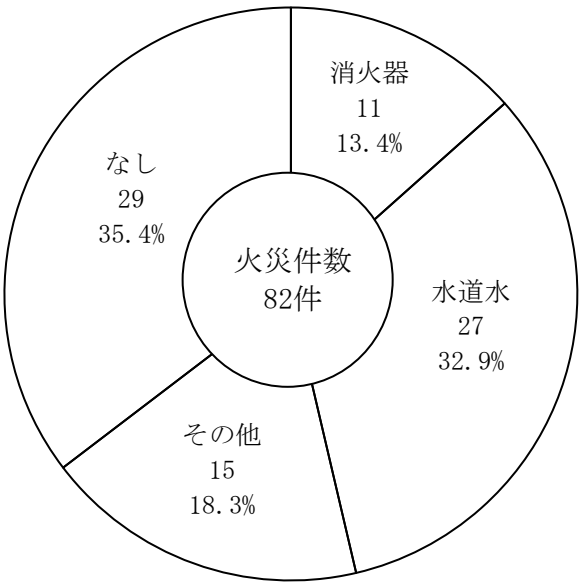
火災種別ごとの初期消火状況

火災件数８２件中、初期消火が実施された火災は５３件（建物火災３６件、車両火災２件、その他の火災１５件）で、使用された器具等は消火器が１１件、水道水が２７件となっている。

初期消火が実施された火災で、消火に成功した件数は２１件（建物火災１６件、その他の火災５件）である。

区分／火災種別	火災件数 件	初期消火実施件数					初期消火成功件数					初期消火なし	
		計 件	内訳 消火器 件	内訳 水道水 件	内訳 その他 件	実施率 (%)	計 件	内訳 消火器 件	内訳 水道水 件	内訳 その他 件	成功率 (%)	計 件	未実施率 (%)
合　計	82	53	11	27	15	64.6	21	5	13	3	39.6	29	35.4
建物火災	54	36	7	23	6	67.7	16	3	11	2	44.4	18	33.3
林野火災													
車両火災	3	2	1		1	66.7						1	33.3
その他の火災	25	15	3	4	8	60.0	5	2	2	1	33.3	10	40.0

初期消火の状況



救　　急

救急業務の概況

令和５年中の組合管内の出動件数は、13,582 件、搬送人員は 12,392 人で前年に比べ、出動件数が 781 件（6%）、搬送人員が 2,045 人（21%）とそれぞれ増加し、過去最高を記録した。

このことは、管内で一日平均 37.2 件、約 38.7 分に１回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約 22 人に１人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第１位が急病によるもので 8,926 件、第２位が一般負傷 1,938 件、第３位が転院搬送 1,669 件、第４位が交通事故 536 件となっている。また、搬送人員では第１位が急病 8,147 人、第２位が一般負傷 1,810 人、第３位が転院搬送 1,663 人、第４位が交通事故 497 人となっている。

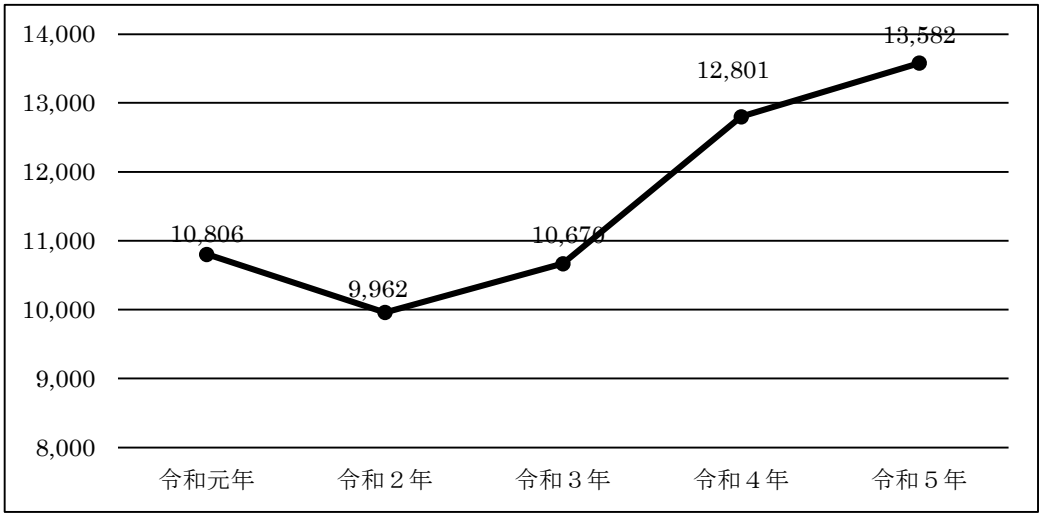
搬送された 1 人の傷病程度の内訳は、死亡 315 人（2.54%）、重症 1,959 人（15.81%）、中等症 5,740（46.32%）、軽症 4,380 人（35.34%）、その他が 2 人（0.02%）となっている。

医療機関等へ搬送された 12,392 人のうち、99.2%にあたる 12,287 人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの 0.8%にあたる 103 人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

署別救急出動件数の比較（対前年比）

件数 / 年別 / 署別	件数		増減
	令和５年	令和４年	
合計	13,582	12,801	781
弘前消防署	2,125	2,005	120
藤代分署	1,283	1,308	△25
西北分署	350	302	48
西分署	709	687	22
目屋分署	173	124	49
東消防署	1,906	1,781	125
枡形分署	2,139	1,972	167
北分署	665	686	△21
南分署	553	506	47
黒石消防署	1,234	1,112	122
山形分署	161	151	10
田舎館分署	544	529	15
平川消防署	900	854	46
碇ヶ関分署	213	172	41
板柳消防署	627	612	15

救急出動件数の推移（５ヶ年間）



年別	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
出動件数	10,806	9,962	10,670	12,801	13,582
対前年増減	△35	△844	708	2,131	781

市町村別救急出動件数の比較（対前年比）

市町村別／年別	合計	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	高速道路	管外
令和５年	13,582	8,803	1,449	1,318	548	577	448	327	100	11	1
令和４年	12,801	8,334	1,314	1,237	586	530	426	305	59	10	0
増減	781	469	135	81	△38	47	22	22	41	1	1

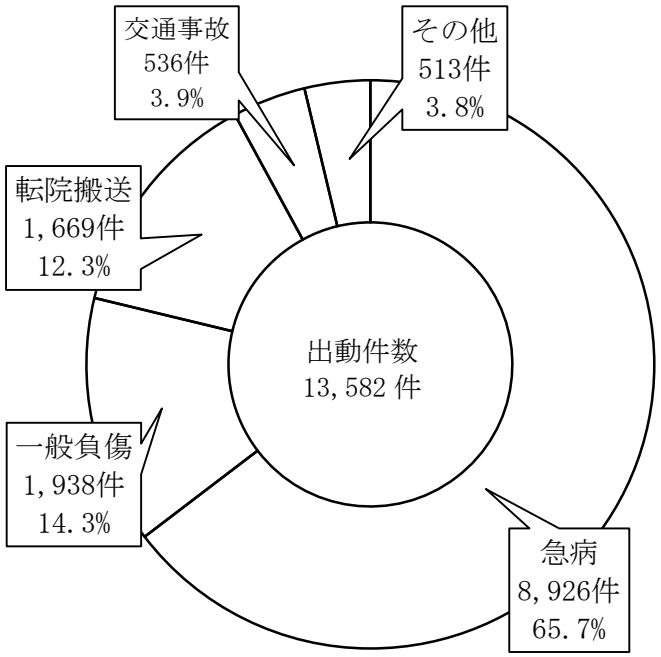
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

市町村別	区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
													転院搬送	医師搬送	その他
合計	出動件数	13,582	60		8	536	116	45	1,938	20	117	8,926	1,669	7	140
	搬送人員	12,392	15		2	497	111	45	1,809	15	87	8,148	1,663		
弘前市	出動件数	8,803	32		3	314	82	36	1,225	12	81	5,561	1,352	5	100
	搬送人員	8,022	10		1	289	78	36	1,137	9	65	5,053	1,346		
黒石市	出動件数	1,449	9		3	68	12	3	216	4	10	975	140		9
	搬送人員	1,340	1		1	65	12	3	202	4	7	905	140		
平川市	出動件数	1,318	5		1	59	9	3	192	1	13	996	29	1	9
	搬送人員	1,213	1			55	8	3	190		7	920	29		
藤崎町	出動件数	548	6			24	2		68		4	383	60		1
	搬送人員	491	1			18	2		62		3	345	60		
板柳町	出動件数	577	2			27	3	1	89		2	383	58		12
	搬送人員	522				26	3	1	79			355	58		
大鰐町	出動件数	448	3		1	12	5	2	89	2	2	305	22	1	4
	搬送人員	400	1			11	5	2	84	2	1	272	22		
田舎館村	出動件数	327	2			23	1		46	1	3	240	8		3
	搬送人員	309	1			27	1		46		3	223	8		
西目屋村	出動件数	100	1			3	2		13		2	77			2
	搬送人員	84				3	2		10		1	68			
高速道路	出動件数	11				6						5			
	搬送人員	8				3						5			
管外	出動件数	1										1			
	搬送人員											1			

署別、事故種別救急業務実施状況

署別	区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
													転院搬送	医師搬送	その他
合計	出動件数	13.582	60		8	536	116	45	1,938	20	117	8,926	1,669	7	140
	搬送人員	12,392	15		2	497	111	45	1,809	15	87	8,148	1,663		
弘前消防署	出動件数	2,115	12			78	13	6	303	3	18	1,267	396	6	23
	搬送人員	2,093	5			79	12	6	285	3	15	1,152	395		
藤代分署	出動件数	1,283	5			46	16	6	181	1	10	885	120		15
	搬送人員	1,170	1			39	16	7	169		9	810	119		
西北分署	出動件数	350	1			14	6	1	60		2	253	9		4
	搬送人員	317				13	6	1	57			231	9		
西分署	出動件数	709	1			27	13	1	128	1	12	472	45		9
	搬送人員	654				26	13		122	1	7	440	44		
目屋分署	出動件数	173				1	5		23		2	139			3
	搬送人員	152				1	4		22		2	123			
東消防署	出動件数	1,906	9			79	8	12	235	4	18	1114	398	1	28
	搬送人員	1,702	3			63	6	12	209	2	15	995	397		
桝形分署	出動件数	2,139	10			61	18	7	277	3	19	1,368	352		23
	搬送人員	1,941	1			55	18	7	252	3	17	1,239	349		
北分署	出動件数	665	3			34	6	2	75	1	5	468	65		5
	搬送人員	608	2			32	6	2	70		5	426	65		
南分署	出動件数	553			2	14	6	3	110	2	5	377	30		4
	搬送人員	486				10	6	2	105	2	1	330	30		
黒石消防署	出動件数	1,234	9		2	62	8	3	181	3	4	829	120		10
	搬送人員	1,135			1	56	8	3	169	3	3	770	120		
山形分署	出動件数	161	1		1	4	1		35			115	4		
	搬送人員	154				5	1		35			109	4		
田舎館分署	出動件数	544	1			38	4		74	1	7	382	36		1
	搬送人員	509	2			39	4		72	1	4	351	36		
平川消防署	出動件数	900	5			37	8	3	118	1	9	683	28		8
	搬送人員	833	1			39	7	3	114		6	635	28		
碇ヶ関分署	出動件数	213				9			35			151	16		2
	搬送人員	202				10			36			143	16		
板柳消防署	出動件数	627	3		1	32	4	1	103		3	424	51		5
	搬送人員	577			1	33	4	1	93		1	393	51		

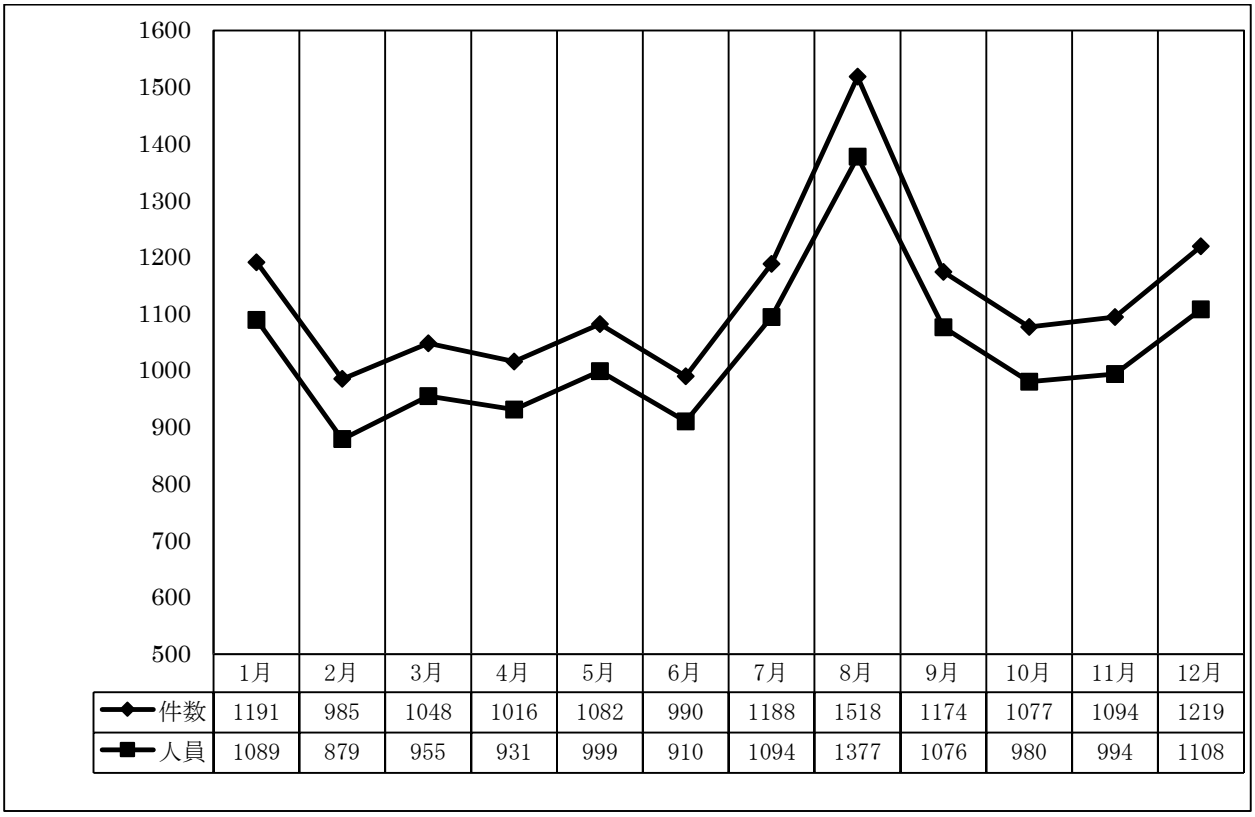
事故種別救急出動件数



その他 513 件の内訳

1	その他	140 件
2	自損行為	117 件
3	労働災害	116 件
4	火災	60 件
5	運動競技	45 件
6	加害	20 件
7	水難	8 件
8	医師搬送	7 件

月別救急出動件数及び搬送人員



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	1191	985	1048	1016	1082	990	1188	1518	1174	1077	1094	1219
人員	1089	879	955	931	999	910	1094	1377	1076	980	994	1108

事故種別、覚知方法別出動件数

事故種別 / 覚知別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合　　計	13,582	60		8	536	116	45	1,938	20	117	8,926	1,816
自己覚知	21	1			6			3		1	5	5
専用電話	12,048	51		5	463	110	44	1,848	12	104	8,573	838
加入電話	1,212	4		3	52		1	38	7	9	157	941
駆け付け	119				6	4		29			75	5
警察電話	25				1	1		2		3	18	
その他	157	4			8	1		18	1		98	27

現場到着所要時間別出動件数

現着所要時間 / 事故種別	合　計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要時間 (分)
合　　計	13,582	119	604	8,535	4,123	201	8.8
急　　病	8,926	64	324	5,670	2,772	96	8.8
交　　通	536	3	18	290	204	21	9.9
一般負傷	1,938	23	75	1,178	628	34	9.0
そ の 他	2,182	29	187	1,397	519	50	8.4

収容所要時間別、事故種別搬送人員

収容所要時間 / 事故種別	合　計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要時間 (分)
合　　計	12,392	2	164	2,111	9,159	937	19	40.4
急　　病	8,148		42	1,114	6,357	625	10	41.3
交　　通	497		2	52	386	56	1	43.8
一般負傷	1,809	1	2	243	1,393	167	3	42.2
そ の 他	1,938	1	118	702	1,023	89	5	34.3

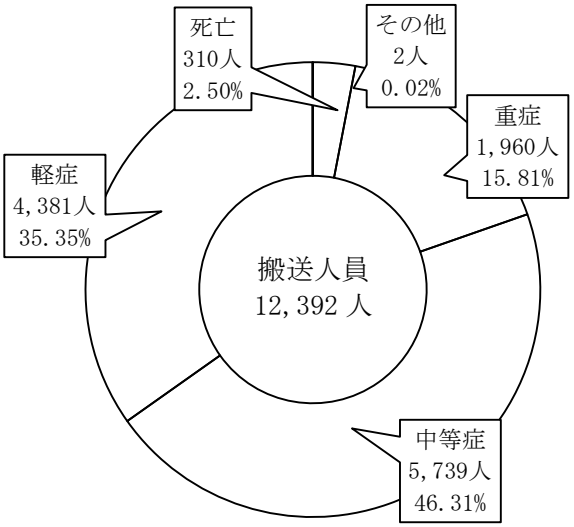
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員

年齢区分	傷病程度＼事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	死亡	310	1			5			17		14	270	3
	重症	1,960	1			27	16		226	1	15	1,106	568
	中等症	5,739	7			129	46	14	762	4	38	3,734	1,005
	軽症	4,381	6		2	336	49	31	804	10	20	3,036	87
	その他	42										2	
	計	12,392	15		2	497	111	45	1,809	15	87	8,148	1,663
新生児	死亡												
	重症	1											1
	中等症	11											11
	軽症	6							1			3	2
	その他												
	計	18							1			3	14
乳幼児	死亡												
	重症	7							1			2	4
	中等症	107				2			11			66	28
	軽症	371				9			48			313	1
	その他												
	計	485				11			60			381	33
少年	死亡												
	重症	15				1			1		1	2	10
	中等症	90				6		9	13		1	52	9
	軽症	217				39		20	38		2	117	1
	その他												
	計	322				46		29	52		4	171	20
成人	死亡	41				1			2		9	28	1
	重症	381				8	12		27	1	8	159	166
	中等症	1,187	4			66	33	3	124	2	30	668	257
	軽症	1,468	3			175	41	11	209	5	15	980	29
	その他												
	計	3,078	7			250	86	14	362	8	62	1,836	453
高齢者	死亡	269	1			4			15		5	242	2
	重症	1,556	1			18	4		197		6	943	387
	中等症	4,344	3			55	13	2	614	2	7	2,948	700
	軽症	2,319	3		2	113	8		508	5	3	1,623	54
	その他	1										1	
	計	8,489	8		2	190	25	2	1,334	7	21	5,757	1,143

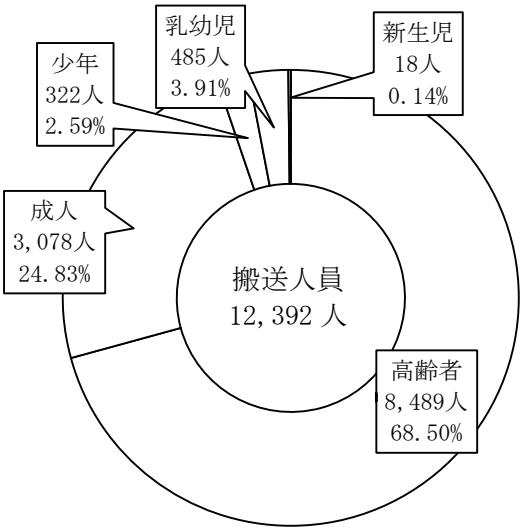
※○新生児・・・・・・・生後 28 日未満
○乳幼児・・・・・・・生後 28 日以上満 7 歳未満
○少　年・・・・・・・満 7 歳以上満 18 未満
○成　人・・・・・・・満 18 歳以上満 65 歳未満
○高齢者・・・・・・・満 65 歳以上

※○死　亡・・・・・・・初診時において死亡が確認されたもの
○重　症・・・・・・・３週間以上の入院加療を必要とするもの
○中等症・・・・・・・入院を要するもので重症に至らないもの
○軽　症・・・・・・・入院加療を必要としないもの
○その他・・・・・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
（傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく）

傷病程度別搬送人員



年齢区分別搬送人員



発生場所別搬送人員

発生場所 / 事故種別	合　計	住　宅	公衆出入場所	仕事場	道　路	その他
合　計	12,392	6,941	4,184	255	805	207
急　病	8,148	5,734	2,010	151	172	81
交　通	497	6	16	2	467	6
一般負傷	1,809	1,099	430	17	158	105
その他	1,938	102	1,728	85	8	15

※ 住　　宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
公衆出入場所…多数の人が集まる場所
仕　事　場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所
道　　路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等
そ　の　他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

時間帯別救急出動件数

	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時
件数	436	372	519	931	1,774	1,721	1,440	1,306	1,322	1,194	825	552

応急手当の普及啓発活動の状況

令和５年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は 194 回で、受講人員は、4,153 名となっている。

また、昭和５７年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年９月９日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅲ	救命入門コース	その他の講習
実施回数	11 回	147 回	36 回	52 回	6 回
受講人数	118 名	3,747 名	288 名	298 名	915 名

津軽圏域救急告示医療機関一覧表

（令和６年４月１日現在）

医療機関名	所　在　地	電　話
●弘前大学医学部附属病院	弘前市大字 本町５３番地	0172-33-5111
●独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター	弘前市大字 富野町１番地	0172-32-4311
●津軽保健生活協同組合　健生病院	弘前市大字 扇町二丁目２番地２	0172-55-7717
医療法人元秀会　弘前小野病院	弘前市大字 和泉二丁目１９番地１	0172-27-1431
財団法人　黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字 扇町一丁目２番地１	0172-28-8220
医療法人弘愛会　弘愛会病院	弘前市大字 宮川三丁目１番地４	0172-33-2871
医療法人北桜会　弘前メディカルセンター	弘前市大字 大町二丁目２番地９	0172-35-1511
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会　鳴海病院	弘前市大字 品川町１９番地	0172-32-5211
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会　弘前中央病院	弘前市大字 吉野町３番地１	0172-36-7111
国民健康保険　黒石病院	黒石市北美町一丁目 70 番地	0172-52-2121
国民健康保険　板柳中央病院	北津軽郡板柳町 大字灰沼字岩井 74 番地 2	0172-73-3231
医療法人ときわ会　ときわ会病院	南津軽郡藤崎町 大字榊字亀田２番地１	0172-65-3771

※　●は、第二次輪番制参加病院等協議会参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急、二次救急、三次救急で構築されています。

初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅医が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記●印第二次輪番制参加病院等協議会参加病院である３病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする患者の内科・外科診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を弘前大学医学部附属病院高度救命救急センターが担っております。

※　体制時間について

○初期救急医療

・弘前市急患診療所：内科、小児科（平日・土曜日 19 時～22 時 30 分）（日曜・祝日 10 時～16 時 19 時～22 時 30 分）
外科（日曜・祝日 10 時～16 時）

・休日在宅：内科（日曜・祝日 9 時～12 時）耳鼻科・眼科・歯科（日曜・祝日 10 時～16 時）

○入院救急医療：第二次輪番制参加病院等協議会参加病院

○三次救急医療：弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター

津軽地域小児救急病院等一覧表

（令和６年４月１日現在）

医療機関名	所　在　地	電　話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目７番地１	0172-34-1131
●独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター	弘前市大字富野町１番地	0172-32-4311
●津軽保健生活協同組合　健生病院	弘前市大字扇町二丁目２番地２	0172-55-7717
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町５３番地	0172-33-5111

※　●印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域８の市町村で、15 歳未満あるいは中学三年生までの患者（交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く）を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制が平成 18 年１月 10 日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある２病院（小児救急二次輪番病院）が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※　体制時間について

○初期救急（外来）：弘前市急患診療所
- 平日、土曜日（19 時～22 時 30 分）
- 休日（10 時～16 時・19 時～22 時 30 分）

○二次救急（入院）：小児救急二次輪番病院
- 平日（毎日 17 時～翌朝８時 30 分）
- 土曜日、休日（8 時 30 分～翌朝８時 30 分）

○三次救急（高度医療）：弘前大学医学部附属病院（小児科）
- 毎日 24 時間（二次病院では対応できない重症の患者）

医療機関別救急搬送状況

三次医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター	705	466	1,171	448	1,619
弘前市 二次輪番制参加医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター	2,327	1,229	3,556	399	3,955
健生病院	1,733	1,112	2,845	284	3,129
管内 救急告示医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院	23	58	81	73	154
弘前脳卒中センター	253	229	482	103	585
弘愛会病院	49	168	217	12	229
弘前メディカルセンター	1		1	2	3
鳴海病院	28	46	74	11	85
弘前中央病院	77	46	123	44	167
黒石病院	726	478	1,204	48	1,252
ときわ会病院	121	121	242	13	255
板柳中央病院	123	86	209	8	217
弘前小野病院	1	15	16	28	44
管外 救急告示医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
青森県立中央病院	1	14	15	31	46
八戸市立市民病院				4	4
その他医療機関 (診療所)	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
管内	137	315	452	94	546
管外	23	18	41	61	102
その他場所					
合計	6,328	4,401	10,729	1,663	12,392

救　　助

事故種別救助業務実施状況（対前年比）

種別＼年別			令和５年	令和４年	増　減
合計		出動件数	150	151	△1
		活動件数	118	118	0
		救助人員	118	129	△11
火災	建物	出動件数	9	6	3
		活動件数	9	6	3
		救助人員	6		6
	建物以外	出動件数		1	△1
		活動件数		1	△1
		救助人員		1	△1
交通事故		出動件数	46	53	△7
		活動件数	31	36	△5
		救助人員	38	40	△2
水難事故		出動件数	5	4	1
		活動件数	4	4	0
		救助人員	3	4	△1
風水害等自然災害		出動件数		10	△10
		活動件数		10	△10
		救助人員		29	△29
機械による事故		出動件数	10	6	4
		活動件数	5	4	1
		救助人員	6	4	2
建物等による事故		出動件数	37	46	△9
		活動件数	35	39	△4
		救助人員	32	32	0
ガス及び酸欠事故		出動件数	6	2	4
		活動件数	3	2	1
		救助人員	3	1	2
破裂事故		出動件数			
		活動件数			
		救助人員			
その他の事故		出動件数	37	23	14
		活動件数	31	16	15
		救助人員	30	18	12

※　出動件数とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいい、活動件数とは出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

消　防　団

管内市町村の消防団長

（令和６年４月１日現在）

市　町　村　名	団　長　名	就任年月日
弘　　前　　市	久　保　順　一	令和　４年　８月２１日
黒　　石　　市	佐　藤　松　男	令和　５年１１月　１日
平　　川　　市	今　井　紀　夫	令和　２年　８月　１日
藤　　崎　　町	福　田　隆　寿	令和　６年　２月１６日
板　　柳　　町	北　畠　憲　一	令和　３年　３月２３日
大　　鰐　　町	山　崎　高　男	令和　２年　６月　１日
田　舎　館　村	山　本　正　志	平成２９年　４月　１日
西　目　屋　村	山　下　幸　弘	令和　５年１０月　１日

管内市町村の消防副団長

（令和６年４月１日現在）

市町村名	副団長名	就任年月日
弘前市	仲野浩二	令和　２年　３月　１日
	舘田行雅	令和　２年１２月　１日
	佐藤哲之	令和　４年　７月　１日
	田澤順造	令和　４年　８月　７日
	田中誠一	令和　４年　８月２１日
黒石市	村上禎亮	平成２９年１１月　１日
	工藤昭則	令和　２年１１月　１日
	宇野秀行	令和　２年１１月　１日
	今大介	令和　４年　５月　１日
	髙橋晃司	令和　５年１１月　１日
	鈴木美香	令和　５年１１月　１日
平川市	古川恭司	令和　５年１２月　１日
	齋藤渉	令和　３年　４月　１日
	白川秋徳	平成３０年　５月　１日
藤崎町	平田浩昭	令和　５年　９月　１日
	鈴木祐輔	令和　５年１１月　１日
	三上道人	令和　６年　２月１６日
	佐々木栄人	令和　６年　２月１６日
板柳町	三上義勝	平成２８年　８月　１日
	三戸康正	平成２９年　２月　１日
	會津丞	平成２９年　４月　１日
	村上一貴	令和　３年　３月２３日
大鰐町	山内髙信	平成３０年　４月　１日
	小野光一	平成３０年　５月　１日
	齋藤孝幸	令和　２年　６月　１日
	外崎登	令和　２年　７月　１日
田舎館村	工藤鋳逸	平成２８年　４月　１日
	田澤隆	平成２８年　４月　１日
	八木橋宣之	平成３０年１０月１６日
	鈴木哲也	令和　３年　４月　１日
西目屋村	坂田知巳	令和　５年１０月　１日
	澤田尚希	令和　５年１０月　１日

管内市町村別消防団車両配備状況

（令和６年４月１日現在）

車種／市町村	合計	普通消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車	水槽付ポンプ自動車	警備車	司令車	その他	小型動力ポンプ
	台	台	台	台	台	台	台	台
合計	285	80	186	0	8	3	8	15
弘前市	114	26	77		8	1	2	4
黒石市	50	15	33				2	
平川市	38	17	21					2
藤崎町	23		22			1		2
板柳町	18	12	5			1		4
大鰐町	17	7	9				1	2
田舎館村	20		19				1	
西目屋村	5	3					2	1

備考　小型動力ポンプは、合計に計上せず。

管内市町村階級別消防団員数

（令和６年４月１日現在）

階級／市町村	条例定数	現在数	分団数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
	人	人	分団	人	人	人	人	人	人	人
合　計	4,795	4,050 (104)	206 (4)	13	63 (2)	255 (3)	217 (3)	281 (6)	654 (14)	2,567 (75)
弘前市	2,080	1,703 (27)	112 (1)	6	30 (1)	132 (1)	112 (1)	112 (1)	224 (2)	1,087 (21)
黒石市	740	697 (22)	9	1	6 (1)	14	11	50 (1)	122 (2)	493 (18)
平川市	680	583 (35)	20 (1)	1	9	20 (1)	20 (1)	41 (3)	82 (6)	410 (24)
藤崎町	411	339 (0)	22 (1)	1	4	32 (0)	21 (0)	21 (0)	63 (0)	197 (0)
板柳町	270	216 (4)	18	1	4	24	18	18	55 (1)	96 (3)
大鰐町	300	267 (14)	17 (1)	1	4	22 (1)	17 (1)	17 (1)	39 (3)	167 (8)
田舎館村	234	191 (1)	5	1	4	5	14	19	57	91 (1)
西目屋村	80	54	3	1	2	6	4	3	12	26

備考　（　）については、女性団員で内書き。

管内市町村在職年数別消防団員数

（令和６年４月１日現在）

年数／市町村	人員合計	平均在職年数	５年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上～30年未満	30年以上
	人	年	人	人	人	人	人	人	人
合　計	4,050	12.6	720	841	815	710	548	252	164
弘前市	1,703	12.6	337	375	331	280	229	98	53
黒石市	697	13.0	95	154	149	149	95	34	21
平川市	583	14.1	102	109	104	98	93	41	36
藤崎町	339	13.7	38	59	65	79	47	31	20
板柳町	216	14.6	33	35	50	40	34	14	10
大鰐町	267	13.9	60	43	50	40	29	24	21
田舎館村	191	10.2	39	49	57	20	14	9	3
西目屋村	54	9.0	16	17	9	4	7	1	0

管内市町村年齢別消防団員数

（令和６年４月１日現在）

年数／市町村	人員合計	平均年齢	18歳以上～25歳	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61歳以上
	人	歳	人	人	人	人	人	人	人	人	人
合　計	4,050	44.2	125	253	444	690	780	716	473	347	222
弘前市	1,703	43.4	66	112	165	308	347	300	199	148	58
黒石市	697	42.2	25	45	95	138	151	110	63	52	18
平川市	583	47.3	10	25	45	86	86	111	83	63	74
藤崎町	339	44.4	13	19	36	50	58	66	44	31	22
板柳町	216	43.5	2	12	29	39	45	42	30	10	7
大鰐町	267	46.9	4	18	31	27	40	43	35	35	34
田舎館村	191	40.4	4	19	37	33	48	31	13	4	2
西目屋村	54	45.1	1	3	6	9	5	13	6	4	7

管内市町村階級別消防団員年報酬

（令和６年４月１日現在　単位：円）

階級 / 市町村	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
弘　前　市	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
黒　石　市	82,500	69,000	50,500	45,500	36,500	36,500	36,500 15,000
平　川　市	82,500	69,000	50,500	45,500	42,000	38,400	36,600 15,000
藤　崎　町	77,500	66,500	57,500 53,500	42,500	40,500	38,500	36,500
板　柳　町	83,000	67,000	52,000 50,000	43,000	39,000	38,000	36,500
大　鰐　町	82,500	69,000	50,700	45,600	41,100	37,200	36,600 15,000
田舎館村	74,400	62,400	50,400	42,000	38,400	37,200	36,600 10,000
西目屋村	76,500	66,500	52,500	42,500	40,500	38,500	36,500 20,000

備考　黒石市の団員下段は、機能別団員
平川市の団員下段は、機能別団員
藤崎町の分団長上段は、団付分団長
板柳町の分団長上段は、団付分団長
大鰐町の団員下段は、機能別分団員
田舎館村の団員下段は、機能別団員
西目屋村の団員下段は、支援団員

管内市町村消防団員出動手当

（令和６年４月１日現在　単位：円）

区分 / 市町村	１回あたりの出動手当額			
	水・火災等	警戒	訓練	その他
弘前市	3,000	3,000	2,000	2,000
黒石市	4時間以上 8,000 4時間未満 4,000			儀式等(観閲式) 2,000
平川市	8,000 4時間未満 4,000 誤報 2,000	8,000 4時間未満 4,000	2,000	儀式等(観閲式) 2,000
藤崎町	4時間以上 8,000 4時間未満 4,000 誤報 2,000	2,000	2,000	2,000
板柳町	4時間以上 8,000 4時間未満 4,000 誤報 2,000	2,000	2,000	捜索 4時間以上 8,000 4時間未満 4,000 その他　．2,000
大鰐町	1日(2時間以内) 2,000 1日(2時間以上4時間以内) 4,000 1日(4時間以上) 8,000			捜索による出動 8,000/日 式典等による出動 4,000/日
田舎館村	4時間超 8,000 4時間以内 4,000 2時間以内 2,000		2,000	捜索による出動 4時間超 8,000 4時間以内 4,000 式典等による出動 2,000
西目屋村	1日 8,000 半日 4,000	2,000	2,000	2,000

※　その他は除雪作業等必要により特に招集した時の手当額

地域防災組織

幼・少年消防クラブと婦人(女性)防火クラブ

○　幼年消防クラブは、幼年期に正しい火の取扱いを教え、防災教育を通して家庭や周囲の人々の意識を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみの防火の輪を広げることを目的としている。

○　少年消防クラブは、少年少女たちが火災を予防する方法や、火についての問題を身近な生活の中に見出し、それをお互いに研究実行し、少年少女たちの学習を基調とした社会、理科等の勉学の向上を図ることを目的とし、地域または学校単位で小学校１年生から中学校３年生の少年、少女の有志によって結成されており、Boys&Girls Fire Club の頭文字をとってＢＦＣともいう。

○　婦人（女性）防火クラブは、「火災の大半は住宅火災」であることから、常日頃の家庭の火気を取扱う機会をふまえて、火災予防の知識の習得と消火、避難等の行動知識の習熟を図り、家庭からの火災防止と地域の連帯感を高めるものである。

　このように各クラブを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域に根ざした自主防災をめざし、恒久的で明るく安全な家庭づくり、地域づくりのため、今後も大いなる活躍が期待されます。

令和５年度の活動状況

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

幼年消防クラブの活動状況

活　動　内　容	実　施　回　数	参　加　人　員
防火映画・防火教室・消防訓練	44	3,377
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	74
巡回広報・街頭広報・防火パレード	35	887
視察研修・野外研修・指導者研修	25	985
合　　計　（Ａ）	105　回	5,323　人

少年消防クラブの活動状況

活　動　内　容	実　施　回　数	参　加　人　員
防火映画・防火教室・消防訓練	5	705
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	22
巡回広報・街頭広報・防火パレード	19	39
視察研修・野外研修・指導者研修	4	198
合　　計　（Ｂ）	29　回	964　人

婦人(女性)防火クラブの活動状況

活　動　内　容	実　施　回　数	参　加　人　員
防火映画・防火教室・消防訓練	0	0
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	38
青森県南黒地区消防協会観閲式	1	38
巡回広報・街頭広報・防火パレード	34	105
視察研修・野外研修・指導者研修	23	81
合　　計　（Ｃ）	59　回	262　人

総　合　計　（Ａ）＋（Ｂ）＋（Ｃ）	193　回	6,549　人

幼年消防クラブの状況

（令和６年４月１７日現在）

市町村別	クラブ名	クラブ員数	結成年月日	代表者
弘前市	大沢保育園幼年消防クラブ	14名	H 4. 5.11	成田　真弓
〃	大開保育園幼年消防クラブ	16名	H 4. 7. 1	成田　宣子
〃	サムエル保育園幼年消防クラブ	24名	H 3. 7.25	○　山鹿　紀夫
〃	城東保育園幼年消防クラブ	22名	H13. 9. 1	三浦　テツ
〃	すみれ保育園幼年消防クラブ	33名	H 3. 7.25	齋藤　霊一
〃	高杉保育園幼年消防クラブ	46名	H 4. 7. 1	下山　京子
〃	ダビデ保育園幼年消防クラブ	37名	H 3. 7.25	山鹿　智子
〃	致遠保育園幼年消防クラブ	38名	H 4. 7. 1	長内　昭子
〃	とよだ幼年消防クラブ	32名	H11. 4. 1	一町田　英子
〃	めぐみ保育園幼年消防クラブ	24名	H 3. 7.25	黒沼　忠由樹
〃	ようせい保育園幼年消防クラブ	74名	H 4. 7. 1	△　武田　芳子
黒石市	あけぼのこども園幼年消防クラブ	13名	H 5. 2. 1	谷　君雄
〃	アリス保育園幼年消防クラブ	43名	H 1.12. 1	○　木立　睦子
〃	黒石若葉保育園幼年消防クラブ	42名	H 3. 7. 1	明本　謙治
〃	幸成保育園幼年消防クラブ	49名	H10.12. 5	福士　富美子
〃	東雲幼稚園幼年消防クラブ	30名	R 6. 4. 1	佐藤　俊裕
〃	千徳保育園幼年消防クラブ	37名	H 1.12. 1	村上　隆昭
〃	つくし第一こども園幼年消防クラブ	24名	H 2.12. 1	工藤　哲悟郎
〃	つくし第二こども園幼年消防クラブ	15名	H 2.12. 1	工藤　悟
〃	中郷こども園幼年消防クラブ	26名	H 1.12. 1	山口　優美
〃	美郷こども園幼年消防クラブ	51名	H13. 4. 1	湯瀬　久美
平川市	あすなろこども園幼年消防クラブ	57名	S62. 7. 1	◎　小笠原　勝則
〃	尾上保育園幼年消防クラブ	27名	H2. 10. 1	藤山　祐一

市町村別	クラブ名	クラブ数	結成年月日	代表者
平川市	大坊こども園幼年消防クラブ	23名	H15. 4. 1	古川　香
〃	はすね保育園幼年消防クラブ	46名	H15. 2. 1	小田桐　輝雄
〃	日の出こども園幼年消防クラブ	32名	H 6. 4. 5	小野　一治
藤崎町	小畑保育所幼年消防クラブ	20名	H24. 4. 1	△　阿保真紀子
〃	西中野目保育所幼年消防クラブ	25名	H24. 4. 1	太田　亜矢子
〃	藤崎保育所幼年消防クラブ	23名	H24. 4. 1	三浦　真紀子
板柳町	板柳第一保育所鶴住幼年消防クラブ	61名	H21. 4. 1	阿部　真由美
〃	板柳第二保育所鶴住幼年消防クラブ	25名	H17. 4. 1	髙橋　真由美
〃	板柳第三保育所鶴住幼年消防クラブ	64名	H17. 4. 1	盛　由香
〃	小阿弥保育所鶴住幼年消防クラブ	43名	H17. 4. 1	今　しのぶ
大鰐町	大鰐保育園幼年消防クラブ	34名	H16.12.14	村上　睦子
田舎館村	田舎館こども園幼年消防クラブ	34名	H18. 5. 1	小野　やす子
〃	光田寺保育園幼年消防クラブ	38名	H18. 5. 9	福士　敬博
計	３６　クラブ	1,242名		

◎印　連絡協議会会長、　○印　連絡協議会副会長、　△印　連絡協議会監事を示す。

※　役員職は、令和６年４月１７日改選により就任。

※　よつば保育園幼年消防クラブは令和６年３月３１日で解散。

少年消防クラブの状況

（令和６年４月１６日現在）

市町村別	クラブ名	クラブ員数	結成年月日	幹事長
弘前市	大沢地区少年消防クラブ	50名	S52. 7. 5	小田桐 誠一郎
〃	藤代地区少年消防クラブ	40名	S55. 3.30	◎ 齊藤 博
〃	千年地区少年消防クラブ	13名	S55. 3.30	△ 吉川 城人
〃	東目屋地区少年消防クラブ	82名	H 3. 7.14	佐々木 潤
黒石市	黒石小学校少年消防クラブ	104名	S52. 4.11	○ 武田 勇人
弘前市	清水地区少年消防クラブ	活動休止中	S55.12.27	
計	６クラブ	289名		

◎印　連絡協議会会長、　○印　連絡協議会副会長、　△印　連絡協議会監事を示す。

※　役員職は、令和６年４月１６日改選により就任

婦人(女性)防火クラブの状況

（令和６年４月１５日現在）

市町村別	クラブ名	クラブ員数	結成年月日	委員長
弘前市	藤代地区婦人防火クラブ	13名	S55. 2. 3	△ 浅原 雅子
〃	和徳地区婦人防火クラブ	21名	S55. 3.30	舘田 妙子
黒石市	黒石市女性防火クラブ	21名	H 3. 4.12	◎ 鈴木 美香
平川市	平賀地区婦人防火クラブ	31名	S53. 4. 1	成田 由美子
田舎館村	田舎館村女性防火クラブ	25名	S58. 3.13	田澤 明美
西目屋村	西目屋村婦人防火クラブ	20名	S55. 8.27	○ 檜山 玲子
計	６クラブ	131名		

◎印　連絡協議会会長、　○印　連絡協議会副会長、　△印　連絡協議会監事を示す。

※　役員職は、令和６年４月１５日改選により就任

※　清水地区婦人防火クラブは令和６年３月３１日で解散。

※　平川市碇ヶ関地区婦人防火クラブは令和６年３月３１日で解散。

弘前地区消防防災協会

当協会は、昭和４３年７月１０日に弘前市消防防災協会として設立され、昭和４６年４月１日弘前地区消防事務組合発足に伴い協会も広域化し、昭和４６年７月１５日に名称を弘前地区消防防災協会と改められた。現在は３市３町２村、１６部会で構成されている。

名　　称	弘前地区消防防災協会
事　務　局	弘前地区消防事務組合消防本部内
目　　的	本会は、消防防災に関する知識の向上と、各事業所の健全な発展を目指して、災害予防に努めるとともに会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
事　　業	１　防火管理の研究 ２　消防関係法令の普及 ３　災害予防に関する知識の普及と広報 ４　災害発生時の相互協力 ５　会員の教養、研修 ６　災害予防及び自主防災技術の改善並びに本会の発展に特に功労のあった者に対する表彰 ７　災害発生時の会員死傷者に対する弔慰 ８　その他、本会の目的達成のため必要と認める事項
会　　員	１　消防法に定める防火対象物の関係者 ２　消防法に定める危険物を製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 ３　液化石油ガス又は圧縮アセチレンガス等の製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 ４　その他、本会の目的に賛同する者
役　　員	会長１名　　副会長３名　　理事３８名以内 監事３名　　参与　若干名
会　　費	１　会費　年額３，０００円 ２　賛助費　１口以上（１口５，０００円）
令和６年度予算額	４，７８９，２００円

弘前地区消防防災協会役員事業所名簿

（令和６年４月１日現在）

役職名	事　業　所　名			
会長	特別養護老人ホーム　大鰐ホーム			
副会長	㈲小野印刷所 長勝寺 ㈱アップルランド南田温泉			
監事	㈱青森銀行親方町支店 東北電力ネットワーク㈱弘前電力センター 弘南バス㈱			
第１部会長	平山萬年堂	理事	㈱朝日会館	㈲すとう
第２部会長	㈱菊富士	理事	㈱角長	めん房たけや
第３部会長	ブロッサムホテル弘前	理事	津軽の宿弘前屋	弘前東英ホテル
第４部会長	健生病院	理事	弘愛会病院	
第５部会長	柴田学園大学	理事	弘前東高等学校	
第６部会長	長勝寺	理事	盛雲院	
第７部会長	弘前航空電子㈱	理事	やまと印刷㈱	
第８部会長	弘前市役所	理事	つがる弘前農業協同組合本店	
第９部会長	青森県石油商業組合中弘南支部	理事	㈱弘善商会	㈱角弘弘前地区石油支店
第10部会長	北興液化ガス㈱	理事	㈱工藤熊五郎商店	
第11部会長	サムエル保育園	理事	城東保育園	
第12部会長	㈱富士商会	理事	㈱産交	
南部会長	特別養護老人ホーム　大鰐ホーム	理事	㈲ハラコ流通	碇ヶ関開発㈱
北部会長	㈱藤菱	理事	青森リンゴ加工(株)	白戸石油店
西部会長	マエダ防災	理事	柴田自動車整備工場	
東部会長	㈱アップルランド南田温泉	理事	㈱ツガルサイコー	

弘前地区消防防災協会事業

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

年　月　日	事　業　内　容
令和５年４月６日	三役会・監査会　於：消防本部
令和５年４月 10 日	春の火災予防運動　消防訓練視察研修 於：平川市役所
令和５年４月 28 日	役員会　於：ラグリー
令和５年５月 26 日	危険物取扱者試験事前講習会実施　於：平川消防署　　受講者 20 名
令和５年６月２日	令和５年度定時総会　於：フォルトーナ　出席者 89 名
令和５年６月～８月	弘前地区消防事務組合管内の幼稚園、保育園(所)の園児、小学生を対象に防火作品を募集（幼稚園、保育園(所)801 点、小学生 278 点、合計応募数 1,079 点）
令和５年９月 22 日	第 19 回自衛消防技術大会　参加 11 チーム
令和５年 10 月６日	秋の火災予防運動ポスターの送付
令和５年 10 月 16 日	防火作品最優秀賞表彰式（８名）　於：東消防署
令和５年 10 月 16 日	秋の火災予防運動　消防訓練視察研修・街頭広報 於：弘前総合医療センター、メガ富田店
令和５年 10 月 17 日 ～10 月 31 日	防火作品展開催　於：弘前市民文化交流館コミュニケーションゾーン 管内幼稚園、保育園・保育所、管内小学校（１～６年生） 応募作品数　1,079 点　入賞作品　171 点
令和５年 10 月 27 日	危険物取扱者試験事前講習会実施　於：東消防署　　受講者 21 名
令和６年２月 27 日	弘前地区消防事務組合に住宅用火災警報器 50 個寄贈
令和６年３月５日	防災ニュース第 53 号発行
令和６年３月５日	春の火災予防運動ポスターの送付
随　　時	各部会の開催
	会員の加入促進

議　　会

1 概　要

(1) 定数及び現員数

定数　１５人

現員数　１５人

(2) 選出方法

ア　弘前市の議会の議員の互選による者　６人

イ　黒石市及び平川市の議会の議員の互選による者　各２人

ウ　関係市町村のうち町村の議会の議員の互選による者　各１人

(3) 任期

組合議員の属している関係市町村の議会の議員の任期による。

(4) 議員名簿　（令和６年４月１日現在）

議席番号	氏　名	組合議員職	選出議会
1	樋　川　篤　子	議会運営委員	弘前市議会
2	竹　浪　敦		
3	畑　山　聡	議会運営委員	
4	千　葉　浩　規		
5	松　橋　武　史	議　長	
6	田　中　元	監査委員	
7	今　大　介	副 議 長	黒石市議会
8	大久保　朝　泰	議会運営委員	
9	葛　西　厚　平		平川市議会
10	原　田　淳	議会運営委員長	
11	三　上　道　人		藤崎町議会
12	工　藤　貢		板柳町議会
13	前　田　一　裕		大鰐町議会
14	平　田　隆　人		田舎館村議会
15	三　上　金　一	議会運営委員	西目屋村議会

(5) 正副議長（統合後）

就任年月日	議　長	副議長
H25.7.24	三　上　秋　雄（弘前市議会）	山　田　紘　一（黒石市議会）
H27.7.22	一　戸　兼　一（弘前市議会）	福　士　幸　雄（黒石市議会）
R 元.7.9	鶴ヶ谷　慶　市（弘前市議会）	大久保　朝　泰（黒石市議会）
R3. 7.13	工　藤　光　志（弘前市議会）	〃
R5. 7.14	松　橋　武　史（弘前市議会）	今　大　介（黒石市議会）

2　定例会

(1) 回数

毎年２回（11 月、２月）

(2) 開催状況（直近５年間）　（単位：回）

	平成 31 年 令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
定例会	2	2	2	2	2
臨時会	1	1	1	1	1
計	3	3	3	3	3

3　議会運営委員会

(1) 定数　６人

(2) 所管事項

ア　会期に関すること。

イ　議事日程に関すること。

ウ　議事の進行に関すること。

エ　議会関係例規の制定、改廃に関すること。

オ　意見書その他議員発議の取り扱いに関すること。

カ　請願及び陳情の取り扱いに関すること。

キ　その他議会運営及び議長の諮問に関する事項。

(3) 正副委員長（統合後）

就任年月日	委員長	副委員長
H25. 7.24	山　田　尚　人（平川市議会）	小　野　　稔（藤崎町議会）
H26.11.18	小　野　　稔（藤崎町議会）	今　　浩　一（板柳町議会）
H27.11.25	山　田　忠　利（平川市議会）	〃
H28.11.15	〃	内　海　繁　勝（大鰐町議会）
H31. 2.20	〃	山　﨑　　洋（田舎館村議会）
R 元.11.21	石　田　隆　芳（平川市議会）	三　浦　清　則（西目屋村議会）
R5.11.21	原　　田　　淳（平川市議会）	今　　浩　一（板柳町議会）

4　議員派遣（統合後）

平成 25 年	目　的	大規模特殊災害の対応及び消防広域化の組合運営等に関する調査
	期　間	H25.10.2 ～ 10.4
	場　所	湖北地域消防組合（滋賀県） 京都市市民防災センター（京都府）
	派遣議員数	１２人
平成 27 年	目　的	大規模特殊災害の対応及び消防広域化の組合運営等に関する調査
	期　間	H27.8.24 ～ 8.26
	場　所	埼玉東部消防組合消防局（埼玉県） 千葉市消防局消防指令センター（千葉県） 東京消防庁第三消防方面本部（東京都）
	派遣議員数	１２人
平成 29 年	目　的	大規模な自然災害に対する国及び被災地消防機関の災害対応及び防災対策等の調査
	期　間	H29.7.19 ～ 7.21
	場　所	東京臨海広域防災公園（東京都） 常総地方広域市町村圏事務組合（茨城県）
	派遣議員数	１２人
令和元年	目　的	広域化、多様化する災害への取り組み状況及び消防運営等の調査
	期　間	R 元.10.28 ～ 10.30
	場　所	入間東部地区事務組合消防本部（埼玉県） 総務省消防庁危機管理センター（東京都） 川崎市消防局消防訓練センター（神奈川県）
	派遣議員数	１４人
令和４年	目　的	高機能消防指令システム共同運用に関する調査 地震災害の教訓を踏まえた防災・減災の取組に関する調査 消防車両の製造過程及び最新装備に関する調査
	期　間	R4.10.11～10.13
	場　所	宝塚市・川西市・猪名川町消防指令センター（兵庫県） 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター（兵庫県） 株式会社モリタ三田工場（兵庫県）
	派遣議員数	１３人

付　　録

明治以降の主な火災

（表中の平成 22 年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 13 年 5 月 15 日	元寺町より出火し、本町、元大工町、元長町、親方町、元寺町、元寺町小路、上鞘師町、鉄砲町、一番町、百石町、下土手町、鍛冶町、新鍛冶町、北川端町、桶屋町にかけて、1,064 戸焼損。死者３名
明治 18 年 9 月 12 日	中郡公立中学校より出火し、同校及び東奥義塾全焼
10 月 21 日	和徳町より出火、代官町、茶畑町に延焼し、100 戸焼損
明治 22 年 10 月 25 日	東奥義塾より出火し、２棟 400 坪全焼
明治 23 年 3 月 4 日	第一大成小学校全焼
明治 25 年 6 月 20 日	市役所、警察署、県尋常中学校焼損
明治 34 年 5 月 1 日	楮町より出火、松森町に延焼し、61 戸焼損
明治 36 年 5 月 8 日	元寺町の旅館より出火し、55 戸焼損
明治 39 年 4 月 21 日	弘前城北の郭の櫓、花火により焼損
5 月 25 日	輔重隊より出火し、大隊本部、1．2 中隊舎 7 棟、332 坪焼損
8 月 23 日	弘前城西の郭の櫓(埋御門内側)焼損
9 月 28 日	土手町蓬莱橋際より出火し、38 戸焼損
明治 42 年 5 月 2 日	鞘師町より出火、百石町に延焼し、43 戸焼損、死者３名
明治 43 年 12 月 7 日	土手町の旅館より出火し、44 戸焼損、死者１名
大正 2 年 12 月 4 日	弘前裁判所全焼、４棟 113 坪焼損
大正 6 年 5 月 18 日	清水村富田より出火、土手町、品川町、新品川町、松森町、楮町、新楮町、豊田村小比内、外崎一円が焼損。全焼 533 戸、半焼８戸、死者１名、郡役所、清水村役場、第二大成小学校焼損
昭和 2 年 5 月 29 日	北横町遊郭より出火し、和徳町、南横町、萱町、植田町、代官町、茶畑町、和徳町の一部を焼損、全焼 538 戸の外、和徳小学校焼損
昭和 3 年 4 月 18 日	富田町より出火、富田大通、偕行社通、住吉町、中土手町、上土手町、松森町、品川町、新品川町、楮町、代官町、上瓦ヶ町、和徳町、停車場通、豊田村の一部に及び全焼 610 戸、半焼 19 戸、死者１名、第一大成小学校、第二大成小学校焼損
11 月 8 日	富田小学校焼損
昭和 5 年 6 月 15 日	時敏小学校焼損
昭和 9 年 5 月 18 日	市立弘前病院焼損、４棟 400 坪
昭和 22 年 2 月 5 日	紺屋町秩父宮殿下元御仮邸（菊池別邸）全焼、３棟 1,386 ㎡焼損
昭和 24 年 4 月 14 日	津軽病院全焼、８棟焼損（5,221 ㎡）、死者５名
4 月 18 日	弘前税務署(元師団経理部)全焼、３棟焼損（1,274 ㎡）
10 月 12 日	時敏小学校焼損
10 月 23 日	朝陽小学校全焼、塩分町、15 戸焼損
12 月 31 日	弘前裁判所全焼
昭和 27 年 5 月 4 日	土手町繁華街(蓬莱橋東側) 16 戸焼損
12 月 20 日	上白銀町 藤田別邸焼損(1,079 ㎡)
昭和 31 年 5 月 21 日	弘前市小比内地区、全焼(住家 10 戸、非住家 17 棟)、半焼(住家１戸、非住家１棟)
7 月 21 日	第一中学校一部焼損(832 ㎡)
昭和 35 年 5 月 13 日	柴田学園全焼、北瓦ケ町 10 戸焼損(6,280 ㎡)
昭和 37 年 1 月 27 日	下白銀町　弘前大学教育学部西校舎焼損(3,098 ㎡)

昭和 39 年 4 月 6 日	土手町 Kデパート焼損(1,377 ㎡)
昭和 42 年 4 月 17 日	富田町印刷工場全焼(1,075 ㎡)
昭和 44 年 1 月 31 日	弘前高等学校焼損(1,130 ㎡)
1 月 31 日	津軽病院全焼(4,125 ㎡)
昭和 47 年 7 月 20 日	柴田女子高校全焼(2,460 ㎡)
昭和 50 年 10 月 12 日	西目屋中学校全焼(1,497 ㎡)
昭和 54 年 8 月 21 日	一野渡鷲ノ巣国有林 1,110a 焼損
昭和 59 年 10 月 18 日	相馬村、りんごパック製造工場全焼（1,376 ㎡)、損害額１億 323 万円
昭和 60 年 6 月 29 日	一野渡鷲ノ巣国有林 620a 焼損
昭和 61 年 2 月 8 日	大森 知的障害者更生施設焼損(145 ㎡)、死者２名、負傷者６名
3 月 28 日	清水二丁目 缶詰工場焼損(1,524 ㎡)、損害額１億 9,682 万円
平成 8 年 11 月 1 日	碇ヶ関村　旅館２棟全焼(1,692 ㎡)、死者１名、負傷者２名、損害額 5,961 万円
平成 13 年 5 月 8 日	消費者金融支店（Ｎビル３階)、96.30 ㎡のうち事務室及び管理室 85.16 ㎡焼損、死者５名、負傷者４名
平成 16 年 1 月 3 日	大鰐町　住宅１棟焼損（132 ㎡)、死者５名、負傷者２名
1 月 26 日	弘前市国吉　温泉旅館１棟焼損（1,077 ㎡)、損害額１億 1,059 万円
平成 17 年 9 月 5 日	弘前市　連続８件火災(建物６、車輌１、その他１)
12 月 25 日	常盤村　住宅１棟全焼(145 ㎡)、死者３名、負傷者１名
平成 21 年 3 月 8 日	弘前市　住宅等７棟焼損(1,667 ㎡)、負傷者１名
平成 22 年 11 月 20 日	弘前市　飲食店舗兼住宅等６棟焼損(505 ㎡)、死者１名、負傷者 10 名
平成 26 年 4 月 27 日	大鰐町　住宅等 18 棟焼損(1,012 ㎡)、死者１名
6 月 5 日	大鰐町　国有林 15.64ha 焼損
平成 27 年 8 月 4 日	大鰐町　作業所兼住宅等 14 棟焼損（1,848 ㎡)、負傷者４名
9 月 18 日	黒石市　小学校１棟焼損（48 ㎡)、死者１名、負傷者７名
平成 30 年 1 月 18 日	弘前市　写真館併用住宅２棟焼損（287 ㎡)、損害額 5,953 万円)
平成 31 年 3 月 10 日	弘前市　住宅１棟全焼（243 ㎡)、死者４名、負傷者１名

明治以降の主な災害（火災を除く）

（表中の平成９年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 29 年 7 月 21 日	県下に大雨あり、土渕川氾濫、徒町川端一帯床上浸水
昭和 7 年 8 月 3 日 ～ 5 日	津軽地方 30 年来の洪水、岩木川、土測川氾濫、駒越町、新町、徒町川端町、北横町、品川町被害甚大、床上浸水 41 棟、床下 90 棟、南塘は鏡ヶ池再現
昭和 10 年 8 月 21 日 ～ 24 日	豪雨により土渕川氾濫、床上浸水 73 棟、床下浸水 369 棟 平川の氾濫により大鰐町全町浸水、平川鉄橋流失、死者行方不明 25 名、負傷者 181 名
昭和 30 年 7 月 3 日 ～ 4 日	津軽地方一帯豪雨となり、各河川が急激に増水し、岩木川氾濫 3 橋梁流失
8 月 20 日	中弘地方を襲った豪雨で、岩木川氾濫、目屋の４橋梁流失
昭和 33 年 8 月 11 日 ～ 12 日	豪雨により岩木川氾濫、下町を中心に 51 町会 3,037 世帯被害、家屋全壊流失 45 棟、半壊 90 棟､床上浸水 1,435 棟、床下浸水 1,467 棟､死者３名、11 橋梁流出、損害合計 13 億 5 千万円
9 月 17 日 ～ 18 日	台風 21 号の影響により、土渕川氾濫、唐金橋外４橋梁流出、家屋全壊流失 37 棟、半壊７棟、床上浸水 570 棟、床下浸水 988 棟
昭和 35 年 8 月 2 日 ～ 3 日	津軽地方の豪雨により、平川氾濫、田町、三八町の外、和徳、千年、新和、石川地区被害、全壊流失３棟、半壊６棟、床上浸水 340 棟、床下浸水 600 棟、死者３名、損害合計３億 8,222 万円
昭和 50 年 8 月 5 日 ～ 6 日	津軽地方を襲った豪雨は、弘前市をはじめ各地で大きな被害、なかでも岩木町百沢で蔵助沢の鉄砲水により死者 22 名、負傷者 45 名と局地災害では、県水害史上最大の被害となった。
8 月 20 日	津軽地方の大雨により、土渕川氾濫、小沢地区から平川合流点に至る 14.8 ㎞の沿岸一帯被害､全壊流失 33 棟､半壊 29 棟､床上浸水 1,403 棟、床下浸水 2,072 棟、損害合計 46 億 6,459 万円
昭和 52 年 8 月 5 日	集中豪雨により土渕川、寺沢川氾濫、特に寺沢川上流の溜池決壊により急激な増水、死者９名、負傷者 20 名、人命救助 344 名、全壊流失 12 棟、半壊 76 棟、床上浸水 1,943 棟、床下浸水 2,972 棟、損害合計 71 億 1,234 万円
平成 3 年 9 月 28 日	台風 19 号の暴風により、組合管内で大きな被害を受けた。

		弘前市	大鰐町	藤崎町	岩木町	常盤村	碇ヶ関村	相馬村	西目屋村
人的被害(名)	死者	3			1				
	負傷者 重傷	2	5				1	1	
	負傷者 軽傷	9	25	3	2	6	1	2	1
	合計	14	30	3	3	6	2	3	1
家屋	全壊	26	18		3	3		1	

	半 壊	270	169	71	48	49	17	13	1
	一部損壊	4,948	668	402	351	210	152	60	44
	合 計	5,244	855	473	402	262	169	74	45
損害額（万円）	建物関係	377,380	91,330	41.870	34,560	32,760	13.670	7,350	2,890
	農林関係	2,415,705	609,866	265.371	572.995	47,362	157,030	335.423	71,666
	合 計	2,793,085	701.196	307,241	607,555	80.122	170,700	342.773	74.556

平成９年５月７日～９日

発達した低気圧による風雨と目屋ダムの放水(最大放水量 792 ㎥／秒)により組合管内に大きな風雨被害を受けた。被害総額 3,237,640 千円

弘 前 市	住家－半壊１棟、１部損壊１棟、床上浸水１棟、床下浸水３棟　浸水被害－水田 0.8a，りんご園 173ha、畑 2.5ａ
岩 木 町	住家－床下浸水１棟、浸水被害－水田 32ａ 岩木川沿地区 256 戸に避難勧告
相 馬 村	住家－床上浸水５棟、床下浸水７棟、浸水被害－水田 20ａ 紙漉沢、五所地区 39 戸に避難指示
大 鰐 町	宿川原橋損壊、虹貝地区道路陥没
藤 崎 町	浸水被害－りんご園 67ha
碇ヶ関村	土砂崩壊、林道決壊
西目屋村	村内電話不通 435 回線

平成 25 年９月 16 日

台風 18 号の影響により、県内は猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの総雨量（気象庁の観測データ）は、大鰐町で 214 ミリ、弘前市で 202 ミリ、平川市で 201 ミリ、黒石市で 188 ミリを記録し、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水、りんご園地等の浸水など津軽地方に甚大な被害をもたらした。

平成 28 年４月 17 日

発達した低気圧による暴風により組合管内に大きな被害を受けた。

			弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	大鰐町	板柳町	田舎館村	西目屋村
人的被害（名）	負傷者	重傷	1			1		1		
		軽傷								
	合 計		1			1		1		
家屋・農業施設被害（棟）	全 壊		42	14	14	22	14	2	7	
	半 壊		22	18		16	18	3	9	
	一部損壊		166	7	79	99	7	31	54	
	合 計		230	39	93	137	39	36	70	
損害額（万円）			5,098	118	1,756	2,133	1,069	354	1,576	0

令和２年９月２日

発達した積乱雲により弘前市観測史上最大となる、1 時間当たり 88 ミリの降水量を記録し、床上浸水 12 件、床下浸水 21 件、建物被害 1 件の被害をもたらした。

令和４年８月９日

前線の影響で津軽地方を中心に朝から激しい雨が断続的に降り、弘前市岳地方などで午後８時までの日降水量が 252.5 ミリの観測史上最大を記録した。岩木川と西目屋村の大秋川が氾濫危険水位を超え、管内で床上浸水２棟、床下浸水７棟の被害をもたらした。

歴　代　消　防　長　等

（令和６年４月１日現在）
※各表の階級欄は就任時の階級

弘前地区消防事務組合消防長

旧弘前市消防本部　S24.4.1～S46.3.31
旧弘前地区消防事務組合　S46.4.1～H25.6.30
新弘前地区消防事務組合　H25.7.1～

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防長	岩淵　勉	S24. 4.27		弘前市長兼任
２代	消防司令長	石川源太	S24. 5.31	S29.2.19	
３代	消防監補	桑田善太郎	S29. 4. 1	S32.10.31	
４代	消防監	上田勝夫	S32.11. 1	S37.7.8	
５代	〃	伴　一衛	S37. 7. 9	S39.8.17	
６代	〃	桑田貞一	S39. 8.18	S50.9.30	
７代	〃	福井正男	S50.10. 1	S55.9.30	(S55.4.1 消防正監)
８代	消防正監	工藤富蔵	S55.10. 1	S56.9.30	
９代	〃	長津　仗	S56.10. 1	S60.3.31	
10代	〃	猪股清市郎	S60. 4. 1	H元.3.31	
11代	〃	中村昭雄	H元. 4. 1	H 4.3.31	
12代	〃	石戸谷一弘	H 4. 4. 1	H 7.3.31	
13代	〃	相馬達三	H 7. 4. 1	H12.3.31	
14代	〃	小山内　司	H12. 4. 1	H14.3.31	
15代	〃	成田文英	H14. 4. 1	H19.3.31	
16代	〃	尾崎善造	H19. 4. 1	H20.3.31	
17代	〃	齋藤則明	H20. 4. 1	H21.3.31	
18代	〃	小田桐伸一	H21. 4. 1	H23.3.31	
19代	〃	木村誠二	H23. 4. 1	H26.3.31	
20代	〃	福士文敏	H26. 4. 1	H30.3.31	
21代	〃	三浦良樹	H30. 4. 1	H31.3.31	
22代	〃	長尾幸喜	H31. 4. 1	R4.3.31	
23代	〃	中村康司	R 4. 4. 1	在職中	

旧黒石地区消防事務組合消防長

旧黒石町消防本部　S27. 4. 1～S29. 6.30
旧黒石市消防本部　S29. 7. 1～S46. 3.31
旧黒石地区消防事務組合　S46. 4. 1～H25. 6.30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3.31	
2代		鳴海清四郎	S33. 4. 1	S33. 8. 9	黒石市助役兼任
3代		高樋竹次郎	S33. 8.10	S47. 3. 9	黒石市長、管理者兼任
4代	消防監	角田壮一	S47. 3.10	S54. 7.31	
5代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S56. 3.31	
6代	〃	田中寿	S56. 4. 1	S60. 3.31	
7代	〃	岡崎俊司	S60. 4. 1	H 2. 3.31	
8代	〃	中村民蔵	H 2. 4. 1	H 4. 3.31	
9代	〃	工藤龍明	H 4. 4. 1	H 5. 3.31	
10代	〃	高樋浅光	H 5. 4. 1	H 7. 3.31	
11代	〃	工藤茂春	H 7. 4. 1	H 8. 3.31	
12代	〃	佐藤信男	H 8. 4. 1	H13. 3.31	
13代	〃	盛鐘治	H13. 4. 1	H16. 3.31	
14代	〃	中村寿	H16. 4. 1	H21. 3.31	
15代	〃	森勇一	H21. 4. 1	H22. 3.31	
16代	〃	丹羽仁吉	H22. 4. 1	H23. 3.31	
17代	〃	佐藤友昭	H23. 4. 1	H24. 3.31	
18代	〃	種市達男	H24. 4. 1	H25. 6.30	

旧平川市消防本部消防長

旧平賀・尾上地区消防事務組合　S44. 4. 1～H10. 7. 2
旧平賀・尾上地区消防等事務組合　H10. 7. 3～H17.12.31
旧平川市消防本部　H18. 1. 1～H25. 6.30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	水木強二	S44. 4. 1	S53.12. 6	平賀町長
2代	〃	原田忠太郎	S53.12. 7	S61.12. 6	〃
3代	〃	奈良蓮雄	S61.12. 8	H 2. 2.21	〃
4代	〃	長内精四郎	H 2. 2.22	H 3. 3.31	
5代	〃	菊池今朝男	H 3. 4. 1	H 3. 8.15	
6代	〃	木村丞	H 3. 8.16	H 5. 3.31	
7代	〃	船越暁穂	H 5. 4. 1	H 8. 3.31	
8代	〃	富谷正男	H 8. 4. 1	H10. 3.31	
9代	〃	成田忠則	H10. 4. 1	H16. 3.31	
10代	〃	三浦久	H16. 4. 1	H17.12.31	
	消防司令長	稲葉良三	H18. 1. 1	H18. 3.31	職務代理者（次長）
11代	消防監	菊池吉郎	H18. 4. 1	H22. 3.31	
12代	消防司令長	駒井祐正	H22. 4. 1	H25. 6.30	

旧板柳町消防本部消防長

旧板柳町消防本部　S42. 4. 1～H25. 6.30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		木村定吉	S42. 4. 1	S42. 4.29	板柳町長
2代		竹浪春夫	S42. 4.30	S62. 4.29	〃
3代		木村章一	S62. 4.30	H元.	〃
4代	消防監	阿保小東	H元. 9. 1	H 2. 3.31	署長兼任
5代	〃	三浦得三郎	H 5. 4. 1	H11. 3.31	
6代	〃	竹内秀次	H11. 4. 1	H15. 3.31	
7代	〃	三上壽満	H15. 4. 1	H17. 3.31	
8代	〃	三上秀治	H17. 4. 1	H21. 3.31	
9代	消防司令長	中村徹	H21. 4. 1	H24. 3.31	
10代	〃	阿保久	H24. 4. 1	H25. 6.30	

弘前地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	佐井　留太郎	S24. 5.31	S27.3.2	
2代	消防司令長	小向　清之助	S27. 3. 3	S32.10.31	
3代	〃	対馬庄一	S32.11.11	S37. 4.8	
4代	〃	中村忠治	S37. 4. 9	S42.9.30	
5代	消防司令	工藤富蔵	S42.10. 1	S43.9.30	
6代	〃	奈良正美	S43.10. 1	S44.9.27	
7代	〃	工藤富蔵	S44.10. 1	S44.11.30	
8代	消防司令長	福井正男	S44.12. 1	S50.9.30	
9代	〃	工藤富蔵	S50.10. 1	S52.3.31	
10代	〃	桜庭達三	S52. 4. 1	S54.3.31	
11代	〃	工藤富蔵	S54. 4. 1	S55.9.30	
12代	〃	宮崎孝司	S55.10. 1	S59.3.31	
13代	〃	竹内　實	S59. 4. 1	S63.3.31	
14代	〃	西沢勝三	S63. 4. 1	H 2.3.31	
15代	〃	木村　悟	H 2. 4. 1	H 5.3.31	
16代	〃	相馬達三	H 5. 4. 1	H 7.3.31	
17代	〃	田村勝照	H 7. 4. 1	H11.3.31	
18代	消防監	佐藤正蔵	H11. 4. 1	H14.3.31	
19代	消防司令長	猪股進三	H14. 4. 1	H16.3.31	(H15.4.1 消防監)
20代	消防監	笹田将良	H16. 4. 1	H18.3.31	
21代	〃	斎藤伸夫	H18. 4. 1	H20.3.31	
22代	〃	小田桐伸一	H20. 4. 1	H21.3.31	
23代	〃	秋元　裕	H21. 4. 1	H22.3.31	
24代	〃	木村誠二	H22. 4. 1	H23.3.31	
25代	〃	佐藤健治	H23. 4. 1	H24.3.31	
26代	〃	下山俊光	H24. 4. 1	H26.3.31	
27代	〃	種市達男	H26. 4. 1	H27.3.31	
28代	〃	阿保弘毅	H27. 4. 1	H29.3.31	
29代	〃	三浦良樹	H29. 4. 1	H30.3.31	
30代	〃	長尾幸喜	H30. 4. 1	H31.3.31	
31代	〃	川村勝明	H31. 4. 1	R 3.3.31	
32代	〃	中村康司	R 3. 4. 1	R 4.3.31	
33代	〃	三浦直人	R 4. 4. 1	R 6.3.31	
34代	〃	石岡　悟	R 6. 4. 1	在職中	

方面本部長

弘前方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	福士文敏	H25. 7. 1	H26. 3.31	消防次長兼任
2代	〃	工藤弥司広	H26. 4. 1	H27. 3.31	弘前消防署長兼任

黒石方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	種市達男	H25. 7. 1	H26. 3.31	消防次長兼任
2代	〃	内山進一郎	H26. 4. 1	H27. 3.31	黒石消防署長兼任

平川方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	石田英造	H25. 7. 1	H26. 3.31	消防次長兼任
2代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3.31	平川消防署長兼任

板柳方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	阿保久	H25. 7. 1	H27.3.31	板柳消防署長兼任 (H26.4.1 消防監)

旧黒石地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		角田壮一	S39. 1. 1	S46. 3.31	黒石市助役兼任
2代	消防司令長	岩谷克己	S51. 4. 1	S55. 3.31	
3代	〃	工藤龍明	H元 4. 1	H 4. 3.31	
4代	〃	高樋浅光	H 4. 4. 1	H 5. 3.31	
5代	〃	工藤茂春	H 5. 4. 1	H 7. 3.31	
6代	〃	佐藤信男	H 7. 4. 1	H 8. 3.31	警防課長兼任
7代	〃	坂本吉雄	H 8. 4. 1	H10. 3.31	
8代	〃	富谷勝徳	H10. 4. 1	H11. 3.31	署長兼任
9代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3.31	〃
10代	〃	豊巻正夫	H12. 4. 1	H13. 3.31	心得・総務課長
11代	〃	中村寿	H13. 4. 1	H16. 3.31	
12代	〃	森勇一	H16. 4. 1	H21. 3.31	
13代	〃	八木橋兼司	H21. 4. 1	H22. 3.31	
14代	〃	佐藤友昭	H22. 4. 1	H23. 3.31	
15代	〃	種市達男	H23. 4. 1	H24. 3.31	総務課長兼任
16代	〃	内山進一郎	H24. 4. 1	H25. 6.30	予防課長兼任

旧平川市消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3.31	署長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3.31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6.30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3.31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3.31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3.31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59.12.31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3.31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2.22	〃
10代	〃	菊池今朝男	H 2. 2.23	H 3. 3.31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 8. 3.31	
12代	〃	工藤栄造	H 8. 4. 1	H14. 3.31	
13代	〃	山本一雄	H14. 4. 1	H16. 3.31	
14代	〃	稲葉良三	H16. 4. 1	H19. 3.31	
15代	〃	齋藤満郎	H19. 4. 1	H20. 3.31	
16代	〃	山口眞一	H20. 4. 1	H22. 3.31	
17代	消防司令	山口勇一	H22. 4. 1	H23. 3.31	
18代	〃	工藤義昭	H23. 4. 1	H24. 3.31	
19代	〃	石田英造	H24. 4. 1	H25. 6.30	

旧板柳町消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤信一	S42. 4. 1	S42. 8.31	総務課長兼任
2代		成田勝俊	S42. 9. 1	S46. 3.31	署長兼任
3代		桜庭敏男	S46. 4. 1	S52. 3.31	〃
4代		内山富雄	S52. 4. 1	S54. 3.31	〃
5代		中村忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3.31	〃
6代	消防司令長	阿保小東	S60. 4. 1	H元.8.31	〃
7代	〃	竹内秀次	H 5. 4. 1	H11. 3.31	〃
8代	〃	佐藤廣美	H11. 4. 1	H16. 3.31	〃
9代	〃	中村徹	H16. 4. 1	H21. 3.31	
10代	消防司令	田中諭	H21. 4. 1	H22. 6.30	署長兼任
11代	〃	阿保久	H22. 7. 1	H24. 3.31	
12代	〃	三橋一徳	H24. 4. 1	H25. 3.31	
13代	〃	村上毅	H25. 4. 1	H25. 6.30	署長兼任

弘前消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	小向　清之助	S24. 5.31	S27. 3. 2	
2代	消防監補	桑田　善太郎	S32. 5. 1	S32.10.31	消防長兼任
3代	消防監	上田　勝夫	S32.11. 1	S37. 7. 8	〃
4代	〃	伴　一衛	S37. 7. 9	S39. 8.17	〃
5代	〃	桑田　貞一	S39. 8.18	S42. 9.30	〃
6代	消防司令長	中村　忠治	S42.10. 1	S43. 9.30	
7代	〃	福井　正男	S43.10. 1	S44.11.30	
8代	〃	工藤　富蔵	S44.12. 1	S50. 9.30	
9代	〃	白取　嘉四雄	S50.10. 1	S52. 3.31	
10代	〃	工藤　富蔵	S52. 4. 1	S54. 3.31	
11代	〃	白取　嘉四雄	S54. 4. 1	S55. 9.30	
12代	〃	建部　清五郎	S55.10. 1	S63. 3.31	
13代	〃	工藤　嘉久	S63. 4. 1	H 2. 3.31	
14代	〃	鈴木　督朗	H 2. 4. 1	H 4. 3.31	
15代	〃	佐藤　正蔵	H 4. 4. 1	H10. 3.31	
16代	〃	斎藤　昭雄	H10. 4. 1	H14. 3.31	
17代	消防監	笹田　将良	H14. 4. 1	H16. 3.31	
18代	〃	斎藤　伸夫	H16. 4. 1	H18. 3.31	
19代	〃	工藤　治	H18. 4. 1	H20. 3.31	
20代	消防司令長	長谷川　芳範	H20. 4. 1	H21. 3.31	
21代	消防監	成田　裕太郎	H21. 4. 1	H22. 3.31	
22代	〃	佐藤　健治	H22. 4. 1	H23. 3.31	
23代	〃	久保　豊	H23. 4. 1	H24. 3.31	
24代	〃	福士　文敏	H24. 4. 1	H25. 6.30	
25代	〃	工藤　弥司広	H25. 7. 1	H27. 3.31	方面本部長兼任
26代	〃	一町田　誠	H27. 4. 1	H27.10.29	
27代	〃	阿保　弘毅	H27.10.30	H27.11.30	消防次長兼任
28代	〃	三浦　良樹	H27.12. 1	H29. 3.31	
29代	〃	長尾　幸喜	H29. 4. 1	H30. 3.31	消防次長兼任
30代	〃	工藤　耕三	H30. 4. 1	H31. 2.11	消防次長兼任
31代	〃	長尾　幸喜	H31. 2.12	H31. 3.31	消防次長兼任
32代	〃	一戸　治	H31. 4. 1	R 3. 3.31	消防次長兼任
33代	〃	三浦　直人	R 3. 4. 1	R 4. 3.31	消防次長兼任
34代	〃	石田　純	R 4. 4. 1	R 5. 3.31	消防次長兼務
35代	〃	三浦　牧也	R 5. 4. 1	R 6. 3.31	消防次長兼務
36代	〃	菊地　正造	R 6. 4. 1	在職中	消防次長兼務

東消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	白取　嘉四雄	S52. 4. 1	S54. 3.31	
2代	〃	建部　清五郎	S54. 4. 1	S55. 9.30	
3代	〃	土岐　春雄	S55.10. 1	S58. 3.31	
4代	〃	工藤　嘉久	S58. 4. 1	S63. 3.31	
5代	〃	鈴木　督朗	S63. 4. 1	H 2. 3.31	
6代	〃	赤石　光雄	H 2. 4. 1	H 3. 3.31	
7代	〃	小山　亮	H 3. 4. 1	H 4. 3.31	
8代	〃	山田　俊昭	H 4. 4. 1	H 8. 3.31	
9代	〃	斎藤　昭雄	H 8. 4. 1	H10. 3.31	
10代	〃	佐藤　正蔵	H10. 4. 1	H11. 3.31	
11代	〃	小山内　国晴	H11. 4. 1	H12. 3.31	
12代	〃	山本　正弘	H12. 4. 1	H13. 3.31	
13代	〃	猪股　進三	H13. 4. 1	H14. 3.31	
14代	〃	斎藤　伸夫	H14. 4. 1	H16. 3.31	
15代	〃	工藤　昇	H16. 4. 1	H20. 3.31	(H18.4.1 消防監)
16代	〃	成田　裕太郎	H20. 4. 1	H21. 3.31	
17代	〃	佐藤　健治	H21. 4. 1	H22. 3.31	
18代	〃	成田　康晴	H22. 4. 1	H23. 3.31	
19代	消防監	福士　文敏	H23. 4. 1	H24. 3.31	
20代	消防司令長	三上　吾郎	H24. 4. 1	H25. 3.31	
21代	消防監	工藤　弥司広	H25. 4. 1	H25. 6.30	
22代	〃	阿保　弘毅	H25. 7. 1	H26. 3.31	
23代	〃	一町田　誠	H26. 4. 1	H27. 3.31	
24代	〃	村山　潤一	H27. 4. 1	H29. 3.31	
25代	〃	山本　新次	H29. 4. 1	H30. 3.31	
26代	〃	川村　勝明	H30. 4. 1	H31. 3.31	
27代	〃	中村　康司	H31. 4. 1	R 3. 3.31	
28代	〃	石田　純	R 3. 4. 1	R 4. 3.31	
29代	〃	三浦　牧也	R 4. 4. 1	R 5. 3.31	
30代	〃	石岡　悟	R 5. 4. 1	R 6. 3.31	
31代	〃	藤田　茂樹	R 6. 4. 1	在職中	

黒石消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3.31	消防長兼任
2代	〃	工藤薫三	S33. 4. 3	S38.12.31	
3代		角田壮一	S39. 1. 1	S39. 3.19	助役兼任
4代	消防司令	田村源五郎	S39. 3.20	S42. 9.30	
5代		角田壮一	S42.10. 1	S43. 3.31	助役兼任
6代	消防司令長	簇屋正三	S43. 4. 1	S44.11.30	
7代	〃	盛重徳	S44.12. 1	S49. 3.31	
8代	消防監	角田壮一	S49. 4. 1	S54. 7.31	消防長兼任
9代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S55. 3.31	〃
10代	消防司令長	岩谷克己	S55. 4. 1	S62. 3.31	
11代	〃	高樋浅光	S62. 4. 1	H 4. 3.31	
12代	〃	工藤茂春	H 4. 4. 1	H 5. 3.31	
13代	〃	佐藤信男	H 5. 4. 1	H 7. 3.31	
14代	〃	坂本吉雄	H 7. 4. 1	H 8. 3.31	
15代	〃	富谷勝徳	H 8. 4. 1	H11. 3.31	消防次長兼任
16代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3.31	〃
17代	〃	中村寿	H12. 4. 1	H13. 3.31	
18代	〃	福士良衛	H13. 4. 1	H16. 3.31	
19代	〃	豊巻正夫	H16. 4. 1	H18. 3.31	
20代	〃	佐藤昭秀	H18. 4. 1	H21. 3.31	
21代	〃	今清治	H21. 4. 1	H22. 3.31	
22代	〃	山本茂夫	H22. 4. 1	H23. 3.31	
23代	〃	相馬義春	H23. 4. 1	H25. 3.31	
24代	〃	村山潤一	H25. 4. 1	H26. 3.31	
25代	消防監	内山進一郎	H26. 4. 1	H29. 3.31	方面本部長兼任 (H27.4.1方面本部長兼任解余)
26代	〃	工藤耕三	H29. 4. 1	H30. 3.31	
27代	〃	中村康司	H30. 4. 1	H31. 3.31	
28代	〃	毛内和幸	H31. 4. 1	R 2. 3.31	
29代	〃	岩谷和仁	R 2. 4. 1	R 3. 3.31	
30代	〃	今教生	R 3. 4. 1	R 4. 3.31	
31代	〃	山田勝栄	R 4. 4. 1	R 6. 3.31	
32代	〃	阿保泰夫	R 6. 4. 1	在職中	

平川消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3.31	消防次長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3.31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6.30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3.31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3.31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3.31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59.12.31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3.31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2.22	〃
10代	〃	相馬伊佐男	H 2. 2.23	H 3. 3.31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 5. 3.31	消防次長兼任
12代	〃	工藤栄造	H 5. 4. 1	H 8. 3.31	
13代	〃	一戸武二	H 8. 4. 1	H12. 3.31	
14代	〃	福士順蔵	H12. 4. 1	H14. 3.31	
15代	〃	稲葉良三	H14. 4. 1	H16. 3.31	
16代	〃	齋藤満郎	H16. 4. 1	H19. 3.31	
17代	〃	山口眞一	H19. 4. 1	H20. 3.31	
18代	〃	山口勇一	H20. 4. 1	H22. 3.31	
19代	消防司令	工藤義昭	H22. 4. 1	H23. 3.31	
20代	〃	一戸武彦	H23. 4. 1	H26. 3.31	(H25.7.1 消防司令長)
21代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3.31	方面本部長兼任
22代	〃	山本新次	H27. 4. 1	H29. 3.31	
23代	〃	山口金彦	H29. 4. 1	H30. 3.31	
24代	〃	一戸治	H30. 4. 1	H31. 3.31	
25代	〃	神孝行	H31. 4. 1	R 2. 3.31	
26代	〃	石田純	R 2. 4. 1	R 3. 3.31	
27代	〃	三浦牧也	R 3. 4. 1	R 4. 3.31	
28代	〃	佐藤謙治	R 4. 4. 1	R 6. 3.31	
29代	〃	西澤真悦	R 6. 4. 1	在職中	

板柳消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤信一	S42. 4. 1	S42. 8.31	総務課長兼任
2代		成田勝俊	S42. 9. 1	S46. 3.31	消防次長兼任
3代		桜庭敏男	S46. 4. 1	S52. 3.31	〃
4代		内山富雄	S52. 4. 1	S54. 3.31	〃
5代		中村忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3.31	〃
6代	消防司令長	阿保小東	S60. 4. 1	H 2. 3.31	〃
7代	〃	松山秀雄	H 2. 4. 1	H 4. 3.31	消防長心得兼任
8代	〃	会津武志	H 4. 4. 1	H 5. 3.31	〃
9代	〃	竹内秀次	H 7. 4. 1	H11. 3.31	消防次長兼任
10代	〃	佐藤廣美	H11. 4. 1	H16. 3.31	〃
11代	〃	会津静男	H16. 4. 1	H21. 3.31	
12代	〃	田中諭	H21. 4. 1	H22. 3.31	消防次長兼任
13代	〃	三橋一徳	H22. 4. 1	H23. 3.31	
14代	〃	諏訪孝栄	H23. 4. 1	H25. 3.31	
15代	〃	村上毅	H25. 4. 1	H25. 6.30	
16代	〃	阿保久	H25. 7. 1	H27. 3.31	方面本部長兼任 (H26.4.1 消防監)
17代	〃	大川欽三	H27. 4. 1	H29. 3.31	(H28.4.1 消防監)
18代	〃	佐藤雅幸	H29. 4. 1	H31. 3.31	(H30.4.1 消防監)
19代	消防監	下山進	H31. 4. 1	R 2. 3.31	
20代	〃	三浦直人	R 2. 4. 1	R 3. 3.31	
21代	司令長	櫻庭信人	R 3. 4. 1	R 4. 3.31	
22代	消防監	石岡悟	R 4. 4. 1	R 5. 3.31	
23代	〃	藤田茂樹	R 5. 4. 1	R 6. 3.31	
24代	〃	西沢和彦	R 6. 4. 1	在職中	

旧弘前地区消防事務組合の沿革

年　　月	状　　況
昭和 24 年　4 月	弘前市大字元寺町に弘前市消防本部及び消防署開設　職員 34 名
昭和 26 年　8 月	弘前市大字本町へ消防庁舎落成、元寺町から消防本部、消防署移転する。
昭和 27 年　3 月	消防署を廃止し、消防本部の一本化を図る。
昭和 30 年　2 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
昭和 32 年　5 月	弘前市消防署再設、弘前市大字松森町に松森町分署開設する。
昭和 33 年　4 月	消防職員定数改正により職員 79 名となる。
昭和 38 年　9 月	消防職員定数改正により職員 81 名となる。
昭和 39 年　8 月	救急車を購入し、弘前市消防署で救急業務を開始する。
昭和 40 年　1 月	弘前市消防本部及び消防署庁舎落成、電話交換機、一斉指令装置を設置する。
昭和 42 年 10 月	消防長兼署長制から専任署長制となる。
昭和 43 年 12 月	弘前市大字豊田字豊原に枡形分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 44 年 12 月	弘前市大字鳥町字鳥町に藤代分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 45 年 10 月	枡形分署に 20m級スノーケル車配備
昭和 46 年　4 月	一市二町二村（弘前市、大鰐町、藤崎町、常盤村、碇ケ関村）により弘前地区消防事務組合発足する。
	弘前市消防職員 106 名、車両等弘前市から弘前地区消防事務組合へ移管
7 月	松森町分署に救急車配備、救急業務を開始する。
8 月	松森町分署に化学消防ポンプ自動車配備
10 月	広域消防業務を開始する。
	大鰐町大字大鰐字前田に南分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備　職員 10 名
	藤崎町大字水沼字浅田に北分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備　職員 12 名
	南分署碇ヶ関出張所（碇ケ関村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員７名
昭和 47 年　2 月	南分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	職員定数改正により職員 149 名となる。
7 月	南分署、北分署に普通消防ポンプ自動車各 1 台配備
昭和 48 年　2 月	北分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	中津軽郡一町二村（岩木町、相馬村、西目屋村）組合に加入
	職員定数改正により職員 169 名となる。
6 月	西分署（岩木町消防屯所借用）開設、消防、救急業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車、救急車配備、職員 12 名
	西分署目屋出張所（西目屋村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備　職員５名

昭和 49 年	3月	岩木町大字鳥井野字宮本に西分署庁舎落成移転する。
	7月	弘前消防署に 35m級はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和 50 年	4月	職員定数改正により職員 178 名となる。
	7月	弘前地区消防事務組合に防災宣伝車配備（防災協会より寄贈）
昭和 51 年	8月	南分署碇ヶ関出張所に救急車配備、救急業務を開始する。
昭和 52 年	1月	弘前市大字外崎字豊田に東消防署庁舎落成
	4月	職員定数改正により職員 182 名となる。 東消防署、消防、救急業務を開始する。 ・普通消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、スノーケル車、救急車配備　職員 23 名 東消防署開設により２署６分署２出張所となる。
昭和 53 年	4月	救助用訓練塔落成（東消防署構内）
	7月	第 7 回全国消防救助技術大会県予選会開催（於東消防署）
	8月	昭和 52 年８月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、消防庁長官より表彰状授与される。
	9月	昭和 52 年８月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、内閣総理大臣より表彰状及び楯授与される。
	10 月	職員定数改正により職員 194 名となる。
昭和 54 年	4月	職員定数改正により職員 200 名となる。
	8月	弘前市からマイクロバス移管
	10 月	東北自動車道、青森ＩＣ～大鰐弘前ＩＣ供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 55 年	9月	弘前消防署西分署目屋出張所を弘前消防署目屋分署に、東消防署南分署碇ヶ関出張所を東消防署碇ヶ関分署に改称 碇ヶ関村大字碇ヶ関字鯨森に碇ヶ関分署庁舎落成移転（碇ヶ関村消防屯所と合同使用）
	10 月	職員定数改正により職員 201 名となる。 東北自動車道、大鰐弘前ＩＣ～碇ヶ関ＩＣ供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 57 年	1月	東消防署松森町分署廃止 弘前市大字小友字神原に西北分署庁舎落成、消防、救急業務を開始する。 ・水槽付消防ポンプ自動車、救急車、広報連絡車配備　職員 10 名 目屋分署、碇ヶ関分署に広報連絡車配備
昭和 58 年	8月	目屋分署救急業務を開始する。
昭和 61 年	3月	大鰐町大字蔵館字金坂に南分署庁舎落成移転
	7月	東北自動車道全線開通に伴い、十和田ＩＣまで所管となる。
	12 月	東消防署に 30m級はしご付消防自動車配備（４ＷＳ） 救急医療情報システム運用開始する。
昭和 62 年	4月	消防本部の組織規則改正により警防課通信指令室発足 室長ほか 10 名

11 月	東消防署に救助工作車配備
昭和 63 年　4 月	通信指令室に通信第一係、通信第二係を設ける。
12 月	藤代分署庁舎新築
平成元年　4 月	職員定数改正により職員 207 名となる。
平成２年　10 月	東北自動車道小坂ＩＣ開通に伴い、小坂ＩＣまで所管となる。
平成３年　2 月	枡形分署庁舎新築（２月業務開始）
4 月	職員定数改正により職員 214 名となる。
11 月	枡形分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
平成４年　4 月	職員定数改正により職員 226 名となる。
平成５年　3 月	弘前消防署に高規格救急自動車配備
平成６年　3 月	弘前消防署に 40m級はしご付消防自動車配備
4 月	職員定数改正により職員 247 名となる。
平成７年　3 月	枡形分署に小型動力ポンプ付水槽車配備
平成８年　3 月	東消防署に高規格救急自動車配備
4 月	職員定数改正により職員 256 名となる。
平成９年　4 月	藤代分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
	職員定数改正により職員 268 名となる。
	弘前消防署及び東消防署に救急第一係、救急第二係を新設
平成 10 年　4 月	消防本部の組織規則改正により消防本部総務課「庶務係」を「総務係」に改める。
	消防署組織規程改正により分署の「消防係」を「消防第一係、消防第二係」に改める。
	北分署に高規格救急自動車配備
平成 11 年　1 月	目屋分署庁舎新築（４月業務開始）
3 月	消防本部・弘前消防署仮設消防庁舎での業務開始
5 月	東消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成 12 年　3 月	職員定数改正により職員 270 名となる。
4 月	女性消防吏員採用
	西分署に高規格救急自動車配備
平成 13 年　2 月	消防本部、弘前消防署新消防庁舎での業務開始
4 月	消防本部の組織規則改正により「通信指令室」を「通信指令課」に改める。
4 月	南分署に高規格救急自動車配備
12 月	弘前消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成 14 年　2 月	碇ヶ関分署に高規格救急自動車配備
12 月	枡形分署に高規格救急自動車配備
平成 15 年　1 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に係長兼務の主幹を設ける。
4 月	消防本部組織規則改正により消防本部警防課に救急救助係を新設
平成 16 年　4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急係を救急救助係に改め、主幹兼警防係長の兼務を解除し新たに、警防係、予防係、救急救助係に専任主幹を配置

平成 17 年	1月	東消防署にはしご付消防自動車（30m級）を更新配備
	3月	藤代分署に高規格救急自動車配備
	3月	市町村合併に伴い、3 月 27 日をもって藤崎町及び常盤村が脱退しその区域をもって、3 月 28 日から藤崎町が加入し、構成市町村が一市三町三村となる。
	4月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に課長補佐を設ける。
平成 18 年	1月	市町村合併に伴い、平成 17 年 12 月 31 日をもって碇ヶ関村が脱退し、平成 18 年１月１日から平川市（旧碇ヶ関村の区域に限る）が加入し、構成市町村が二市三町二村となる。
	2月	市町村合併に伴い、２月 26 日をもって弘前市、岩木町及び相馬村が脱退し、その区域をもって、２月 27 日から弘前市が加入し、構成市町村が二市二町一村となる。
平成 19 年	3月	西北分署に高規格救急自動車配備
	4月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急救助係を救急係に、警防係を警防救助係に改め、新たに総務係を新設し専任主幹を配置 藤代分署、西分署、枡形分署、南分署及び北分署の消防係を警防係に改め、新たに予防救急係を新設し、各分署に消防主幹を設ける。
平成 20 年	3月	目屋分署に高規格救急自動車配備
	7月	弘前地区消防事務組合に防火指導車配備（防災協会より寄贈）
平成 22 年	4月	消防本部組織規則改正により「警防課 警防係」を「警防課 警防救助係」に、「警防課 救急救助係」を「警防課 救急係」に改める。
	12 月	弘前消防署に指揮隊車配備
平成 23 年	4月	消防署組織規程改正により、分署の「主幹」を「副分署長」に改める。
	11 月	西分署新消防庁舎での業務開始（平成 24 年４月１日全面供用開始）
平成 24 年	9月	弘前消防署に高規格救急車を更新配備（ＪＡ共済より寄贈）
		西分署に資機材搬送車配備（国有財産等無償使用）
平成 25 年	3月	西北分署に燃料補給車配備（国有財産等無償使用）

旧黒石地区消防事務組合の沿革

（旧黒石地区消防事務組合平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋）

年　　月	状　　況
昭和 27 年　４月	黒石町消防本部・署開設、職員７名
昭和 29 年　７月	町村合併により黒石市消防本部・署となる。
昭和 37 年　８月	温湯分署開設、職員７名
昭和 44 年　７月	黒石市消防庁舎新築（鉄筋コンクリート造２階建）
昭和 46 年　４月	黒石市と田舎館村により黒石地区消防事務組合発足
	消防本部１、消防署１、分署１、職員 38 名（条例定数 57 名）
10 月	田舎館分署開設
昭和 49 年　４月	消防職員定数改正により職員 67 名となる。
昭和 52 年　４月	消防職員定数改正により職員 77 名となる。
昭和 55 年　４月	田舎館分署を田舎館消防署に昇格、１本部、２消防署、１分署となる。
	消防職員定数改正により職員 90 名となる。
昭和 55 年 12 月	温湯分署移転新築工事竣工、温湯分署を山形分署に名称変更
	（鉄骨造平屋建　291.0 ㎡）
昭和 57 年　１月	田舎館消防署車庫増築（鉄骨造平屋建　25.92 ㎡）
昭和 58 年　７月	消防本部課制を施行する。
平成６年 10 月	消防職員定数改正により職員 95 名となる。
平成７年 10 月	黒石地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造２階建　2,958.83
11 月	㎡）
平成９年　４月	田舎館消防署竣工（鉄骨造平屋建　417.81 ㎡）
平成 12 年　１月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
４月	田舎館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
７月	消防本部に通信指令課を置く。
12 月	山形分署に広報車配備
平成 14 年　１月	山形分署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
平成 16 年　３月	黒石消防署に化学消防ポンプ自動車（化－Ⅱ型）配備
４月	田舎館消防署に高規格救急車配備
７月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
	田舎館消防署に広報車配備
平成 19 年　１月	黒石消防本部に査察車配備
４月	山形分署に救急車（２Ｂ型）配備
平成 24 年　３月	消防職員定数改正により職員 100 名となる。
	黒石消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ｉ－Ｂ型）配備
10 月	（ＣＡＦＳ：圧縮空気泡装置搭載）
12 月	消防本部に連絡車配備
	黒石消防署に救助工作車（Ⅱ型）配備

旧平川市消防本部の沿革

（旧平川市消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋）

年　　月	状　　況
昭和 44 年　４月	平賀・尾上地区消防事務組合消防本部及び平賀消防署開設
	職員 36 名（条例定数 38 名）
10 月	尾上分署開設
昭和 45 年　４月	消防職員定数改正により職員 41 名となる。
昭和 47 年　４月	消防職員定数改正により職員 44 名となる。
平成２年　２月	平賀・尾上地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造２階建）
	消防本部課制を施行する。
	平賀消防署と尾上分署を廃止、名称を平賀尾上消防署とする。
平成４年　４月	消防職員定数改正により職員 46 名となる。
平成５年　４月	消防職員定数改正により職員 48 名となる。
平成６年　４月	消防職員定数改正により職員 50 名となる。
平成７年　２月	水槽付消防ポンプ自動車を配備
４月	消防職員定数改正により職員 54 名となる。
12 月	救助工作車を配備
平成８年　４月	消防職員定数改正により職員 58 名となる。
	勤務制度を２部制から３部制とする。
	高規格救急車を配備
平成９年　４月	消防職員定数改正により職員 62 名となる。
	消防本部２課（総務課、予防課）から３課（総務課、予防課、警防課）とす
10 月	る。
平成 10 年　３月	平賀・尾上地区消防事務組合消防署庁舎増築
４月	救急車（２Ｂ型）配備（ＪＡ共済より寄贈）
７月	消防職員定数改正により職員 65 名となる。
平成 11 年　４月	「平賀・尾上地区消防等事務組合」に名称を改める。
	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
平成 13 年　４月	消防署通信係を消防本部通信指令室とする。
９月	消防本部通信指令室を消防署通信指令室とする。
平成 17 年　６月	化学消防ポンプ自動車を配備
平成 18 年　１月	指揮車を配備
	平川市消防本部・平川市消防署発足
平成 19 年　１月	広報２号車を配備
平成 20 年　12 月	消防ポンプ自動車を配備
平成 22 年　10 月	高規格救急車を配備（日本損害保険協会より寄贈）
	広報１号車を配備

旧板柳町消防本部の沿革

（旧板柳町消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋）

年　　月	状　　況
昭和 42 年　4 月	板柳町消防本部及び板柳町消防署開設　職員 16 名
昭和 50 年　12 月	板柳町消防庁舎竣工（鉄骨造２階建）　職員 30 名
昭和 52 年　4 月	板柳少年消防クラブ結成
昭和 54 年　11 月	板柳町少年婦人防火委員会発足（後に板柳町幼少年婦人防火委員会に変更）
	板柳婦人防火クラブ結成
昭和 60 年　1 月	幼年消防クラブ結成
平成元年　5 月	資機材搬送車配備
平成２年　5 月	司令車配備
平成４年　8 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）配備（損害保険協会より寄贈）
平成９年　12 月	救急車（２Ｂ型）配備
平成 15 年　2 月	高規格救急車配備
平成 21 年　9 月	消防ポンプ自動車配備（ＣＤ－Ⅰ型、ＣＡＦＳ：圧縮空気泡装置搭載）
	消防職員定数 38 名

消 防 年 報

～令和５年版～

編　集：弘前地区消防事務組合消防本部　総務課
所在地：〒036-8203　青森県弘前市大字本町２番地１
TEL：0172-32-5102
FAX：0172-33-9117